

令和元年度

安城市の教育

安城市教育委員会

安 城 市 民 憲 章

(昭和47年制定)

わたくしたちは安城市民です。

わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- * たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- * きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- * 自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- * 教養を高め、若い力を育てましょう。
- * 健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言

(昭和57年6月8日)
議 決

あすの安城市を築く青少年が、豊かな情操と正しい社会性を持ち、心身共にたくましく育つことは、市民すべての願いである。

この願いを実現するため、市民ひとりひとりが姿勢を正し、青少年をとりまく環境及び諸問題への関心と認識を深め、相互の連帯を強めることによって、青少年が情熱と自覚と責任を持って行動できるよう見守っていく必要がある。

ここに市民の総力を結集し、次代を担う青少年の健全育成をめざし、安城市を「青少年をすこやかにはぐくむ都市」とすることを宣言する。

市 章



[昭和35年に制定]

安城の「安」を图案化したもので、下部を末広がりにし発展を象徴、丸く囲んだのは円満・和を象徴しています。

市 の 木 (クロマツ)



[市民投票
昭和47年に制定]

かつての安城ヶ原は、小松の原野であり、現在の安城の緑の主体となっています。旧東海道の松並木は、400年の歴史を秘めて、市の文化財に指定されています。

市 の 花 (サルビア)



[市民投票
昭和47年に制定]

だれにでも作りやすく、家庭や学校の花壇に多く栽培され市民に親しまれています。夏から秋にかけて燃えるような赤い花をつけ、躍進著しい安城をしのばせます。

シンボルマーク



[公募
平成4年に制定]

安城の頭文字「A」を图案化したもので、青と緑の2色。未来に向かった大空と大地をイメージし、調和と力強い発展を表現しています。

はじめに

本年度は第8次安城市総合計画「幸せつながる健幸都市安城」がスタートして4年目を迎えます。これまでの成果と現状を踏まえながら、引き続き「健康・環境・経済・きずな・こども」の5つのキーワード（5K）の視点から改革を進めてまいります。

また、現在の教育に関する課題に対応するため、昨年度末に第8次安城市総合計画並びに安城市教育大綱の学校教育の分野別計画として、「安城市学校教育プラン2028」を策定しました。社会や教育を取り巻く環境が急速に変化する中、学校が将来の新たな人材を育成する場として期待されています。第8次安城市総合計画や安城市教育大綱との整合性を図り、学校の現状と課題に対して、より具体的な手だてを示し、実現していきたいと考えております。

その基本方針は大きく4つあります。

1点目は、「学び合いやかかわり合いを重視した次世代を担う児童生徒の育成」です。聞き合いや話し合いの授業づくりを重視するとともに、グローバル化する社会に対応できるよう、ICT機器の活用、英語教育や国際理解教育の充実、図書館との連携による図書資料の積極的な活用等を図っていきます。また、本市独自の少人数学級の充実を図り、児童生徒一人一人に向き合える時間や機会を一層拡大します。

2点目は、「豊かな心やたくましい体の育成と健康教育の推進」です。道徳教育や情報モラル教育、人権教育等を推進したり、「安城ケータイ・スマホ宣言」を活用したりするなかで、命の教育を推進し、しなやかで折れない心を育てていきます。また、児童生徒が体を動かす機会を増やし、体力・運動能力の向上を目指したり、学校給食の地産地消を核とした食育指導を進めたりします。

3点目は、「様々な支援を必要とする児童生徒へのきめ細やかな対応」です。障害のある児童生徒への支援や教員研修の充実、特別支援教育の充実等、個々にあった支援の在り方をこれまでの成果を踏まえてさらに充実していきます。また、外国籍児童生徒への支援やその保護者への配慮等、きめ細やかな支援をしていきます。

4点目は、「安全・安心・快適を重視した教育環境の充実」です。普通教室等にエアコンを設置するとともに、老朽化した校舎の改修を計画的に行い、エレベーターを順次設置していくなどバリアフリー化を推進していきます。また、小中学校のネットワーク再構築、セキュリティ強化、サーバーの統廃合及び仮想化など教育情報環境の整備を進めてまいります。

ここに「令和元年度版 安城市の教育」を刊行いたしました。この冊子を通じて安城の教育文化に対する理解を深めていただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。

安城市教育委員会教育長 杉山 春記

目 次

はじめに

I 安城市の概要	1
II 教育委員会	2
1 教育委員会委員	2
2 教育委員会の組織及び事務分掌	3
(1) 教育委員会の組織と職員数	3
(2) 事務分掌	4
3 教育費予算額等の推移	6
(1) 教育費当初予算額の推移	6
(2) 教育費決算額の推移	7
III 学校教育	8
1 学校教育の推進	8
(1) 教育実践の活動	8
(2) 教育センターの活動	18
2 児童生徒と教職員	21
(1) 幼、小、中学校児童生徒数	21
(2) 教職員数	23
(3) 中学卒業者の状況	24
(4) 児童生徒数推計	24
3 心身の健全育成活動	24
(1) 学校教育関係体育行事	24
(2) 学校保健	25
(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター	25
(4) 生徒指導推進の組織	25
4 野外教育活動	26
5 就学・奨学制度	27
(1) 奨学金制度	27
(2) 私立高等学校等授業料補助	27
(3) 就学援助	27
(4) 特別支援教育就学奨励	28
(5) 幼稚園就園奨励	28
(6) 幼稚園第3子無料化	28
6 学校施設の設置状況	29
7 学校給食	30
(1) 学校給食の目標	30
(2) 学校給食の組織	30
(3) 調理場施設及び調理数	31
(4) 給食実施計画	31
(5) 食に関する指導	31
(6) 給食費の推移	32
(7) 給食内容	32
(8) アレルギー対応	32
(9) 第3子以降給食費無料化事業について	32

IV 生涯学習	33
1 生涯学習	33
(1) 生涯学習の目標	33
(2) 青少年教育	33
(3) 社会教育施設・団体等	39
2 公民館	41
(1) 公民館組織	41
(2) 公民館事業	42
(3) 公民館等施設	45
(4) プラネタリウム	46
(5) 利用状況	47
3 市民会館	49
(1) 市民会館の概要	49
(2) 利用状況	49
4 図書情報館	50
(1) 図書情報館事業の目標	50
(2) アンフォーレ（図書情報館）の施設概要	50
(3) 蔵書の構成及び冊数	51
(4) 登録者・入館者の状況	51
(5) 図書館事業の状況	52
5 歴史博物館	54
(1) 目標	54
(2) 館蔵資料	54
(3) 施設概要	55
(4) 利用状況	56
6 埋蔵文化財センター	57
(1) 概要	57
(2) 利用状況	57
7 市民ギャラリー	58
(1) 概要	58
(2) 利用状況	59
(3) 文化振興	60
8 丈山苑	62
(1) 概要	62
(2) 利用状況	63
9 文化財保護事業	64
(1) 目標	64
(2) 指定文化財	64
10 史料整理活用事業	65
(1) 調査・収集資料	65
(2) 教育普及活動	65
11 スポーツ	66
(1) スポーツ振興の基本方針	66
(2) 「する」スポーツの振興	66
(3) 「みる」スポーツの振興	70

(4) 「おしえる」スポーツの振興	----	71
(5) 「ささえる」スポーツの振興	----	71
(6) スポーツ施設環境の整備	-----	72
(7) スポーツ団体等の育成・支援	----	73
(8) オリンピック・パラリンピック を契機としたスポーツの振興	—	74
(9) 体育施設	-----	76
(10) 利用状況	-----	78

付 録

1 歴代の委員	-----	80
2 教育委員会の沿革	-----	82
3 教育関係施設・休館日一覧	-----	92

I 安城市の概要

安城市役所の所在地	〒446-8501 愛知県安城市桜町18番23号 TEL <0566> 76-1111 (代表)
安城市の位置	東経 137° 04′ 北緯 34° 57′
安城市の面積	86.05km ² (南北13.7km、東西10.6km) 市街化区域 21.54km ² 調整区域 64.51km ²
市制施行	昭和27年5月5日 市域の変遷 町村合併 旧依佐美村の3町 昭和30年4月1日 旧明治村の6町 昭和30年4月1日 岡崎市の5町 昭和35年1月1日 旧桜井町の全町 昭和42年4月1日
安城市の気象	平成30年次 平均気温 17.1℃ 最高気温 38.6℃ 最低気温 -3.2℃ 年間降水量 1601mm 昭和49年以降 (記録) 最高気温 40.0℃ (平成6年8月5日) 最低気温 -7.5℃ (昭和52年1月24日)

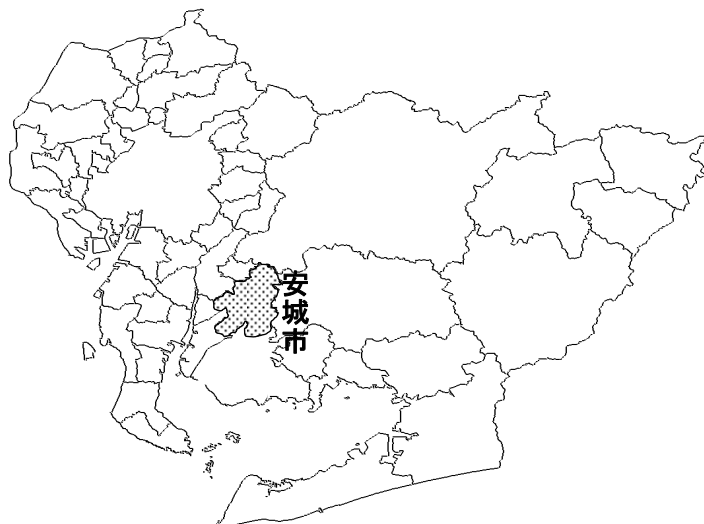
人口と世帯数

(各年度10月1日現在)

年 度	総 数	男	女	世帯数
平成25年度	183,552	94,069	89,483	70,098
平成26年度	184,780	94,710	90,070	71,238
平成27年度	185,615	95,090	90,525	72,105
平成28年度	186,806	95,854	90,952	73,193
平成29年度	187,860	96,420	91,440	74,090
平成30年度	189,031	97,026	92,005	74,919

産業と構造

区 分		第 1 次	第 2 次	第 3 次	分 類 不 能
就 職 人 口	平 成 2 2 年 度	2,397 人	37,657 人	45,532 人	6,380 人
	国 勢 調 査	2.6 %	41.0 %	49.5 %	6.9 %
	平 成 2 7 年 度	2,243 人	38,343 人	47,343 人	4,550 人
	国 勢 調 査	2.4 %	41.5 %	51.2 %	4.9 %



Ⅱ 教育委員会

1 教育委員会委員



教 育 長
杉 山 春 記



教育長職務代理者
加 藤 滋 伸



委 員
船 尾 恭 代



委 員
近 藤 倉 生



委 員
伊 奈 希

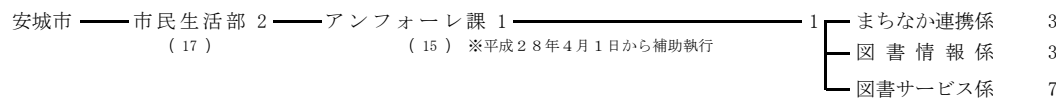
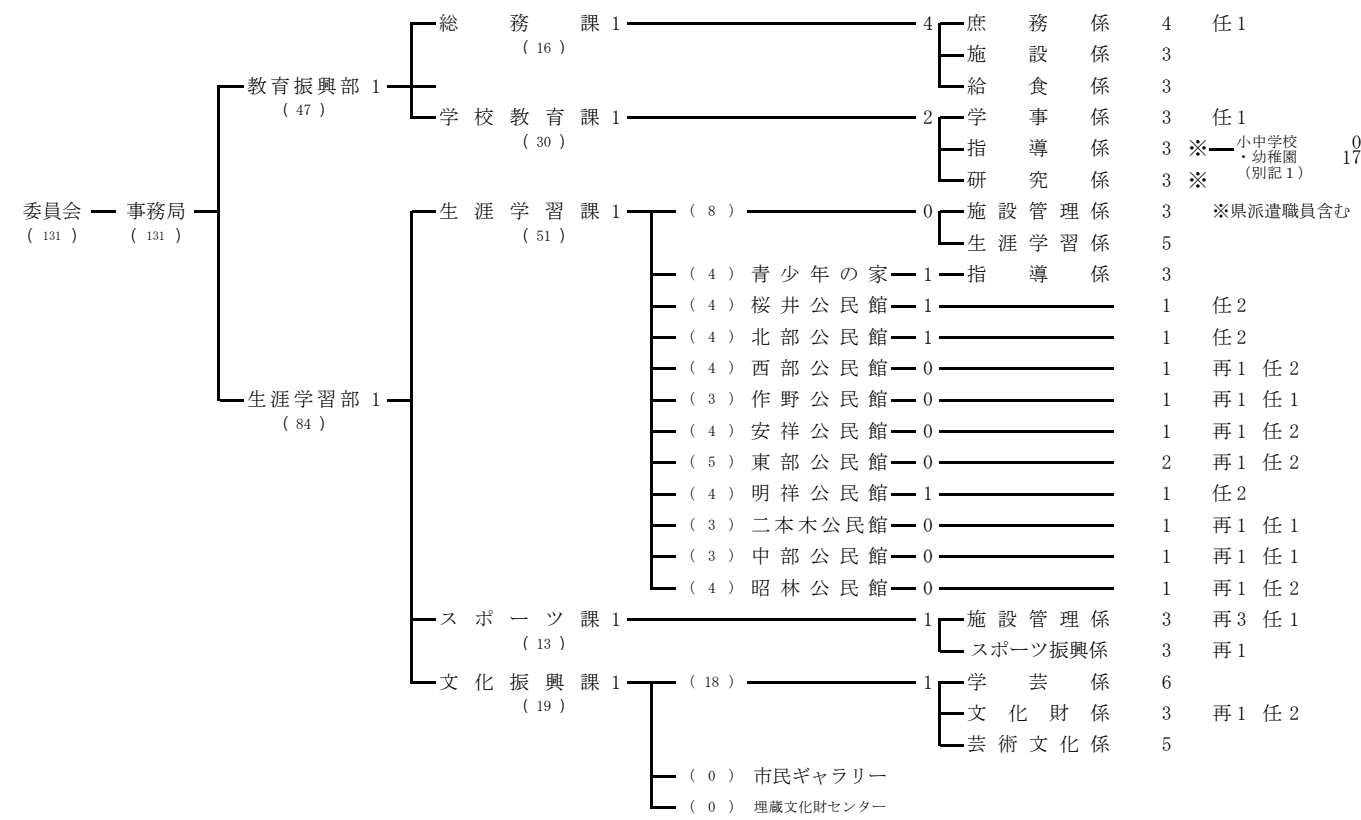
(令和元年8月1日現在)

職 名	氏 名	委 員 の 任 期
教 育 長	すぎ やま はる き 杉 山 春 記	(平成26年4月1日就任) 令和3年3月31日
教育長職務代理者	か とう しげ のぶ 加 藤 滋 伸	(平成31年10月7日就任) 令和4年9月30日
委 員	ふな お やす よ 船 尾 恭 代	(平成23年10月1日就任) 令和元年9月30日
委 員	こん とう くら お 近 藤 倉 生	(平成28年10月7日就任) 令和2年9月30日
委 員	い な のぞみ 伊 奈 希	(平成29年10月1日就任) 令和3年9月30日

2 教育委員会の組織及び事務分掌

(1) 教育委員会の組織と職員数

(平成31年4月1日現在)



(別記1) 小中学校・幼稚園

- 小学校
- 安城中部小学校 0
 - 安城南部分小学校 0
 - 安城西部小学校 0
 - 安城東部分小学校 0
 - 安城北部小学校 0
 - 錦町小学校 0
 - 高棚小学校 0
 - 明和小学校 0
 - 志貴小学校 0
 - 桜井小学校 0
 - 作野小学校 0
 - 祥南小学校 0
 - 丈山小学校 0
 - 二本木小学校 0
 - 里町小学校 0
 - 桜町小学校 0
 - 桜林小学校 0
 - 新田小学校 0
 - 今池小学校 0
 - 三河安城小学校 0
 - 梨の里小学校 0
- 21 校

- 中学校
- 安城南中学校 0
 - 安城北中学校 0
 - 明祥中学校 0
 - 安城西中学校 0
 - 桜井中学校 0
 - 東山中学校 0
 - 安祥中学校 0
 - 篠目中学校 0
- 8 校

- 幼稚園
- 安城北部幼稚園 5 任2 再2
 - 東栄幼稚園 6 任2
- 2 園

*平成20年4月1日から保育課が補助執行

(2) 事 務 分 掌

部	課 教育機関	係	事 務 分 掌
教 育 振 興 部	総務課	庶務係	(1) 学校及び幼稚園の設置、管理及び廃止に関する事。 (2) 職員の任免その他の人事に関する事。 (3) 教育に係る調査及び基幹統計その他の統計に関する事。 (4) 教育委員会の会議の庶務に関する事。 (5) 教育委員会規則その他公表を要する規程の立案及び公布に関する事。 (6) 公印の保管に関する事。 (7) 学校及び幼稚園の予算の執行管理に関する事。 (8) 私立学校及び私立幼稚園の助成に関する事。 (9) 教育行政に関する相談に関する事。 (10) 教育センターの施設及び設備の管理に関する事。 (11) 教育振興部内の調整に関する事。 (12) その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。 (13) その他他の課に属さないこと。
		施設係	(1) 学校及び幼稚園の用地取得に関する事。 (2) 学校及び幼稚園の施設及び教具その他の設備の整備に関する事。 (3) 学校及び幼稚園の施設及び設備の国庫補助及び県費補助に関する事。 (4) 学校及び幼稚園の施設台帳及び財産台帳の整備に関する事。 (5) 教育センターの施設及び設備の整備に関する事。
		給食係	(1) 学校等の給食に関する事。 (2) 給食用物資に関する事。 (3) 学校給食共同調理場の施設及び設備の整備に関する事。 (4) その他学校給食に関する事。
	学校教育課	学事係	(1) 安城市野外センターの設置、管理及び廃止に関する事。 (2) 学齢生徒及び学齢児童の就学並びに生徒、児童及び幼児の入学、転学及び退学に関する事。 (3) 教科書その他の教材の取扱いに関する事。 (4) 学校及び幼稚園の環境衛生に関する事。 (5) 学校医及び幼稚園医の委嘱及び報酬に関する事。 (6) 要保護及び準要保護の生徒及び児童の就学援助並びに特別支援教育の生徒及び児童の就学奨励に関する事。 (7) その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。
		指導係	(1) 教職員の任免その他の人事の内申に関する事。 (2) 学校の組織編制、教育課程、学習指導、生徒指導、進路指導及び職業指導に関する事。 (3) 幼稚園の運営及び指導に関する事。 (4) 教職員その他教育関係職員の研修に関する事。 (5) 教職員その他教育関係職員並びに生徒、児童及び幼児の保健、安全、厚生及び福利に関する事。 (6) 教職員の服務の監督及び勤務成績の評定に関する事。 (7) その他学校教育の指導に関する事。
		研究係	(1) 教育関係職員の研修に関する事。 (2) 教育に関する専門的又は技術的事項の調査及び研究に関する事。 (3) 教育に係る資料収集及び情報提供に関する事。 (4) 教育相談事業に関する事。 (5) 企画運営委員会に関する事。 (6) 視聴覚機材及び教材の利用及び小中学校への貸出しに関する事。 (7) その他教育の振興に関する事。

部	課 教育機関	係	事 務 分 掌
	生涯学習課	施設管理係	(1) 中央公民館の施設及び設備の管理運営に関する事。 (2) 公民館の連絡調整に関する事。 (3) 生涯学習部内の調整に関する事。 (4) 安祥閣及び市民会館に関する事。 (5) その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。

生涯学習部	生涯	生涯学習係	(1)生涯学習の計画及び振興に関すること。 (2)社会教育委員に関すること。 (3)中央公民館事業の運営に関すること。 (4)社会教育関係団体の指導育成に関すること。 (5)プラネタリウムの企画運営に関すること。 (6)ユネスコ活動に関すること。
		青少年の家 指導係	(1)青少年教育に関すること。 (2)子ども会等の少年団体の育成指導に関すること。 (3)ユースカレッジに関すること。 (4)青年教室及び青年学級に関すること。 (5)スカウト連絡協議会に関すること。 (6)青少年の家の施設及び設備の管理運営に関すること。
		青少年愛護センター	(1)青少年街頭指導に関すること。 (2)青少年相談に関すること。 (3)その他青少年の非行防止に関すること。
	学	公民館	(1)公民館事業の運営に関すること。 (2)図書館資料の利用に関すること。 (3)公民館の施設及び設備の管理運営に関すること。 (4)明祥福祉センターに関すること。
		スポーツ課 施設管理係	(1)体育施設の使用許可に関すること。 (2)体育施設の施設及び設備の管理運営に関すること。 (3)その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。
		スポーツ振興係	(1)スポーツ推進委員及び体育関係団体の指導育成に関すること。 (2)自主体育事業の企画及び運営に関すること。 (3)学校施設開放に関すること。 (4)その他スポーツの振興に関すること。
	習部	文化振興課 学芸係	(1)博物館、市民ギャラリー、埋蔵文化財センター、安祥城址公園及び丈山苑の施設及び設備の管理運営に関すること。 (2)博物館、市民ギャラリー、埋蔵文化財センター及び丈山苑の総合調整に関すること。 (3)博物館事業の企画及び実施並びに博物館資料の研究に関すること。 (4)学校その他の教育機関との協力及びその活動の援助に関すること。 (5)その他課内の調整及び課内他の係に属さないこと。
		文化財係	(1)文化財の調査及び保護に関すること。 (2)文化財に関する学習、研修等の企画及び実施に関すること。 (3)歴史資料の調査、収集、整理、保管及び供用に関すること。 (4)埋蔵文化財センターの事業の企画及び実施並びに埋蔵文化財に関すること。
		芸術文化係	(1)文化芸術の振興に関すること。 (2)文化鑑賞事業及び美術展事業に関すること。 (3)市民ギャラリー事業に関すること。

部	課 教育機関	係	事 務 分 掌
市民生活部	アンフォーレ課	まちなか連携係	(1)中心市街地拠点施設に関すること。 (2)中心市街地拠点施設によるまちなかの交流・賑わい創出に関すること。 (3)アンフォーレ運営の企画調整に関すること。 (4)新美南吉を活用したまちづくりの推進に関すること。 (5)その他課内の調整及び課内の他の係に属さないこと。
		図書情報係	(1)図書館運営の企画調整に関すること。 (2)安城市図書館協議会に関すること。 (3)図書館の情報発信に関すること。 (4)図書情報機器の管理及び利活用に関すること。 (5)図書情報館内の連絡調整に関すること。
		図書サービス係	(1)図書館資料の収集、整理、保存及び利用に関すること。 (2)読書活動の奨励に関すること。 (3)レファレンス業務に関すること。 (4)図書館行事の企画調整に関すること。 (5)その他図書館奉仕に関すること。

※ 図書情報係、図書サービス係の事務については、教育委員会の権限に属する事務。
(地方自治法第180条の7に基づく補助執行)

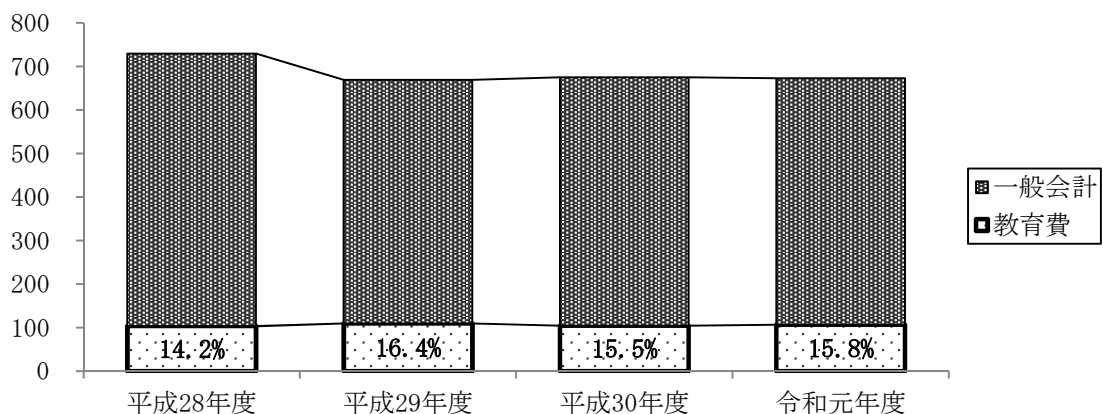
3 教育費予算額等の推移

(1) 教育費当初予算額の推移

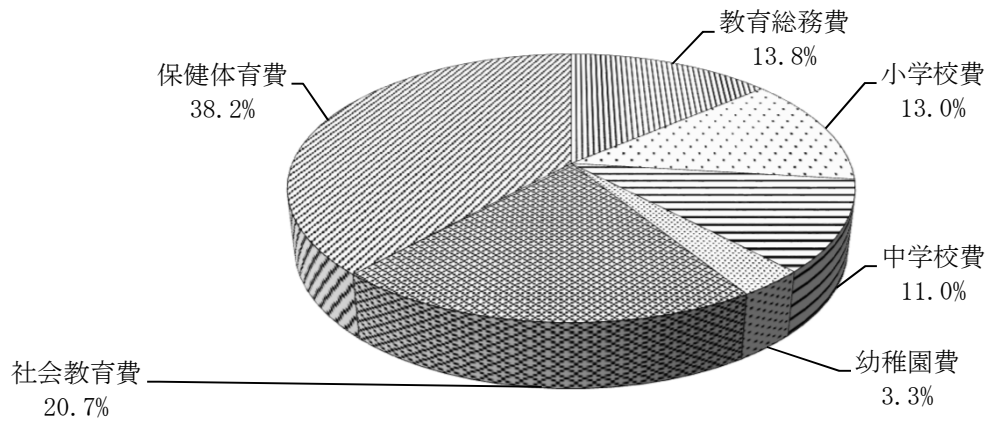
単位：千円

年度	区分	一般会計 予算額	教育費 予算額	一般会計中 教育費の割合 %	科目	予算額	教育費 構成比 %
平成28年度		72,920,000	10,325,661	14.2	教育総務費	968,429	9.4
					小学校費	1,161,736	11.3
					中学校費	1,223,215	11.8
					幼稚園費	578,434	5.6
					社会教育費	3,272,364	31.7
					保健体育費	3,121,483	30.2
平成29年度		66,880,000	10,944,995	16.4	教育総務費	913,178	8.3
					小学校費	963,649	8.8
					中学校費	557,940	5.1
					幼稚園費	540,393	4.9
					社会教育費	2,599,706	23.8
					保健体育費	5,370,129	49.1
平成30年度		67,500,000	10,432,456	15.5	教育総務費	936,542	8.9
					小学校費	1,351,146	13.0
					中学校費	658,389	6.3
					幼稚園費	524,034	5.0
					社会教育費	3,555,659	34.1
					保健体育費	3,406,686	32.7
令和元年度		67,290,000	10,655,557	15.8	教育総務費	1,474,632	13.8
					小学校費	1,390,298	13.0
					中学校費	1,167,673	11.0
					幼稚園費	349,712	3.3
					社会教育費	2,200,626	20.7
					保健体育費	4,072,616	38.2

単位（億円）



令和元年度教育費当初予算額の構成



(2) 教育費決算額の推移

単位：千円

年度	区分	一般会計 決算額	教育費 決算額	一般会計中 教育費の割合 %	科目	決算額	教育費 構成比 %
平成27年度		66,542,834	9,116,036	13.7	教育総務費	829,214	9.1
					小学校費	1,872,597	20.5
					中学校費	838,150	9.2
					幼稚園費	500,314	5.5
					社会教育費	1,801,378	19.8
					保健体育費	3,274,383	35.9
平成28年度		73,924,684	9,218,373	12.5	教育総務費	892,587	9.7
					小学校費	950,965	10.3
					中学校費	955,797	10.4
					幼稚園費	526,473	5.7
					社会教育費	2,761,983	30.0
					保健体育費	3,130,567	33.9
平成29年度		65,898,415	9,801,311	14.9	教育総務費	784,246	8.0
					小学校費	1,196,318	12.2
					中学校費	558,244	5.7
					幼稚園費	498,788	5.1
					社会教育費	1,892,747	19.3
					保健体育費	4,870,968	49.7
平成30年度		66,016,680	10,583,868	16.0	教育総務費	809,780	7.7
					小学校費	1,640,819	15.5
					中学校費	677,853	6.4
					幼稚園費	484,080	4.6
					社会教育費	4,040,542	38.2
					保健体育費	2,930,794	27.6

Ⅲ 学校教育

1 学校教育の推進

(1) 教育実践の活動

ア 学校教育の重点指導項目

- (ア) 命の大切さを実感し、明るく元気に過ごすことができるたくましい体と、しなやかで折れない心を育てる。
- (イ) 学び合いによる教育活動を推進し、「主体的・対話的で深い学び」を通して、能動的に学び続ける力を育てる。
- (ウ) 一人一人を大切にし、きめ細やかで適切な指導・支援に努める。

イ 具体的な指導事項

- (ア) 学校経営
 - a 児童生徒一人一人に居場所があり、一人一人を大切にする学校づくりをすすめる。
 - b 学校教育目標の実現に向けて、全教職員の共通理解と協働体制を確立し、情熱と活力と創意によって指導の充実を図る。
 - c 児童生徒の実態や保護者・地域の願いを踏まえた、社会に開かれた特色ある教育課程を編成する。児童生徒がどのように学び、どのような資質・能力を身につけられるかを明確にしながら、その実現を図る。
 - d 責任体制を明確にし、各校のグランドデザインに基づき、個々の仕事の効率化を図りながら、具体的活動を通して職責が遂行できるように努める。
 - e 学校生活全般にわたる安全点検を常時行い、施設・設備の整備に努めるとともに、防犯・防災体制の充実と安全意識の高揚を図る。
 - f 教育におけるICT化に対応し、情報の収集・活用に努めるとともに、個人情報の保護及び情報公開制度の趣旨を正しく受け止め管理の徹底を図る。
 - g 幼保小や小中間の連携を図り、継続した支援ができる体制づくりに努める。
 - h 学校経営に対する説明責任を自覚して、適切な情報提供や情報発信に努めるとともに、自己評価や学校関係者評価を充実させ、教育活動の改善を図る。
 - i 児童生徒や保護者、地域に対して、教職員が尊敬と信頼の関係を結ぶことができるように努める。
- (イ) 教科・学習指導
 - a 発達段階に応じて、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。
 - b 指導目的を明確にし、児童生徒に分かる・楽しい授業を生み出す指導内容や指導方法・指導時間の工夫改善に努める。
 - c 体験学習や問題解決学習を重視し、自ら学び、自ら考える力の育成に努める。
 - d それぞれの教科の特性に応じた言語活動の充実に努める。特に、ICT機器を効果的に活用した学び合いにより自分の考えをまとめたり、話したりする活動を取り入れ、学習の充実を図る。
 - e 新学習指導要領の全面実施に向けた指導と評価のあり方および「何ができるようになるか」「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を明確にした授業づくりを研究し、その実践に努める。
 - f 児童生徒一人一人の理解の状況や習熟の程度などに応じたきめ細やかな指導の充実を図るとともに、家庭と連携して学習習慣の確立に努める。
 - g 学習の中で自他の存在を認めることができる喜びを味わわせるなど、学習指導と生徒指導の一体化を図る。
- (ウ) 道德教育
 - a 命を大切にし、人を思いやる心を育むため、人間尊重の基盤に立った道德教育を展開し、心のふれあいや道徳的な体験を重視する。

- b 自ら考え判断して、責任ある行動がとれるよう「考え、議論する道德」のあり方を研究する。
 - c 児童生徒の人間的な成長を見守り、よりよく生きようとする努力を認め、勇気付ける評価のあり方を工夫する。
 - d 「特別の教科道德（道德科）」に対する教師の意識の高揚を図り、よりよい資料の収集と指導方法の工夫改善に努める。
 - e 道德教育推進教師が中心となり、道德教育の全体計画及び別業を作成し、全教師が一貫性のある道德教育を組織的に展開できるようにする。
 - f 家庭や地域社会との連携・協力を密にし、地域ぐるみで児童生徒の道德性の育成に努める。
- (エ) 外国語活動
- a 「聞くこと」「話すこと」に指導の重点を置き、児童の活動意欲を引き出す資料や題材の収集を行い教材開発に努める。
 - b 外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲と態度の育成に努める。
 - c A L Tなどの人材を効果的に活用し、外国の言語や文化について体験的に理解を深める。
 - d 次年度における高学年の教科化、中学校への円滑な接続を見据え、中学年、高学年それぞれの学習内容やねらい等を明確にした実践・評価に努める。
- (オ) 総合的な学習の時間
- a ねらいや育てたい力を明確にした題材を用いて全体・年間指導計画を作成し、自ら課題を見付け、よりよく問題を解決する資質や能力を育成する。
 - b カリキュラム・マネジメントにより横断的・総合的・探究的な学習を展開し、解決に必要な知識・技能を身に付け、探究的な学習のよさを理解できるようにする。
 - c 人とのつながりを大切にし、保護者や地域の人々、専門家などと交流して、体験的な学びの実現に努める。
- (カ) 特別活動
- a 望ましい集団活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度の育成に努める。
 - b 活動・体験のねらいを明確にした全体計画や各活動・学校行事の年間指導計画を立て、自発的・自治的な活動の質を高める工夫をする。
- (キ) 生徒指導
- a 児童生徒一人一人の人格を尊重し、心のふれあいを基本とした学年・学級づくりに努める。
 - b 朝や帰りの会・掃除・給食など、日常的な活動を大切にして、自己有用感を高め、居場所づくりと絆づくりに努める。
 - c 児童生徒理解や教育相談についての研修を深め、共感的な人間関係を基盤にした一貫性のある粘り強い指導を組織的にすすめる。
 - d 日々の生活の中で、自己存在感や自己決定力を高める指導を工夫し、豊かな心と社会の一員としての資質や態度の育成に努める。
 - e 基本的生活習慣の定着を図り、自律心と実践力の育成に努める。
 - f 児童生徒の実態に即し、家庭や地域、関係機関と連携した指導体制づくりや、小中学校が相互に連携した生徒指導体制づくりをすすめる。
- (ク) いじめ・不登校に対する指導
- a 学校いじめ防止基本方針に従い、いじめの実態を具体的かつ継続的に把握するとともに、校内の「報告・連絡・相談・確認」体制を確立し、「いじめ・不登校対策委員会」などの機能の充実を図る。また、安城市教育センターの教育相談やスクールカウンセラーなどの効

- 果的な活用をすすめる。
- b いじめを当事者同士だけではなく学校全体の問題としてとらえ、予防と早期発見に努めるとともに、毅然とした態度でいじめ解消を図る。
 - c 不登校は、どの児童生徒にも起こりうるという認識に立ち、児童生徒が「心の居場所」を実感できるように配慮しながら、全職員が一致協力して人間味のある温かい指導に心がけ、不登校をなくすように努める。
 - d 特に配慮を要する児童生徒については、長期休業前、休業中においても児童生徒や保護者との連絡等を行い、個に応じた支援に努める。
 - e ふれあいネット事業及び青少年健全育成会では、その意義や趣旨に立ち返り、一層の充実を図る。
- (ケ) キャリア教育・進路指導
- a 進路指導を生き方の指導ととらえ、自分自身の価値を見いだして将来に期待をもつことができるよう、教育活動全体を通したキャリア教育の実践に努める。
 - b キャリア教育の視点で教育活動を見直し、指導に系統性をもたせ、発達段階に応じた指導をすすめる。
 - c キャリアガイダンス機能の充実や啓発的な体験活動を通して職業観・勤労観を育み、自らの力でよりよい生き方を選択する能力や態度の育成に努める。
 - d 持続可能な社会づくりのための担い手づくりを意識し、児童生徒の発達段階をふまえた系統的な指導が行えるように、校内組織と指導体制を充実し、学校と家庭・地域との信頼に基づく、個に応じた指導をすすめる。
 - e 「社会に開かれた教育課程」の理念のもと、家庭・地域・社会と目標やビジョンを共有し、連携・協働できる体制づくりに努める。
- (コ) 情報教育
- a I C T機器の積極的な活用を図り、学習意欲を高めるとともに、児童生徒の情報活用能力の育成に努める。
 - b タブレット端末を効果的に活用することにより、学び合いの充実を図る。
 - c 携帯電話やインターネット利用における適切な態度や行動を身に付けるなど、道徳との関連を図りながら情報モラル教育の推進を図る。
 - d 発達の段階に即して「プログラミング的思考」の育成を図る。
- (サ) 環境教育
- a 学校教育活動全体を通して環境教育を推進し、環境問題への関心を高め、環境の保全やよりよい環境の創造のために主体的に取り組む態度や能力の育成に努める。
 - b 地域の実態に合った身近な環境問題を取り上げ、学校・家庭・地域社会との連携を通して体験学習、問題解決学習をすすめる。
 - c 持続可能な社会の構築につながる見方や考え方を育み、よりよい環境づくりに向けた働きかけができる実践力を培う。
- (シ) 国際理解教育
- a 学校教育活動全体を通して国際理解教育を推進し、発達段階に応じて系統的に指導をすすめる。
 - b 外国の人々の生活や文化を理解し、尊重するとともに、郷土や我が国の文化・伝統を大切にする態度の育成に努める。
 - c 学校外の人材の活用や体験学習への取り組みを通して、異なる文化や価値観をもつ人々との関わり方や相互理解の重要性に目を向けさせ、国際的視野に立って意思の疎通ができる能力を育む。
- (ス) 外国人児童生徒教育
- a 外国人児童生徒の日本の学校教育への適応と日本語の能力向上を図るために、一人一人

- の能力や実態の把握に努め、学年や能力に合わせた段階的・系統的な指導を日本語適応指導教室、日本語初期指導教室と連携をとりながら、全職員共通理解のもとにすすめる。
- b 外国人児童生徒の母国文化や生活習慣を大切にする指導を心がけ、他の児童生徒の国際理解に生かせるような活躍の場を設定するよう努める。
 - c 進路に関する資料の収集や提供に努め、家庭と連携・協力を図りながら、希望のもてる進路選択ができるよう指導をすすめる。
- (セ) 学校図書館教育
- a 言語環境の基盤となる学校図書館の役割を明確にするとともに、図書情報館と連携して「※1 きーぼー便」「※2 朝読便」「※3 テーマ便」の効果的な活用や学校司書の有効利用を図り、読書センター、学習・情報センターとしての機能を充実させる。
 - b 学校図書館の利用指導を充実させ、学校図書館を積極的かつ効果的に利用できる児童生徒の育成に努める。
 - c 読書活動を推進し、豊かな情操を育むとともに、読書に親しむ児童生徒の育成に努める。
 - d 読み聞かせや環境整備などにおいて、家庭・地域社会と連携し、地域の人材を活用して、学校図書館の積極的な利用に努める。
 - ※1 「きーぼー便」…個人が図書を学校端末から予約し、配達されるもの。
 - ※2 「朝読便」…1 コンテナ図書20冊のセットで市内各校教室に巡回されるもの。
 - ※3 「テーマ便」…学習テーマに合わせた資料を学校端末から予約し、配達されるもの。
- (ソ) 健康・安全教育
- a 健康都市づくりを進める安城市の基本的な理念のもと、学校教育活動全体を通して、児童生徒の心身の健康保持増進と体力の向上を図り、生涯を通して健康で安全な生活を送るための基礎を養う。
 - b 毎日の健康観察や児童生徒とのふれあいを大切にする中で、心身の問題の早期発見と早期対応を図るとともに、心の健康づくりに努める。
 - c 「自分の生命は自分で守る」という自覚と態度を学年に応じて指導する。特に学校内外での生活安全・交通安全・災害安全に対する意識を高め、実際場面に生きる危険予測・回避能力の育成に努める。
 - d 学校給食を食育に関して総合的に学習する場とし、感謝の心を育てるとともに、栄養教諭と連携しながら、健康の自己管理能力を高める指導の充実に努める。
 - e 食物アレルギーや病気・けがなどの不測の事態に対処する体制を整備し、緊急時においても早期対応ができるように努める。
- (タ) 人権教育
- a 人権尊重の精神を養い、人権感覚を身に付けた態度や行動がとれるようにするために、児童生徒の発達段階に応じ、学校教育活動全体を通して計画的に学習をすすめる。
- (チ) 特別支援教育
- a 特別支援教育コーディネーターを中心に、幼稚園・保育園、保護者、専門家、子ども発達支援センター、医療機関などとの連携を図りながら、障害についての正しい理解の下に一人一人のニーズを的確に把握する。
 - b 切れ目のない教育的支援を行うため、「合理的配慮」の観点をふまえ、実態を基に個別の教育支援計画及び個別の指導計画を作成し、全教職員で情報を共有しながら個々のニーズに応じたきめ細やかな指導に努める。
 - c さまざまな障害特性や支援の方法に関する研修を推進し、全教職員の共通理解による支援体制の整備に努める。

ウ 少人数学級

(ア) 目 的

小学校１～４年生および中学校１年生において学級規模の大きい学級の解消を図り、学級を基盤とした生活指導と学習指導が一体となった、きめ細やかな指導と個性重視の指導を実現する。

(イ) 実施状況

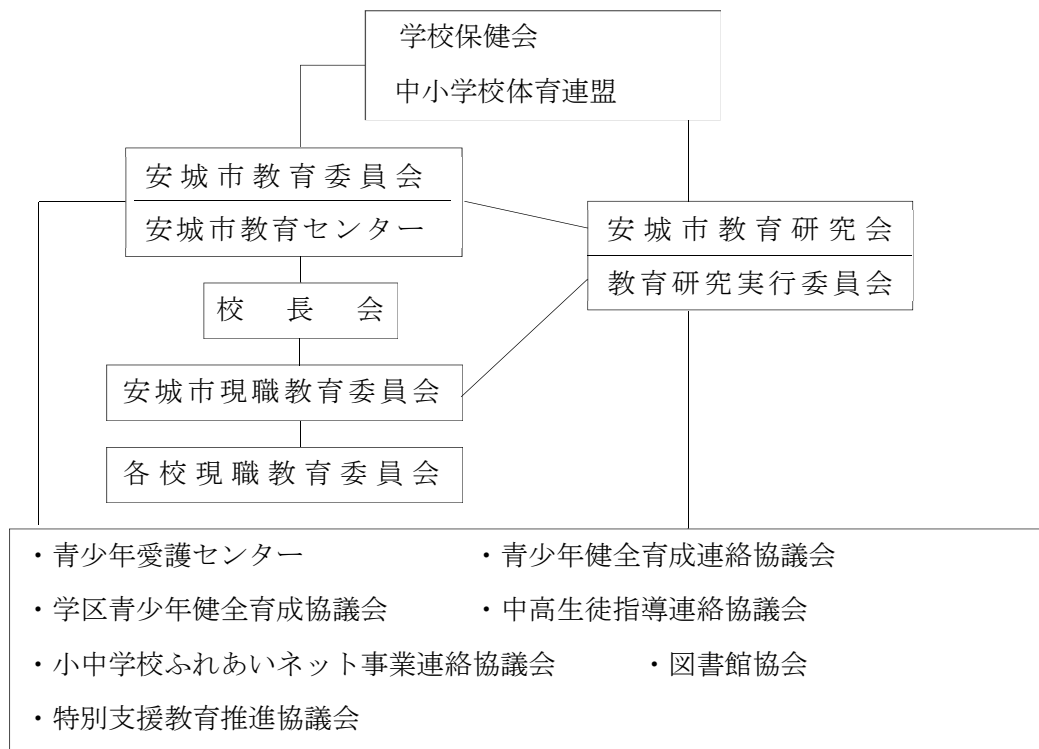
小学校１・２年生は３０人程度、小学校３・４年生は、３５人以下になるように、市独自で常勤講師を配置した学級編成を行う。(令和元年５月１日現在)

小学校	実学級数 (通常)	第１学年			第２学年			第３学年			第４学年		
		児童数	学級数	平均人数	児童数	学級数	平均人数	児童数	学級数	平均人数	児童数	学級数	平均人数
中部小	19				80	3	26.7						
東部小	16				80	3	26.7	72	3	24			
北部小	24										120	4	30.0
錦町小	19	102	4	25.5									
桜井小	28				138	5	27.6				147	5	29.4
作野小	20										109	4	27.3
丈山小	21							113	4	28.3			
里町小	18				74	3	24.7						
桜町小	21							108	4	27	110	4	27.5
新田小	15				75	3	25						
梨里小	16				74	3	24.7				79	3	26.3

※網掛け部分は市費対応少人数学級

エ 現職教育の推進と運営

(ア) 組 織



(イ) 運 営

a 方 針

市教委は校長会、安城市教育研究会、安城市現職教育委員会などと連携し、全教職員の資質向上を図る。

b 任 務

- 現職教育の運営、推進を図る。
- 基本方針並びに現職教育年間計画を策定する。
- 諸行事の連絡調整を図る。

c 常任委員会

- 校 長 会 代表（2名）
- 教 頭 会 代表（2名）
- 教育研究会 代表（4名）
- 教 員 代表（2名）
- 市教委、教育センター（8名）

(ウ) 活 動

a 各校の現職教育（令和元年度）

小 学 校 名	委 嘱	研 究 主 題
安 城 中 部 小		主体的にかかわり考え、学びを深める子の育成 －学び合いの授業を通して－
安 城 南 部 小	市 (発表)	仲間とよりよくかかわり、自他のよさを認め合う南小っ子の育成 －道徳科における交話によって道徳性を養い、生活へつなぐ道徳教育－
安 城 西 部 小		生き生きと学び合う子の育成 ～子どもの語り合いや深い学びを支える教師支援のあり方～
安 城 東 部 小		豊かな思いや考えを伝え合い、学び合う子の育成 －子どもの学びを支える教師支援のあり方－
安 城 北 部 小		未来を切り拓く子どもの育成 ～自分たちが創り出す授業を通して～
錦 町 小		できた・できるようになった喜びを実感する子どもの育成 －学び合いのある授業づくりを通して－
高 棚 小	市 (発表)	仲間とつながり、学び合う高棚っ子の育成 －「わくわく」興味をもって、「ねえねえ・うんうん」聴き合い、 「どんどん」学びを深める国語科・算数科の授業づくり－
明 和 小		明和の町が好き、明和の人が好き、明和で生きる自分が好きな子の育成 －伝え合う活動を通して学びを深める授業づくり－
志 貴 小		主体的・対話的に学びを深めていく志貴っ子の育成 ～児童一人一人のよさを伸ばす授業づくり～
桜 井 小		生き生きと学び 確かな学力を身につける 桜井っ子の育成 ～一人残らず学び合える授業をめざして～
作 野 小		共に学び、気付き、深め合う 作野っ子の育成 －互いの気付きをつなぎ合わせ、新たな思考を生み出す授業づくり－
祥 南 小		自己肯定感を育み、人とつながって生きる祥南っ子 ～安心感のある学級の中で、すべての子の学びを保障しながら～
丈 山 小		互いの考えを聴き合い、共に学び合う子の育成 ～主体的・対話的に課題に取り組む算数科の実践を通して～
二 本 木 小		みんながわかる みんなでできる みんなとつくる －聴き合いを核にした深い学びを支える授業づくり－
里 町 小		きたえ、のぼし、はぐくむキャリア教育 －S Eタイム、P S活動、E D Cステップ、D Fプランの実践を通して－
桜 町 小	市	自分の未来を切り拓く桜町っ子の育成 ～真剣に語り、真剣に耳を傾けながら学びを深め合う授業づくりを通して～
桜 林 小		聴き合い、考えを深める子の育成 ～聴き合うことのよさを実感できる活動を通して～
新 田 小		学ぶ喜びを見出し、明日を拓く新田っ子の育成 －進んで学び、聴き合える授業づくりを通して－
今 池 小		自己を見つめ、互いを認め合い、学びを高め合う子の育成 －「かいのき学習」を基盤にした道徳教育における協働的な学びの場を通して－
三 河 安 城 小		自分の思いや考えを伝えあい、学び合う子の育成

梨 の 里 小	市	主体的に明日を拓く梨っ子の育成 －かかわり合いを大切にし、学びを深める授業づくり－
中 学 校 名	委 嘱	研 究 主 題
安 城 南 中		主体的に学びに向かう生徒の育成
安 城 北 中		自己有用感を育み、学びに向かう生徒の育成 －主体的・対話的で深い学びの実現を目指して－
明 祥 中	市	社会に役立つ 自己を高める生徒の育成 －自分の思いや考えをもち、学び合う活動の工夫－
安 城 西 中		学びを深める生徒の育成 －学び合いのある授業づくりを通して－
桜 井 中		協働的に学びを楽しむ生徒の育成 －「できた」「わかった」を実感できる授業づくりを通して－
東 山 中		自らの学びに見通しをもち、主体的に学ぶ生徒の育成 －「きき」合える授業づくりを通して－
安 祥 中		みんなで考え、みんなで話し合い、みんながわかる －多様性を生かした授業展開の工夫－
篠 目 中	市 (発表)	感じあい 支えあい 高めあう 篠中愛 ～“全員”を大切にしあえる指導法の工夫～



- b 教育研究発表会
研究委嘱校の研究発表（安城南部小学校・高棚小学校・篠目中学校）
- c 各種研修、講座、講演会

研 修	校長・教頭合同研修 教務主任研修 学年主任研修 初任者研修（５回） ３年教員研修（２回） 養護教諭基礎研修（３回） 道徳教育研修 不登校児童生徒支援研修 指導員県外研修	教頭研修 校務主任研修 学校事務職員研修 ２年教員研修（２回） 教職基礎研修（３回） 学校事務職員新規採用者等研修（５回） 授業デザイン研修 海外教育視察研修 エピペン研修
開設講座	実験の基礎・基本とプログラミング的思考を育む授業づくり 楽しい合唱指導のひと工夫 小学校高学年のためのＩＣＴを活用した絵画 弾けて、跳んでダンスの楽しさを体感しよう！ 板書の工夫～道徳科の授業で考えてみよう～ eライブラリ活用術 S K Y S E A活用術 ボッチャでつながろう 私の授業づくり	
講 演 会	開所記念講演会	

- d ふれあいスピーチ広場、音楽会、教育展準備、教育展、教育合同作品展（５年一巡で実施）

内 容	目 的	特 色
音楽会 （平成 27 年度）	・音楽教育への理解とその進展を図る。	・市内小中学校全てが参加し、 ４ブロックに分かれ各 20 分の舞台を構成 ・8 中学校吹奏楽の合同演奏 ・全体テーマをもとに各ブロックごとにテーマをもって発表
教育展準備 （平成 28 年度）	・教育全領域にわたる児童生徒の追究の充実を図り、次年度に生かす。	・児童生徒など広くアイデアを募り、次年度に生かす。
教育展 （平成 29 年度）	・児童生徒の日常の学習活動発表の場として、その成果を展示する。 ・市の教育の現状や実態をもとに、学校教育、家庭教育の方向を示す。	・市内全小中学校の学校紹介 ・創意工夫のある屋内・屋外展示 ・教育全領域にわたる児童生徒の作品、活動の様子を紹介
教育合同作品展 （平成 30 年度） かがくのひろば・あしあと展（特別支援学級・安城特別支援学校児童生徒作品）	・児童生徒の表現活動の発表の場として、その成果を展示する。 ・児童生徒の研究心の育成と科学教育の振興ならびに情操の育成を図る。	・市内小中学校全てが参加 ・「かがくのひろば」は「あしあと」展と共催で毎年実施し、終了後各学校への巡回展示、「作品集録」を発行
ふれあいスピーチ広場 （令和元年度）	・児童生徒の日常の言語表現活動の発表の場として、その成果を示す。 ・話す・聞く能力の育成を図る。	・市内小中学校全てが参加 ・創意工夫のある様々なスピーチ形態

e 教育講演会

市内教職員の教養を高め、資質の向上を図る。

f 特別支援教育推進協議会

- 目的 特別支援教育の推進を図る。
- 主な事業 特別支援教育の啓発と普及
障害のある児童生徒の調査及び研究
その他特別支援教育推進のために必要な事業

オ 現職教育訪問

訪問の着眼点	(1) 特色ある教育課程の編成と実施の現状 (2) 学習指導の多様化、充実についての諸方策と実践 (3) 学習指導要領の趣旨をふまえた教育の実践 (4) 生徒指導上の問題点とその対策 (5) 安全教育＜交通安全・保健安全・安全管理＞への取り組みの状況 (6) 進路指導の現状と問題点 (7) 教育環境の整備状況 (8) 新規採用教員の研修状況 (9) 教職員の心身の健康 (10) 諸帳簿の記載、保管状況
実施期間	現職教育訪問 （５月～１１月）毎年各校１回

カ 指導員訪問

各校の教科指導の現状や実態をもとに、教育の将来的展望に立ち、教育全般の向上に寄与する目的をもって、現場教育の担当者から指導員を選任し、指導にあたっている。

国語、社会、算数・数学、理科、生活、音楽、図工・美術、体育、家庭、技術、英語、道徳、特別活動、総合学習、生徒指導、図書館教育、情報教育、養護、特別支援教育の各指導員で次のような訪問指導を実施している。

- (ア) 年間指導計画に基づく計画訪問
- (イ) 市教委と一体となった現職教育訪問
- (ウ) 各校の要請に応じる要請訪問

(2) 教育センターの活動

ア 発 足 平成6年4月1日

イ 運営方針

市内小・中学校教育の研究・研修センターとして、教職員の研究活動の援助・推進を図るとともに、安城市の教育文化の向上と振興を図る。

そのために、研修・調査研究・教育相談・教育情報活用に関して、研究活動の推進とさらなる活性化を図る。



ウ 重点目標

「時代が求める教育課題への対応」と「蓄積された研究成果の活用」に主眼を置き、平成31年度学校教育の指導方針である「命の教育」「学び合いのある授業づくり」「一人一人を大切にしたいきめ細やかな支援」を踏まえ、学校における教育活動への支援事業の充実に努める。

(ア) 教職員として必要な実践的指導力と専門性を高める。 【研修事業】

(イ) 教職員の資質向上につながる調査研究と研修を支援する体制の充実を図る。

【調査研究事業】

(ウ) いじめ・不登校や進路・適性等に関する相談をはじめ、保護者や教職員のさまざまな相談に応じる。 【教育相談事業】

(エ) 「学び合い」の授業づくりのために、教育関係情報の収集や共有化を進める。

【教育情報活用事業】

エ 組 織

◇ 教育センター職員

学校教育課長、所長、研究係長、指導主事(2)、社会教育指導員兼家庭相談員(8)、適応指導教室指導補助員(4)、臨床心理士(6)、事務職員、夜間管理人(3)

◇ 教育センター企画運営委員

小中学校長会長、安教研会長、教育相談専門家、PTA連絡協議会長、幼稚園会長、安教研教務研究委員会委員長、保育課長、子ども発達支援課長、青少年の家所長

オ 事 業

(ア) 教育研修

a 市教委主催研修会の企画・運営

- ・実験の基礎・基本とプログラミング的思考を育む授業づくり
- ・楽しい合唱指導のひと工夫
- ・小学校高学年のためのICTを活用した絵画
- ・弾けて、跳んでダンスの楽しさを体感しよう！
- ・板書の工夫～道徳科の授業で考えてみよう～
- ・eライブラリ活用術
- ・SKYSEA活用術
- ・ボッチャでつながろう
- ・私の授業づくり

b 希望参加による開設講座の開催

c 講演会の開催

(イ) 教育調査研究

a 文部科学省、県教委研究補助による研究

b 市教委指定研究による研究

- 教師力向上支援研究（４名）
- 体力づくり推進研究（４名）
- プログラミング教育研究（全体計画作成４名、学び合いの授業づくり４名）
- 命の教育研究（４名）
- もてる力を伸ばす支援研究（４名）

c 派遣研究生

８名を愛知教育大学、愛知教育大学附属岡崎小学校及び中学校、東海学園大学へ派遣し研究を深め、資質向上を図るとともに、研究成果を各小中学校の現職教育等へ還元する。

d 自主研究グループ

研究活動の推進援助を図り、各自の力量を高めるとともに、地域に生きる教職員の親和共励を図る。

- 国語サークル
- 安城の自然をさぐる会
- 健康教育研究「はぐくみ」の会
- 「教師力」を高める「勇気づけ」の心理学
- 社会科見学に行こう
- 「できた！」を増やす学習支援の会

e 教育研究論文の募集

- | | | |
|---------------|----------------|------------|
| (a) 教科指導 | (b) 道徳科 | (c) 外国語活動 |
| (d) 総合的な学習の時間 | (e) 特別活動 | (f) 特別支援教育 |
| (g) 教育相談 | (h) 学校・学年・学級経営 | |
| (i) 生徒指導 | (j) 進路指導 | (k) 健康教育 |
| (l) その他 | | |

f 教職員の研究相談

- ・研究・実践上の諸問題について、随時教職員の相談に応じる。
- ・研究図書、資料提供、実践例の紹介、講師・研究校情報の提供を行う。

g 関係教育機関との連携研究

全国教育研究所連盟、東海北陸教育研究所連盟への加入により、先進的な研究の交流を行い、本センターの研究について積極的に紹介していく。

h 研究紀要の発刊（第５６集）

(ウ) 教育相談

a 来所相談 担当：社会教育指導員

月曜日～金曜日 午前９時～午後５時

b 電話相談 担当：社会教育指導員 *こころの電話 76-9674 (くろうなし)

月曜日～金曜日 午前９時～午後５時

c ふれあい相談 担当：臨床心理士

月曜日～金曜日 午前１０時～正午、午後１時～午後５時

*月曜日は夜間の相談（午後５時～６時）を実施する。

*相談内容に応じて親子並行面接を行う。

d 訪問相談（いじめ・不登校、進路・適性等）担当：社会教育指導員及び臨床心理士

月曜日～金曜日 午前９時～正午、午後１時～午後５時（必要に応じて）

e 適応指導教室「ふれあい学級」の運営

不登校児童生徒が社会的自立や学校復帰に向かうよう、個別指導、集団適応指導、生活指導、補充学習およびカウンセリング等を行う。

月・火・水・金曜日 午前９時～午後３時

木曜日 午前９時～正午

f 教職員相談

月曜日～金曜日 午前9時～正午、午後1時～午後5時

(エ) 教育情報提供

a 教育情報の収集・提供（インターネットによる情報提供）

●教育図書の充実と活用（視聴覚教材を含む）

●教育図書 6, 257冊 研究資料 8, 646冊

●教育関係文献目録の編集・発行

●小・中学校への視聴覚教材の貸出

b 教材の自作開発援助

c 教育機器利用の研究・促進

d 教育センター情報ネットワークによる教育情報の提供

e 教育センター所報「啐啄」の発行

(オ) その他

a 「かがくのひろば」の開催

b 全国、東海北陸教育研究所連盟との連携

2 児童生徒と教職員

(1) 幼小中学校児童生徒数

小学校児童数

(令和元年5月1日現在)

	学年別 学校名	1年		2年		3年		4年		5年		6年		普通学級計		特別支援学級学年別児童数										特別支援 学級数	合 計
		児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	児童	学級	1	2	3	4	5	6	計					
1	安 城 中 部 小	108	4	80	3	105	3	98	3	116	3	99	3	606	19	1	4	3	3	2	4	17	4	623			
2	安 城 南 部 小	96	3	95	3	89	3	92	3	119	3	98	3	589	18	0	0	2	5	0	2	9	2	598			
3	安 城 西 部 小	97	3	90	3	85	3	100	3	91	3	94	3	557	18	4	1	1	4	2	2	14	3	571			
4	安 城 東 部 小	95	3	80	3	72	3	81	3	66	2	76	2	470	16	0	0	4	1	0	0	5	2	475			
5	安 城 北 部 小	135	4	135	4	133	4	120	4	140	4	129	4	792	24	3	1	4	5	0	1	14	3	806			
6	錦 町 小	102	4	105	3	91	3	97	3	88	3	91	3	574	19	1	3	3	2	3	3	15	4	589			
7	高 棚 小	51	2	41	2	52	2	45	2	52	2	49	2	290	12	2	0	1	0	0	2	5	2	295			
8	明 和 小	73	3	50	2	63	2	62	2	63	2	71	2	382	13	2	1	1	0	1	1	6	2	388			
9	志 貴 小	39	2	24	1	34	1	31	1	28	1	26	1	182	7	0	1	0	1	0	0	2	1	184			
10	桜 井 小	162	5	138	5	161	5	148	5	135	4	138	4	882	28	2	5	2	1	3	5	18	5	900			
11	作 野 小	100	3	99	3	91	3	109	4	123	4	119	3	641	20	1	3	4	2	1	2	13	2	654			
12	祥 南 小	48	2	52	2	45	2	56	2	53	2	66	2	320	12	2	3	2	5	2	3	17	4	337			
13	丈 山 小	111	4	99	3	113	4	103	3	131	4	92	3	649	21	0	4	0	0	2	5	11	2	660			
14	二 本 木 小	122	4	131	4	125	4	138	4	132	4	135	4	783	24	2	7	1	4	3	0	17	3	800			
15	里 町 小	83	3	74	3	99	3	98	3	105	3	100	3	559	18	2	2	1	3	0	1	9	2	568			
16	桜 町 小	89	3	96	3	107	4	110	4	103	3	130	4	635	21	2	2	4	2	2	3	15	3	650			
17	桜 林 小	96	3	94	3	88	3	106	3	79	2	106	3	569	17	0	1	2	1	0	1	5	2	574			
18	新 田 小	68	2	75	3	83	3	62	2	62	2	84	3	434	15	0	1	2	2	3	2	10	3	444			
19	今 池 小	61	2	68	2	52	2	64	2	75	2	72	2	392	12	1	0	3	2	2	1	9	2	401			
20	三 河 安 城 小	108	4	91	3	104	3	86	3	108	3	89	3	586	19	4	1	2	2	2	1	12	4	598			
21	梨 の 里 小	96	3	74	3	90	3	79	3	80	2	73	2	492	16	1	2	1	1	1	1	7	2	499			
小学校計		1,940	66	1,791	61	1,882	63	1,885	62	1,949	58	1,937	59	11,384	369	30	42	43	46	29	40	230	57	11,614			

中学校生徒数

	学年別 学校名	1年		2年		3年		普通学級計		特別支援学級学年別生徒数					特別支援 学級数	合 計	
		生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	生徒	学級	1	2	3		計			
1	安 城 南 中	275	8	280	8	270	7		825	23	3	7	2		12	3	837
2	安 城 北 中	297	9	275	7	266	7		838	23	5	7	3		15	4	853
3	明 祥 中	130	4	119	3	122	4		371	11	1	0	4		5	2	376
4	安 城 西 中	263	8	266	7	277	7		806	22	2	6	7		15	4	821
5	桜 井 中	213	7	212	6	202	6		627	19	1	4	4		9	2	636
6	東 山 中	230	7	257	7	221	6		708	20	2	1	2		5	2	713
7	安 祥 中	172	5	192	5	196	5		560	15	1	7	3		11	2	571
8	篠 目 中	234	7	214	6	242	7		690	20	9	5	9		23	4	713
中学校計		1,814	55	1,815	49	1796	49		5,425	153	24	37	34		95	23	5,520

安城市小中学校 児童生徒総計								16,809	522						325	80	17,134
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--------	-----	--	--	--	--	--	-----	----	--------

幼稚園園児数

市立幼稚園 (令和元年5月1日現在) () は学級数 単位：人

幼稚園名	3 歳	4 歳	5 歳	合 計	定 員
安城北部	21 (1)	43 (2)	47 (2)	111 (5)	196
東 栄	45 (2)	54 (2)	38 (2)	137 (6)	196
合 計	66 (3)	97 (4)	85 (4)	248 (11)	392

※平成31年4月1日から安城幼稚園及びさくらの幼稚園は、幼保連携型認定こども園へ移行

私立幼稚園

市内外 幼稚園名	満 3 歳		3 歳		4 歳		5 歳		合 計		定 員
	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	市内	市外	
石橋	0	0	33	31	38	51	47	25	118	107	310
	0	(0)	64	(4)	89	(3)	72	(3)	225	(10)	
ともえ	1	0	44	0	50	6	71	2	166	8	350
	1	(1)	44	(3)	56	(3)	73	(3)	174	(9)	
第二慈恵	0	0	57	38	79	33	64	32	200	103	310
	0	(0)	95	(4)	112	(4)	96	(4)	303	(12)	
二本木	4	0	73	26	70	30	67	30	214	86	360
	4	(1)	99	(4)	100	(3)	97	(3)	300	(10)	
愛知学泉 大学附属	0	0	96	5	95	5	83	7	274	17	314
	0	(0)	101	(4)	100	(3)	90	(3)	291	(10)	
愛知学泉 短期大学附属	0	0	60	4	59	4	66	3	185	11	209
	0	(0)	64	(3)	63	(2)	69	(2)	196	(7)	
愛知学泉 大学附属桜井	0	0	88	10	97	3	90	12	275	25	280
	0	(0)	98	(4)	100	(3)	102	(3)	300	(10)	
合計	5	0	451	114	488	132	488	111	1,432	357	2,133
	5	(2)	565	(26)	620	(21)	599	(21)	1,789	(70)	

	満3歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計	定 員
総 合 計	5	631	717	684	2,037	2,525

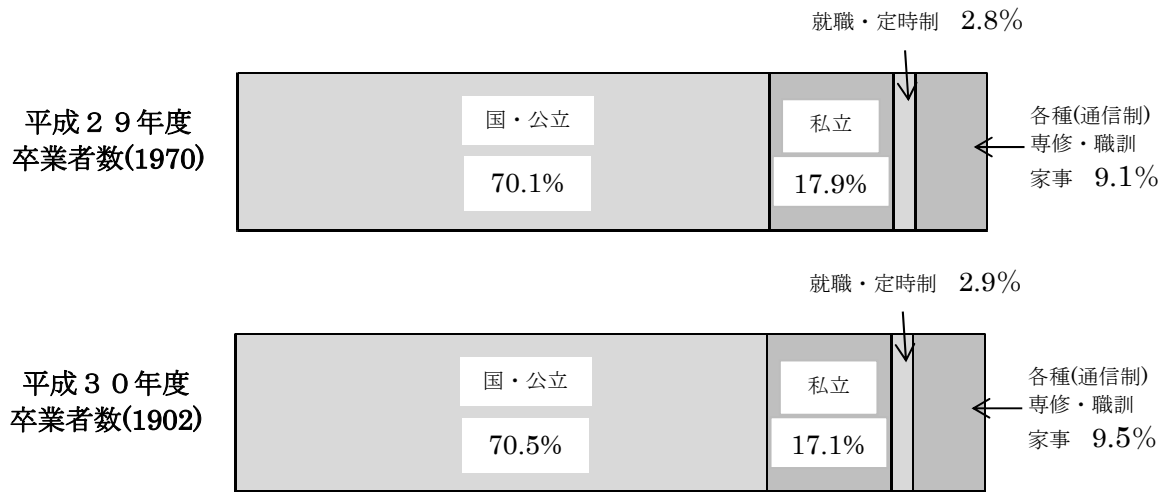
(2) 教職員数

(小中学校)

(令和元年5月1日現在) 単位：人

種別 学校名	校 長	教 頭	教 員					計		再 任 用 職 員	栄 養 職 員	事 務 職 員	校 医					用 務 員
			教 諭		養 教	県 講 師	市 講 師						学 校 医	歯 科 医	眼 科	耳 鼻 科	薬 剤 師	
			男	女				男	女									
安 城 中 部 小	1	1	8	20	1	1		11	21	1		1	1	1	1	1	1	1
安 城 南 部 小	1	1	8	15	1			10	16	1		1	1	1	1	1	1	1
安 城 西 部 小	1	1	6	17	1			8	18	3		1	1	1	1	1	1	1
安 城 東 部 小	1	1	6	13	1	1	1	10	14			1	1	1	1	1	1	1
安 城 北 部 小	1	1	7	22	1	2	1	11	24	1		1	1	1	1	1	1	1
錦 町 小	1	1	7	19	1	1	1	9	22	1		1	1	1	1	1	1	1
高 棚 小	1	1	6	11	1			8	12			1	1	1	1	1	1	1
明 和 小	1	1	4	13	1			5	15	2	1	1	1	1	1	1	1	1
志 貴 小	1	1	5	4	1			7	5	1		1	1	1	1	1	1	1
桜 井 小	1	1	9	26	1	2	2	12	30	4		2	1	1	1	1	1	1
作 野 小	1	1	7	17	1	1	1	8	21	1		1	1	1	1	1	1	1
祥 南 小	1	1	5	16	1			7	17	1		1	1	1	1	1	1	1
丈 山 小	1	1	7	19	1	1	1	8	23	2	1	1	1	1	1	1	1	1
二 本 木 小	1	1	8	24	1	3		12	26	3		2	1	1	1	1	1	1
里 町 小	1	1	6	18	1			7	20	1		1	1	1	1	1	1	1
桜 町 小	1	1	6	21	1	1	2	8	25		1	1	1	1	1	1	1	1
桜 林 小	1	1	6	16	1	1		8	18			1	1	1	1	1	1	1
新 田 小	1	1	8	13	1			10	14			1	1	1	1	1	1	1
今 池 小	1	1	3	15	1			5	16	2	1	1	1	1	1	1	1	1
三河安城小	1	1	10	18	1			11	20			1	1	1	1	1	1	1
梨 の 里 小	1	1	5	15	1		1	6	18	1		1	1	1	1	1	1	1
小 学 校 計	21	21	137	352	21	14	10	181	395	25	4	23	21	21	21	21	21	21
			489					576										
安 城 南 中	1	1	23	14	1	7		26	21	6		2	2	2	1		1	1
安 城 北 中	1	1	22	19	2	5		27	23	1	1	2	2	2	1		1	1
明 祥 中	1	1	12	6	1	4		15	10			1	1	1	1		1	1
安 城 西 中	1	1	17	24	2	3		21	27			2	1	1	1		1	1
桜 井 中	1	1	19	10	1	6		25	13		1	1	1	1	1		1	1
東 山 中	1	1	20	10	1	6		24	15	3		2	1	1	1		1	1
安 祥 中	1	1	17	7	1	5		21	11			1	1	1	1		1	1
篠 目 中	1	1	21	15	1	4		25	18			2	1	1	1		1	1
中 学 校 計	8	8	151	105	10	40	0	184	138	10	2	13	10	10	8	0	8	8
			256					322										
総 合 計	29	29	288	457	31	54	10	365	533	35	6	36	31	31	29	21	29	29
			745					898										

(3) 中学卒業者の状況



(4) 児童生徒数推計

	令和元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度
小学校	11,384	11,230	11,142	10,980	10,969	10,937
中学校	5,425	5,552	5,669	5,740	5,689	5,541

※令和元年度は5月1日現在の児童・生徒数の実数。
※令和2年度以降は、令和元年5月1日現在の入学前人口より推計し算出。

3 心身の健全育成活動

(1) 学校教育関係体育行事

ア 令和元年度行事

- 4月・安城市中学校春季陸上競技大会
- 5月・各小学校運動会
- 7月・安城市中学校選手権大会
- 西三河中学校選手権大会
- 8月・愛知県中学校選手権大会
- 9月・各中学校体育大会
- 安城市中学校新人体育大会
- 10月・西三河中学校駅伝大会
- 11月・愛知県中学校駅伝大会

イ 平成30年度児童生徒の体位平均値

区分			身長 cm			体重 kg		
			市平均	県平均	全国平均	市平均	県平均	全国平均
小学校	1年	男	116.2	116.5	116.5	21.3	21.2	21.4
		女	115.3	115.3	115.7	20.8	20.7	21.0
	2年	男	122.1	122.2	122.5	24.0	23.8	24.1
		女	121.0	121.3	121.5	23.3	23.3	23.5
	3年	男	128.0	128.1	128.2	27.1	27.1	27.2
		女	126.8	126.6	127.3	26.2	25.9	26.4
	4年	男	133.1	133.1	133.5	30.1	30.3	30.5
		女	133.0	133.1	133.4	30.0	29.4	29.9
	5年	男	138.4	138.8	139.0	33.9	33.8	34.2
		女	139.6	139.0	140.1	33.4	33.1	34.0
	6年	男	144.9	144.7	145.0	38.0	37.7	38.2
		女	145.7	146.2	146.7	38.1	38.3	39.0
中学校	1年	男	151.4	152.3	152.8	42.7	43.4	44.0
		女	151.5	151.7	151.8	43.4	42.8	43.6
	2年	男	159.5	159.9	160.0	48.6	48.6	49.0
		女	154.3	154.7	154.9	46.8	46.7	47.2
	3年	男	164.9	165.1	165.3	53.4	53.1	53.9
		女	155.9	156.3	156.5	49.5	49.4	50.0

備考 県平均及び全国平均については平成29年度の数値。

(2) 学校保健

学校保健会

目 的	学校教育における保健衛生の普及、推進
表 彰	よい歯の子表彰を毎年実施
組 織	学校医、学校歯科医、学校薬剤師、学校長、保健主事、養護教諭 その他学校保健関係者
行 事	学校保健大会（研究発表・表彰） よい歯の子募集

(3) 独立行政法人日本スポーツ振興センター

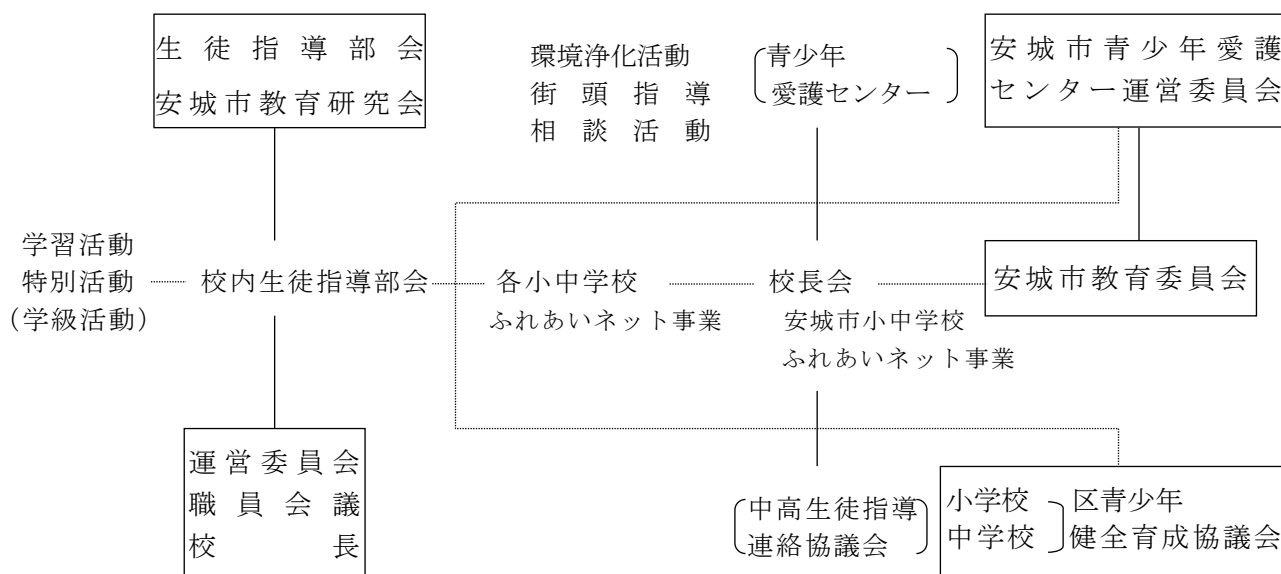
心身ともに健康な児童・生徒の育成に資することを目的とし、学校安全の普及充実と災害共済給付関係の事務を行っている。

学 校 安 全 学校安全については当会の災害共済給付事務に伴う災害報告書による児童・生徒の災害の事例、実態を把握し、これを調査分析し学校安全の充実に役立てている。

また、この資料については、毎年発行の「児童・生徒 発育と健康状態」に編集掲載している。

災害共済給付 災害共済給付については、学校の管理下で発生の災害について（１件５,０００円以上）、センターへの医療費の請求を行っている。また、死亡見舞金、障害見舞金の制度もある。

(4) 生徒指導推進の組織



4 野外教育活動

目 的 自然に囲まれた環境の中で、豊かな人間性の育成を図る。

キャンプ場	安城市作手高原野外センター			安城市茶臼山高原野外センター		
開設年月日	昭和 4 7 年 4 月			昭和 5 8 年 4 月		
所 在 地	愛知県新城市作手白鳥字本宮辻 1 番地 4 電話 0536-37-2107			長野県下伊那郡根羽村 3370 番地 42 電話 0265-49-2627		
所在地の 緯度・経度	北緯 34° 55′ 35.3″ 東経 137° 25′ 35.4″			北緯 35° 13′ 17.9″ 東経 137° 39′ 28.4″		
環 境	本宮山山系の山並みが連なる標高 550m の地、ウグイス等の野鳥が鳴き、杉・桧等の美林と山あいを流れる豊かな清流に囲まれた好適地である。			標高 1,415m の茶臼山山頂からは、北東に南アルプス連峰、北西には御嶽山・恵那山が眺められ、夏なお涼しく、まわりはブナ・ナラ等の落葉・広葉樹林におおわれた植物性の宝庫であり、豊富な昆虫類が生息する自然恵まれた景観の地である。		
自然観察 登山コース	群生する植物と生息する各種昆虫類の生態観察や採集とともに、体力の増強を図り、健全な精神の鍛練をめざして、本宮山自然観察登山コースを設けた。			天竜奥三河国定公園の指定を受ける、茶臼山高原では 50ha におよぶ原生林の中の散策コースがあり、山頂からは雄大な南、中央、北アルプスの山並みが遠望できる。		
標高・面積	標高 550m 面積 約 3 万 m ²			標高 1,294m 面積 約 5.5 万 m ²		
安 城 市 か ら の 距 離 ・ 時 間	距 離 約 5 6 k m 時 間 約 1 時間 3 0 分（自家用車）			距 離 約 8 5 k m 時 間 約 2 時間 3 0 分（自家用車）		
施設の概要	・ キャンプ場 ・ ファイヤー場 ・ 避難棟（鉄筋コンクリート 2 階建て 994.88 m²） ・ 運動広場（2 ケ所） ・ 屋外便所（2 ケ所、各 53.76 m²） ・ 炊事棟（2 ケ所、各 56.70 m²） ・ 南サイト避難等兼倉庫（木造 1 階建） ・ 油庫 ・ 休憩場 ・ まき小屋 ・ 休憩広場 ・ 水遊び場 ・ テント 60 張（300 人収容）			・ キャンプ場 ・ ファイヤー場 ・ 避難棟（鉄筋コンクリート 2 階建て 894.25 m²） ・ 浴室棟（221.45 m²） ・ 運動広場（2 ケ所） ・ 屋外便所（2 ケ所、各 53.07 m²） ・ 炊事棟（2 ケ所、各 56.70 m²） ・ 屋外講座スペース ・ 油庫 ・ まき小屋 ・ テント 60 張（300 人収容） ・ 炭焼き窯		
利 用 状 況	小 学 生	一般等	計	中 学 生	一般等	計
平成 30 年度	6,206	1,834	8,040	7,884	436	8,320
平成 29 年度	8,344	1,553	9,897	9,830	597	10,427
利 用 者	本市小学 5 年生が自然教室で利用及び一般利用			本市中学 1 年生が自然教室で利用及び一般利用		
周辺施設等	本宮山・つくで手作り村 鬼久保ふれあいひろば・亀山城址 歴史民族資料館・長ノ山湿原・鳴沢の滝			茶臼山展望台・小鳥の森・アテビ平 萩太郎山・愛知県野外活動ロッジ 国民休暇村・茶臼湖		

5 就学・奨学制度

(1) 奨学金制度

能力があるにもかかわらず、経済的理由により高等学校の修学が困難な者に対して必要な資金を支給する。

また、平成14年2月から、主たる生計維持者の失職等の事由で家計収入が激減し、高等学校の修学が困難な者に対しての緊急奨学金制度を開始した。

- ・奨学金の額 9,000円以内／月額
- ・奨学生の状況（緊急奨学金の状況は備考欄に別記）

年 度	人 数	支 給 額	備 考
29	84 ^人	8,964 ^{千円}	
30	86	9,252	緊急奨学金2人 207,000円

(2) 私立高等学校等授業料補助

私立高等学校等に在籍する者の保護者に対して、授業料の補助を行うことにより、保護者の経済的負担の軽減、教育の機会均等の原則を確保し、あわせて私立高等学校等の教育振興に寄与することを目的とする。

- ・補助金の額 世帯の所得により年額12,000円または18,000円を上限とする。

年 度	人 数	支 給 額
29	1,103 ^人	14,499 ^{千円}
30	1,107	14,652

(3) 就学援助

経済的理由によって就学困難な児童生徒に対し、学用品・学校給食費・修学旅行等の費用を援助し、義務教育の円滑な実施を図る。

(平成30年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 数	金 額	人 数	金 額
学用品費等	615 ^人	7,890 ^{千円}	350 ^人	7,922 ^{千円}
修学旅行費	116	2,485	101	5,117
学校給食費	613	25,799	347	16,295
医 療 費	0	0	0	0
新入学用品費	135	5,481	261	12,371

(4) 特別支援教育就学奨励

特別支援学級へ就学する児童・生徒のうち、保護者の負担能力の程度に応じて経済的負担を軽減し、学校教育の普及奨励を図る。

(平成30年度)

区 分	小 学 校		中 学 校	
	人 数	金 額	人 数	金 額
学 用 品 等	178 ^人	5,325 ^{千円}	72 ^人	3,015 ^{千円}

(5) 幼稚園就園奨励

幼稚園教育の振興に資するため、保護者の所得状況に応じて、私立幼稚園設置者に対して授業料等を軽減するために要する経費について助成する。(平成27年度の子ども・子育て支援新制度の開始に伴い、公立幼稚園については新たな負担軽減の仕組が適用されることになったため、廃止)

年 度	公 立		私 立	
	人 数	減 免 額	人 数	助 成 額
28			2,237 ^人	221,086 ^{千円}
29			2,153	225,823
30			1,858	194,193

(6) 幼稚園第3子無料化

保護者が、児童(18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者をいう。)を3人以上養育している場合に、その3番目以降の児童にかかる授業料等を無料とし、子育て家庭の経済的負担を軽減する。(平成23年7月から実施)

年 度	公 立		私 立	
	人 数	免 除 額	人 数	助 成 額
28	95 ^人	9,541 ^{千円}	185 ^人	12,758 ^{千円}
29	94	9,285	160	13,152
30	87	8,636	159	9,776

6 学校施設の設置状況

(令和元年5月1日現在)

種別 学校名	開設 年度	児童・生徒数 (人)	学級数	校地面積 (㎡)				建物面積 (㎡)			プール m
				建物地	運動場	その他	計	校舎	第1体育館	第2体育館	
1 安城中部小	M41	623	23 (4)	10,874	15,311		26,185	6,081	698		25×10
2 安城南部小	M41	598	20 (2)	8,536	10,848		19,384	4,541	690		25×10
3 安城西部小	M41	571	21 (3)	5,213	23,494	867	29,574	4,983	650		25×10
4 安城東部小	M41	475	18 (2)	5,372	8,646		14,018	3,909	692		25×10
5 安城北部小	M41	806	27 (3)	10,487	10,775		21,262	5,490	1,234		25×10
6 錦町小	S29	589	23 (4)	9,004	13,704	394	23,102	5,036	920		25×10
7 高棚小	M41	295	14 (2)	7,500	8,612	256	16,368	3,544	680		25×10
8 明和小	M41	388	15 (2)	7,137	10,301	787	18,225	3,557	626		25×10
9 志貴小	S36	184	8 (1)	5,253	9,714		14,967	2,620	513		25×10
10 桜井小	S35	900	33 (5)	11,425	7,335		18,760	8,283	1,144		25×10
11 作野小	S44	654	22 (2)	8,031	13,819		21,850	6,113	710		25×10
12 祥南小	S46	337	16 (4)	9,117	13,667		22,784	3,972	680		25×10
13 丈山小	S46	660	23 (2)	7,770	10,610	1,704	20,084	4,198	682		25×10
								929	※仮設校舎 (リース)		
14 二本木小	S47	800	27 (3)	8,063	10,716		18,779	6,217	681		25×10
15 里町小	S54	568	20 (2)	7,626	12,741		20,367	5,570	693		25×10
16 桜町小	S55	650	24 (3)	10,515	10,565		21,080	8,489	699		25×10
17 桜林小	S56	574	19 (2)	9,749	10,061		19,810	4,230	695		25×10
18 新田小	S57	444	18 (3)	9,946	13,414		23,360	4,307	717		25×10
19 今池小	S61	401	14 (2)	9,693	9,444		19,137	5,733	720		25×10
20 三河安城小	H14	598	23 (4)	12,439	6,570		19,009	8,359	1,227		25×10
21 梨の里小	H18	499	18 (2)	11,582	8,583		20,165	7,792	1,217		25×10
小学校計		11,614	426 (57)	185,332	238,930	4,008	428,270	113,953	16,568		
1 安城南中	S24	837	26 (3)	16,315	19,819		36,134	8,867	1,356	634	25×15
2 安城北中	S24	853	27 (4)	16,104	19,886		35,990	8,462	1,353	794	25×15
3 明祥中	S22	376	13 (2)	17,964	15,753	2,376	36,093	5,667	1,346	728	25×15
4 安城西中	S34	821	26 (4)	11,758	16,172		27,930	8,564	1,373	760	25×15
5 桜井中	S22	636	21 (2)	15,943	12,982	475	29,400	6,651	1,312	600	25×13.6
6 東山中	S50	713	22 (2)	14,750	20,035		34,785	6,826	1,358	600	25×15
7 安祥中	S56	571	17 (2)	19,051	13,786	598	33,435	6,384	1,346	600	25×15
8 篠目中	S58	713	24 (4)	13,398	17,032		30,430	7,751	1,346	600	25×15
中学校計		5,520	176 (23)	125,283	135,465	3,449	264,197	59,172	10,790	5,316	
1 安城北部	S41	111	5	1,270	2,649		3,919	1,112			—
2 東栄	S54	137	6	2,025	1,675		3,700	1,294			—
幼稚園計		248	11	3,295	4,324		7,619	2,406			

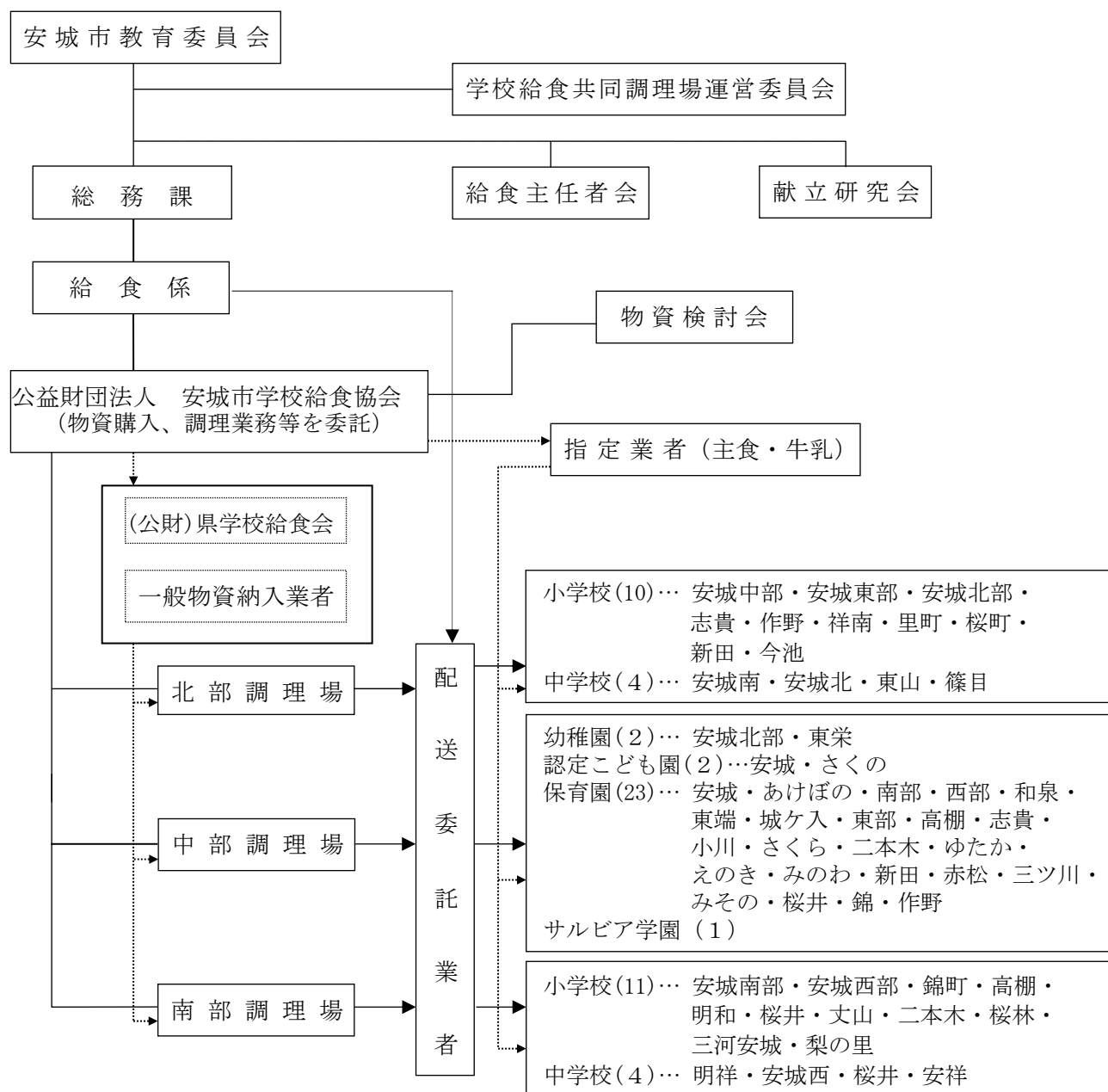
() 特別支援学級・再掲 ※ 校舎面積は附帯施設を含まない

7 学校給食

(1) 学校給食の目標（学校給食法第2条）

- ア 適切な栄養の摂取による健康の保持増進を図ること。
- イ 日常生活における食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営むことができる判断力を培い、及び望ましい食習慣を養うこと。
- ウ 学校生活を豊かにし、明るい社交性及び協同の精神を養うこと。
- エ 食生活が自然の恩恵の上に成り立つものであることについての理解を深め、生命及び自然を尊重する精神並びに環境の保全に寄与する態度を養うこと。
- オ 食生活が食にかかわる人々の様々な活動に支えられていることについての理解を深め、勤労を重んずる態度を養うこと。
- カ 我が国や各地域の優れた伝統的な食文化についての理解を深めること。
- キ 食料の生産、流通及び消費について、正しい理解に導くこと。

(2) 学校給食の組織



(3) 調理場施設及び調理数

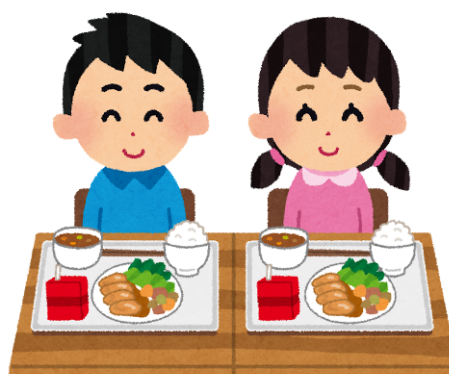
施設名		北部学校給食共同調理場	中部学校給食共同調理場	南部学校給食共同調理場
所在地		安城市池浦町曲尺手65	安城市福釜町笠松1	安城市和泉町南梶25
開設時期		昭和62年4月	平成21年8月	平成19年9月
敷地面積 (駐車場等含む)		6,160.14㎡	5,803.17㎡	9,705.08㎡
建物面積 (附属建物含む)		2,433.32㎡	2,571.06㎡	3,784.76㎡
建設費		880,547千円	1,594,028千円 (旧南部調理場解体整備費含む)	2,074,763千円
調理能力		10,000食/日	5,000食/日	10,000食/日
給食数等	小学校	10校 5,498食	——	11校 6,940食
	中学校	4校 3,317食	——	4校 2,602食
	幼稚園	——	2園 276食	——
	認定こども園	——	2園 431食	——
	保育園	——	23園 3,903食	——
	サルビア学園	——	1園 77食	——
	調理場	81食	53食	82食
	合計	8,896食	4,740食	9,624食

※給食数は、平成31年4月1日現在

(4) 給食実施計画

(令和元年度)

小中学校	189回
幼稚園	188回
認定こども園 保育園	231回
サルビア学園	224回



(5) 食に関する指導 (栄養教諭4名、学校栄養職員2名 市栄養士2名)

- ① 児童生徒への個別的な相談指導 (偏食、痩身願望、肥満、食物アレルギー等)
- ② 栄養教諭・学校栄養職員により小学校1、3年生及び中学校1年生全クラスを対象とした学級活動における食の授業や、食に関する指導に関連した教科等で担任とチームを組んだ指導、学校保健委員会及び献立表・リーフレット等による啓発活動を推進し栄養指導を展開。
- ③ 市栄養士による幼稚園・認定こども園・保育園年長児を対象とした食育指導を実施。

(6) 給食費の推移

(1人1食当たり)

区分 年度	小学校	中学校	幼稚園	保育園 (副食代)	改正時期
S 43	45円	55円			7月
44	50	60			〃
45	57	68			〃
46	60	71			〃
47	60	71	60円		4月
48	75	85	75		7月
49	100	115	100		〃
50	120	140	120		〃
51	130	150	130		〃
52～54	140	165	140	73.82円	〃
55	155	185	150	82.46	〃
56～58	162	192	155	87.02	10月
S 59～H 2	175	205	162	94	〃
3～5	185	220	170	97	〃
6～10	200	235	190	97	6月
11～20	215	250	195	100	10月
21～28	235	270	200	105	4月
29～	255	290	215	115	4月

(7) 給食内容

○主 食

- ・米 飯…………… 週3回以上
- ・パ ン…………… 週1回程度
- ・め ん…………… 月1～2回 (ソフトめん・うどん・ラーメン・きしめん)

○牛 乳

毎食。栄養素が総合的にかつバランスよく含まれており、特にカルシウムが多く、成長期の子供には欠かせないものとなっている。

○副 食

摂取基準を満たすように主食と組み合わせ、食品構成基準に基づいて食材を選択し、季節(旬)のもの、行事食、地場産物等を取り入れた献立を作成。

(8) アレルギー対応

学期毎の牛乳アレルギー対応牛乳代返金事務の他、毎月、アレルギー物質原因原材料含有状況表、献立材料一覧表などを各園、学校及び保護者へ送付し、情報提供等連携を図っている。

また、物資選定の際には、できるだけアレルゲンの少ないものを選定している。

(9) 第3子以降給食費無料化事業について

第8次総合計画に基づく子育て支援充実のため、18歳までの子どもを3人以上養育している保護者に対して、第3子以降の子どもの給食費無料化を平成29年4月から開始した。

IV 生涯学習

1 生涯学習

(1) 生涯学習の目標

第3次安城市生涯学習推進計画の基本理念「だれもが楽しく、つながり、人
とまちの明日を創る 学びあい」のもとに、以下の推進テーマに沿って生涯学
習を推進する。

ア 市民活動・地域活動の担い手育成につながる生涯学習

イ 市民自ら企画・運営し、市民同士で、楽しみながら、学び、教える生涯学習

ウ 長寿社会を地域で豊かに生きるための大人の生涯学習

エ ものづくり文化の創造と次世代育成につながる生涯学習

推進テーマに沿って、下表のとおり生涯学習を推進する。

	基本目標	施策の方針
1	多様なニーズに応じた学 びの機会の提供	・市民ニーズに応じた学習の提供 ・ライフステージに応じた学習の提供 ・安城市の地域資源を活かした学習の提供
2	学びの成果を地域に活か すつながりづくり	・自主グループの育成と地域の絆づくり ・ボランティア活動等への橋渡し
3	市民の主体的な学びを支 える環境づくり	・生涯学習の総合的な情報提供 ・相談体制の充実 ・指導者の発掘・育成・活用 ・生涯学習施設の維持管理と運用

(2) 青少年教育

ア 青年教育

(平成30年度)

事業名	内 容			事業目的
ユース カレッジ (第66期)	学習期間 5月10日～3月14日(1年間) 学習内容 ・一般教養……各種マナー、調理実習、各種ボランティア活動 ・指導者養成…プログラムの企画・立案・グループ活動とリーダー養 成、県内・県外研修 ・体育・レク…ニュースポーツ、カヌー体験 回数 43回(内実行委員会形式10回) 修了者数 16人(男10人、女6人)			余暇活動の善用と生 涯学習に対する態度を 養う。 有志指導者としての 意識と資質の向上を図 る。 地域社会の担い手と して連帯感を尊重する 態度を養う。
青年講座	講座名	開催日・回数	受講者数	青年の余暇を有意義 に利用し、活動を通して 仲間づくりを図り、青年 活動を活発にしてい くとともに青年の学習の 場とする。
	高校生のためのキャリア支援講座 A(安城)－studio－進路を迷 っている高校生のキミへー	6月10日 6月17日	24人	
	東大・京大卒社会人によるセミナー	8月18日	13人	
	高校生のためのキャリア支援講座 A(安城)－studio－BREA K THE BORDER－	11月10日 11月17日	9人	
	自分の魅力再発見！！	2月15日 2月22日 3月1日 3月8日 3月15日	10人	

青 少 年 リーダー養成	・ジュニアリーダー研修会 期 日 4月～3月 会 場 安城市青少年の家他 参加者 20人（中学生以上）	子ども会活動をけん引していくために、必要な知識や技術を習得し、リーダーとしての素養を養う。
-----------------	---	---

イ 青少年団体指導者育成

青少年団体等の指導者の充実を図り、活動をよりよく運営していくために、有志指導者の研修の機会を設ける。

(平成30年度)

事 業 名	内 容
子ども会活動育成者・指導者研修会	期 日 4月15日 参加者 100人
子ども会ソフトボール審判講習会	期 日 5月27日・6月10日 参加者 53人（地域子ども会ソフトボール等指導者）
派遣事業	・愛知県子ども会大会 参加者 49人 ・西三河地域子ども会ドッジボール大会 男3チーム女2チーム ・西三河地域子ども会指導者育成研修会 参加者 3人

ウ 青少年団体等育成

社会教育団体の自主的な活動を助長し、会員相互の参加意識に基づく民主的な運営を育成する。

有志指導者の発掘と社会教育リーダーを養成し、各種指導体制の確立を図る。

(平成30年度)

事 業 名	内 容	事 業 目 的
安城市スカウト連絡協議会	ボーイスカウト 4団体 298人 ガールスカウト 2団体 52人 ・理事会 月1回（青少年の家） ・献眼献腎推進運動協力 8月5日（JR安城駅付近） ・各団舎営、野営 8月 ・新入スカウト募集 7月、1月 ・環境美化運動 年間	市内のボーイスカウト・ガールスカウト各団相互の連絡を深めるとともに団の育成強化を図り、スカウト活動の推進を図る。

事業名	内 容	事業目的
安城市子ども会 育成連絡協議会	連絡協議会 1 学区育成会 21 単位子ども会 115 会 員 6,720人 ・青少年リーダークラブ員募集 ・子ども会実態調査 ・総 会 ・子ども会環境美化推進活動 ・ソフトボール・フットベースボール地区大会 ・ソフトボール・フットベースボール中央大会 ・花いっぱい花だんコンクール審査・表彰式 ・安城市子ども会大会 ・スポーツ振興（すもう大会・ドッジボール大会ほか） ・文化振興（写生大会・たこあげ大会ほか）	地域の子どもの健全育成を図る。
全国子ども会 安全共済会	子ども会会員 6,841人 子ども会指導者 2,631人 計 9,472人 見舞金等支給状況 49件 391,434円	少年団体等の会員や指導者が安心して活動できるよう安全共済会に加入する。
成人式	日 時 1月13日（日） 午後1時30分～ 会 場 安城市体育館アリーナ 対象者 男子 1,293人 女子 1,049人 } 計 2,342人 参加者 1,729人（73.8%） 内 容 ・式典 新成人へのメッセージ、懇談会 ・催し 激励メッセージ展示、アトラクション（新成人代表による抽選会） ・記念品 デンパーク入園券、デンパーク買物券、スポーツセンター入場券、丈山苑入苑券、安城市歴史博物館観覧券、プラネタリウム観覧券	“はたち”を迎えた新成人をお祝いするとともに、彼らが未来の輝かしい担い手として自覚を持ち、社会人として責任ある行動がとれることを期す。
青年企画委員会 育成	企画行事名 「ゾンビの館」 開催日時 10月28日（日） 午後5時10分～午後8時10分 実行委員会回数 13回 実行委員会人数 7人 ボランティアスタッフ人数 22人 来場者 91人	若者が、イベントの企画・立案をすることを通じて、仲間づくりと共に、企画力・実行力を身につけ、将来の地域の担い手としてふさわしい人材となるよう育成し、青年活動の活性化を図る。

エ 青少年対策

(7) 青少年愛護センター

※青少年をすこやかにはぐくむ都市宣言事業

(平成 30 年度)

事業名	内容
地域ぐるみ青少年健全育成推進事業 ○学区青少年健全育成会 ○学区青少年健全育成協議会 ○市青少年健全育成連絡協議会	・ 36 育成会（小学校区 21、中学校区 8、高等学校区 7） ・ 「青少年をすこやかにはぐくむ都市」の地域ぐるみで推進を図る。 ・ 家庭の日の推進、地域懇談会、あいさつ運動、講演会学級講座、愛の一声運動、環境浄化、広報啓発活動、推進会議、校外指導活動、健全育成協議会との連携活動、ほか ・ 9 協議会（中学校区 8、高等学校区 1） ・ 学区青少年健全育成会と連携して健全育成活動を推進する。 ・ 地区別懇談会、講演会、広報啓発活動、校外指導活動、環境浄化活動、各種県民運動の展開、生徒指導連絡協議会等関係組織との連携、ほか ・ 学区青少年健全育成会、健全育成協議会と連携して各種健全育成運動の推進を図る。
困難を抱える若者支援事業 ○青少年愛護センター若者相談窓口 ○親の学習会（ほっと一息サロン）	・ 相談者数 33 人 ・ 相談回数 延べ 105 回 ・ 参加者数 延べ 111 人 ・ 開催回数 5 回
青少年非行防止活動の推進事業 ○青少年非行防止街頭指導活動 ○地域のおじさんおばさん運動	・ 青少年愛護センター青少年街頭指導委員 124 人委嘱 学区街頭指導委員部会、36 育成会及び 9 協議会ごとに実施 ・ 1,072 人登録 里町、志貴、高棚、錦町、明和、東部、新田、中部、今池、桜井、桜林、南部、作野、丈山、桜町、三河安城、北部、二本木、西部、祥南、梨の里の 21 校区
青少年環境浄化活動推進事業 ○有害図書類追放 （ボイボックス）回収状況 ○こども 110 番の家設置事業	・ 年間回収総数 311 冊 うち有害図書数 307 冊 ・ 市内全域 1,221 箇所に設置 2 件の駆け込み うち警察署管轄 137 箇所
青少年健全育成推進事業 ○ 青少年健全育成顕彰事業	・ 子どもたちの健やかな成長をめざして(青少年健全育成推進大会と市 P 連家庭教育講演会) ・ 2 月 16 日（土）325 人参加 文化センター マツバホール 表彰者 指導育成者 11 人 2 団体、児童・生徒 29 人

事業名	内容
青少年健全育成等県民運動の推進と展開 ○青少年の非行・被害防止に取り組む県民運動 ○青少年によい本をすすめる県民運動 ○子ども・若者育成支援県民運動 ○「家庭の日」県民運動	「非行の芽 はやめにつもう みな我が子」 夏期 （７月１日～８月３１日） 冬期 （１２月２０日～１月１０日） ・青少年非行防止街頭一斉啓発 （６月２２日～７月２８日） フィールでっかいどう、ピアゴ福釜店、イトーヨーカドー安城店、安城コロナ、ザ・モール安城店、JR 安城駅、南安城駅、バロー安城店、フィール新安城店、ピアゴ ラフーズコア三河安城店、ドン・キホーテ新安城店、新安城駅（北口）、ピアゴ東栄店、バロー安城日の出店、アピタ安城南店、マーメイドパレス（１６か所） 「育てよう豊かな心 読書から」 （１０月１日～３１日） 「育てよう 自分に勝てる子 負けない子」 （１１月１日～３０日） 「親と子の 対話がつくる よい家庭」 （２月１日～２８日） ・広報啓発活動
青少年健全育成推進奨励関係事業 ○青少年社会参加活動推進事業 ○地域ぐるみ親子ふれあい推進事業 ○会議、研修会等	・青少年団体等が活動を通して地域との連携をとり地域の発展、文化の伝承に務め、地域に密着した団体の育成を図る。 ・親と子のふれあいを目的とした事業を実施することにより健全な家庭環境の醸成を図る。 （１９学区で実施、参加者 ４，９０７人） ・青少年街頭指導委員研修会 ・青少年愛護センター運営委員会 ・青少年健全育成連絡協議会
安城市青少年体験活動ボランティア活動支援センターの事業	設置場所 青少年の家 事業内容 ①ボランティア支援ができる地域の方を開拓するための情報収集を行うと同時に、学校関係者その他へ情報の提供をする。 ②青少年団体や個人から寄せられる相談に対応する。 ③希望者と受入先とのコーディネートをする。 相談件数 ３４件 青少年ボランティア登録者数 ４９人

(イ) 子ども運動広場

地域住民が体育振興のために自主的に行う子ども運動広場の整備及び管理
に対して助成を行い、体力づくり・地域のふれ合い活動の推進を図る。

設置年度	設置町内会	現 地 面 積	所 在 地
S 5 3	篠 目	1 , 1 6 1	篠目町本郷
5 4	東 別 所	2 , 7 9 6	東別所町屋敷
〃	小 川	4 , 5 7 6	小川町山中
5 5	藤 野	2 , 9 8 5	川島町太田屋敷
5 6	根 崎	5 , 8 0 1	根崎町東出口
5 7	石 井	3 , 2 8 2	石井町辻原
〃	東 端	1 , 7 5 9	東端町小山
5 8	柿 碕	1 , 0 1 2	柿碕町宮ノ西
〃	東 町	1 , 0 6 8	東町獅子塚
5 9	上 条	2 , 9 6 3	上条町大通
6 0	城 ケ 入	5 , 9 2 5	城ヶ入町稲場
6 2	池 浦	3 , 7 7 8	池浦町丸田
6 3	東 尾	2 , 0 3 9	安城町赤塚
〃	赤 松	5 , 6 7 3	赤松町隅田川
H 元	古 井 新 町	1 , 3 7 9	古井町一本木
3	里	3 , 0 5 3	里町三郎
4	古 井	2 , 8 9 7	古井町釈迦山
7	山 崎	2 , 3 6 0	山崎町溝川
1 4	浜 屋	4 , 2 4 7	浜屋町宮東
1 6	横 山	7 , 9 1 9	横山町山田
1 7	箕 輪	4 , 1 5 5	箕輪町屋下
2 1	福 釜	8 , 0 0 0	福釜町十郎
2 6	西 尾	1 , 8 8 0	安城町甲山寺
合 計	2 3 か所	8 0 , 7 0 8	

(3) 社会教育施設・団体等

ア 青少年の家

(ア) 青少年の家の概要

青少年やその指導者が、自主的で、規則正しい共同生活を営み、講座、話し合い、レクリエーション活動などを行う拠点施設。

所在地 安城市新田町池田上1番地（安城市総合運動公園内）

設置年月日 昭和58年3月27日新築（前青年の家・昭和42年開館）

平成18年2月20日改修（人にやさしい街づくり事業）

建物の構造 鉄筋コンクリート造2階建及び鉄骨鉄筋造一部2階建

建築の規模 建築延面積 1,999.82㎡

休館日 毎週月曜日(休日を除く)、年末年始

(イ) 利用状況

(平成30年度)

区分	青少年	一般	合計
件数	2,611	1,459	4,070
人数	54,196	16,588	70,784

イ 安祥閣

(ア) 安祥閣の概要

所在地 安城市安城町馬池97番地1

設置年月日 昭和54年3月26日

建物の構造 鉄骨及び鉄筋コンクリート造2階建

建物の規模 建築延面積 368.61㎡

休館日 毎週月曜日（休日の場合は翌日）、年末年始

(イ) 利用状況

(平成30年度)

区分	茶室	茶室 (控室)	楓の間	櫨の間	桜の間	松の間	計
件数	28	46	311	179	157	193	914
人数	386	436	5,513	4,891	4,826	2,728	18,780

ウ 社会教育関係団体

(平成 30 年度)

団 体 名	設 立 年 月	単 位 組 織 数	会 員 数	年 間 予 算 額	市 補 助 金 額
安城市子ども会育成連絡協議会	S. 32. 4	115	6, 720	千円 4, 913	千円 4, 278
安城市スカウト連絡協議会	S. 52. 4	6	350	762	320
安城市小中学校 P T A 連絡協議会	S. 49. 5	29	97	1, 153	206
安城市少年少女発明クラブ	H. 11. 5	1	119	4, 994	2, 000
安城文化協会	S. 21. 4	80	1, 539	9, 812	3, 242

エ 市民企画講座

市民（団体）の柔軟な発想を生かすとともに、市民主体の生涯学習の推進を図ることを目的に実施する。

講座数 8 講座・参加者数 1 8 3 人（平成 3 0 年度）

オ 職員出前講座・市民出前講座

講座数 3 9 講座・回数 2 9 2 回（平成 3 0 年度）

カ 家庭教育講演会の開催

家庭教育や現代の子どもを取り巻く社会状況に関連した講演会を開催することにより、子どもたちを健やかに育む環境作りを推進する。（安城市小中学校 P T A 連絡協議会と共催）

(平成 30 年度)

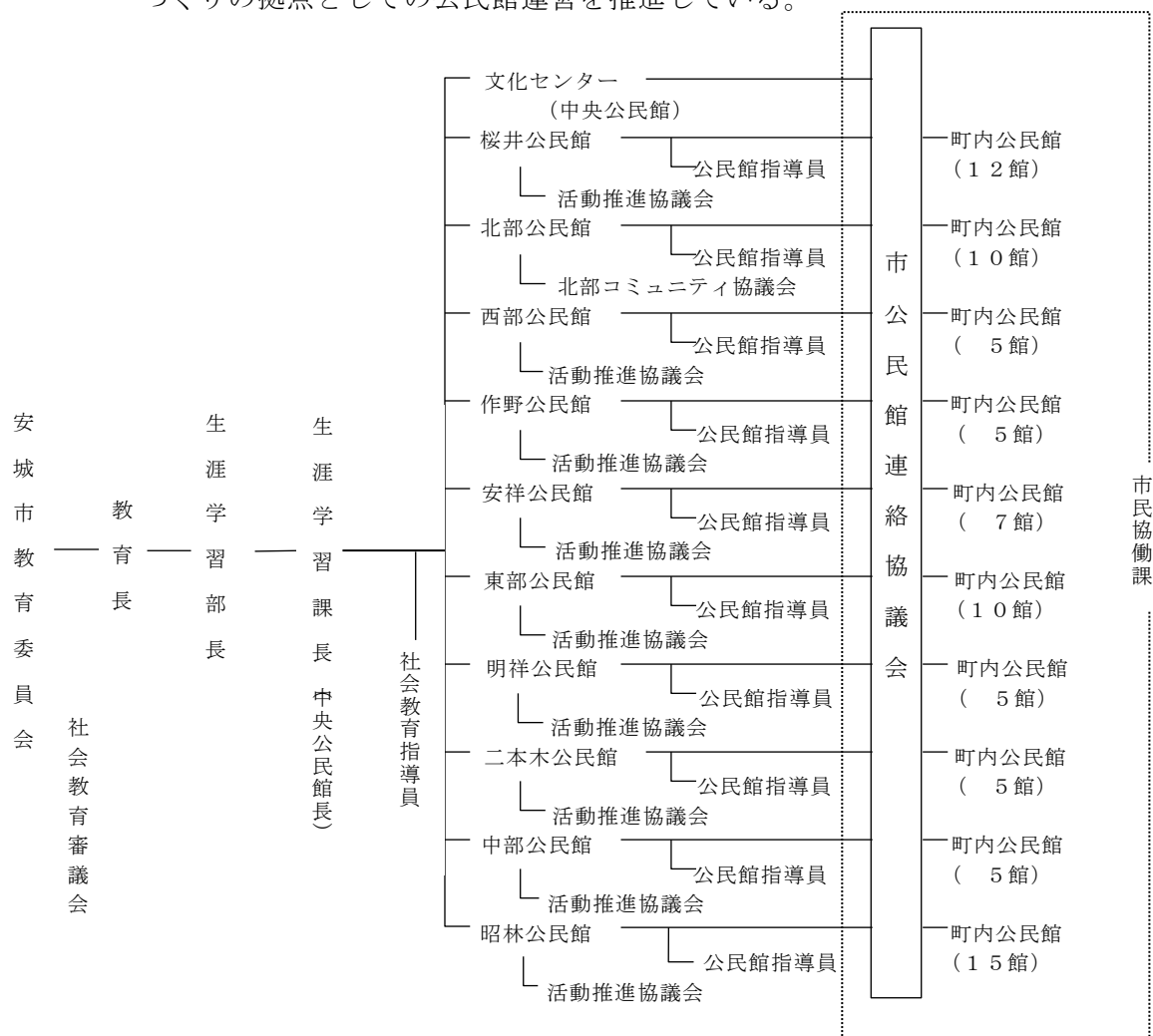
開 催 日	演 題 / 講 師 名
2 月 1 6 日	「親子で楽しむ自然遊び」 講師 鉄崎 幹人氏

2 公民館

(1) 公民館組織

生涯学習の担い手は市民一人ひとりであり、その活動は、市民の自由な意志により、それぞれに合った手段や方法で行われるものである。

市の役割は、学習環境を整備し、市民の生涯学習活動を支援することにある。安城市の公民館は、中央公民館を中心として、公民館全体の一体感や方向性の確立に努めるとともに、地区公民館は、概ね中学校区に1か所という配置を踏まえ、学習機会や交流の場であることはもとより、地域に軸足を置いた地域のまちづくり、ひとづくりの拠点としての公民館運営を推進している。



(令和元年度)

(2) 公民館事業

公民館事業の目標に基づき、市民の世代各層にわたる学習意欲を満たすための事業を展開する。

また、地域住民のふれあい事業を推進し、地域における連帯意識の高揚と世代間の交流を図る。

ア 公民館講座の開設

各地区公民館において地域の特性を生かした各種の講座を開設し、知識・技能の向上や豊かな心と生きがいに努める。

(平成30年度)

公民館名	前期	夏季	後期	冬季	その他	講座数計	開催回数	受講者数
桜井公民館	6	6	5	3	0	20	73	379
北部公民館	4	2	4	3	0	13	40	415
西部公民館	5	6	6	4	0	21	68	418
作野公民館	6	6	6	3	0	21	62	427
安祥公民館	4	3	5	4	2	18	86	354
東部公民館	7	2	7	5	0	21	72	299
明祥公民館	6	4	5	5	4	24	91	852
二本木公民館	6	4	5	4	0	19	52	453
中部公民館	4	6	4	4	0	18	48	261
昭林公民館	5	2	4	5	0	16	52	307
計	53	41	51	40	6	191	644	4,165

イ 学級・教室等の開設

(ア) 高齢者教室

高齢者にふさわしい社会的適応能力を高め、積極的に生きがいを求める学習をする。

(平成30年度)

	教室名	地区	開催回数	参加者数
1	桜井高齢者教室	桜井	10	102
2	北部高齢者教室	北部	10	308
3	志貴高齢者教室	北部	10	133
4	西部高齢者教室	西部	10	152
5	作野高齢者教室	作野	10	134
6	安祥高齢者教室	安祥	10	158
7	東部高齢者教室	東部	10	212
8	明祥高齢者教室	明祥	9	115
9	二本木高齢者教室	二本木	10	66
10	中部高齢者教室	中部	10	136
11	昭林高齢者教室	昭林	10	256
	計		109	1772

(イ) 家庭教育学級・乳幼児学級

家庭で子供の教育をする場合の心構え・子供のしつけ・教育上の問題点など、家庭教育上の共通の問題や、乳幼児の健全な心身の成長を願い、子育てのあり方について学習する。

(平成 30 年度)

	教室名	地区	開催回数	参加者数
1	桜井乳幼児学級	桜井	10	30
2	北部乳幼児学級	北部	10	23
3	西部家庭教育学級	西部	8	40
4	作野乳幼児学級	作野	10	30
5	安祥家庭教育学級	安祥	9	45
6	東部家庭教育学級	東部	8	19
7	明祥家庭教育学級	明祥	8	99
8	二本木乳幼児学級	二本木	10	30
9	中部乳幼児学級	中部	10	21
10	昭林家庭教育学級	昭林	8	29
	計		91	366

(ウ) 市民大学講座の開催（指定管理者事業）

様々な分野の著名な講師を招き、だれでも気軽に参加できる講演会を開催することにより、市民の多様で高度な学習要求に応える。

◇第 38 回安城市民大学

(平成 30 年度)

開催日	講演内容
7 月 22 日	らんま先生（ECO実験パフォーマー） らんま先生の実験教室！
12 月 16 日	辛坊 治郎（株大阪総合研究所代表） 時代を読み解く
1 月 13 日	ダイヤモンド☆ユカイ（ロックシンガー） ユカイさんのユカイな毎日を送るために
3 月 16 日	宮下 純一（スポーツキャスター） 出合いに感謝

- ・会場：市民会館サルビアホール
- ・平均受講者 668 人／回

(エ) シルバーカレッジの開催

高齢者が健康で、充実した生活を送ることができるよう、社会適応能力や教養を高め、生きがいを積極的に求めるための幅広い学習をする。

(平成 30 年度)

学 年	回数	受講者数	卒業・修了者数
1 年 生	23	45	44(修了者)
2 年 生	23	45	45(卒業生)

(オ) 社会課題対応講座の開催

社会的、現代的課題を座学や体験を交え総合的に学習し、現代にふさわしい公共性、自律性を備えた人間の育成に努める。

◇愛知教育大学連携事業 こどものまち・ドリームタウン(平成 30 年度)

日時 平成 30 年 12 月 15 日(土)

会場 安城市青少年の家

大人スタッフ 47 人、こどもスタッフ (こども実行委員含む) 28 人、

当日参加者数 513 人

◇桜井子どもハッピーハロウィン祭 (平成 30 年度)

日時 平成 30 年 10 月 21 日(日)

会場 桜井公民館

大人スタッフ 57 人、こどもスタッフ 14 人、当日参加者数 225 人

(カ) 自主グループ主催講座の開催

自主グループがその活動分野の講座を主催運営することで、市民主体の生涯学習の推進を促進するとともに学習機会の拡大を図る。

・実施グループ数 25 グループ (平成 30 年度)

(桜井 2・北部 4・西部 2・作野 1・安祥 3・東部 1・明祥 1・二本木 1・中部 4・昭林 6)

・参加者数 計 167 人

(キ) 子育て支援企画運営事業

生涯学習の視点から子育て支援に関する事業を実施することにより、子ども及び親の健全な成長と人間力の向上を促すとともに、地域全体での子育て支援体制の充実を図る。(NPO 法人 i n g へ委託) (平成 30 年度)

・ほのぼのの広場 46 回開催 参加者 延べ 1, 294 人

・ほのぼののクラブ 8 回開催 延べ 95 人

(全て東部公民館にて実施)

(ク) 公民館まつり・発表会の開催

地区公民館及び町内公民館を拠点として活動しているグループや個人が 1 年間の学習の成果を発表できる場とするとともに、市民に公民館活動を広く知ってもらうために各地区公民館ごとに開催する。 (平成 30 年度)

○ 入場者数 延べ 25, 812 人

○ 参加団体数 489 団体

○ 作品出品点数 11, 700 点

(ケ) 天文普及事業

広大な広がりや長大な時の流れをもつ宇宙に、人々が描く夢やロマン、関心の強さといったものには計り知れないものがある。プラネタリアムの投映を含めた天文普及を図ることにより、これらの夢や興味を正しい方向へ導き、天文現象等に対する探究心や認識を高める。 (平成 30 年度)

a 星空ウォッチング

冬 1 回 参加者 72 人

b 特別企画

全 6 回 参加者 490 人

(コ) 地域ふれあい事業・文化事業の開催

各公民館において、スポーツ大会、レクリエーション大会、ふれあい教室、映画会、教育講演会、芸能発表会など多種多彩な事業を通じ地域における世代を超えた交流を図る。
(平成 30 年度)

参加者 延べ 13, 891 人

(3) 公民館等施設

(平成 30 年度)

施設名	開館年月	所在地	面積 (㎡)		施設内容
			敷地	延床	
文化センター	S56.11	桜町 17 番 11 号	9,256	5,921	ホール (502 席)、プラネリウム (120 席)、会議室 (10 室)、和室 (2 室)、展示室 (2 室)、音楽室、創作活動室、クッキングルーム
桜井公民館	S55.4	桜井町大役田 1 番地 1	4,821	2,439	多目的ホール、会議室 (8 室)、実習室、図書室 (児童センター及び桜井支所併設)
北部公民館	S58.4	里町 4 丁目 1 2 番地 4	9,261	2,699	多目的ホール、大会議室、会議室 (5 室)、実習室、図書室 (児童センター及び北部支所併設)
西部公民館	S60.4	福釜町釜ヶ渕 20 番地 1	7,677 広場 (5,127)	1,030	大会議室兼体育室、会議室 (1 室)、和室 (2 室)、実習室、図書室、運動広場
作野公民館	S63.4	篠目町古林畔 26 番地	9,208 広場 (2,304)	1,439	大会議室兼体育室、会議室 (5 室)、料理実習室、実習室、図書室、学習室、多目的広場 (児童センター併設)
安祥公民館	H2.4	安城町城堀 30 番地	歴史博物館 (7,590) に含まれる	1,328	大会議室兼体育室、会議室 (5 室)、陶芸実習室、多目的室、図書室、学習室
東部公民館	H3.4	大岡町源覚 16 番地	5,709 広場 (1,949)	1,397	大会議室兼体育室、会議室 (4 室)、料理実習室、実習室、芸能室、図書室、遊戯室、学習室、多目的広場
明祥公民館	H3.7	和泉町天下 38 番地 1	明祥プラザ (26,086) に含まれる	明祥プラザ (3,987) に含まれる	会議室 (4 室)、文化室、芸能室、図書室、多目的ホール、実習室、和室、学習コーナー (明祥支所及び福祉センター、児童センター併設)
二本木公民館	H5.5	三河安城本町 1 丁目 13 番地 9	1,708	1,652	大会議室兼体育室、会議室 (6 室)、実習室、図書室、学習室 (児童センター併設)
中部公民館	H7.8	新田町小山西 83 番地	3,360	1,716	大会議室、会議室 (5 室)、図書室、学習室、実習室 (2 室)、和室 (2 室) (児童センター併設)
昭林公民館	H8.4	安城町広美 10 番地 1	4,634	1,498	ホール (159 席)、音楽室 (2 室)、大会議室、会議室 (2 室)、実習室、遊戯室、和室 (2 室)

(4) プラネタリウム（文化センター内）

プラネタリウムは惑星の複雑な動き、全天の恒星、天文の諸現象などを模式的に簡易化して投映している。

また、本体投映機に加え種々な補助投映機を使用し、動きのある映像やバラエティーに富んだドラマチックな演出を行うことができる。

一般投映番組、幼児向番組、学習用番組（小学校４年生用）を投映している。

- ・ 所要時間 約 60 分
- ・ 定 員 120 名
- ・ 観 覧 料 大人 300 円、小中学生 100 円、幼児 50 円
 団体（20 名以上）大人 240 円、小中学生 80 円、幼児 40 円
- ・ 投映時間

回	時 刻	火～金曜日	土・日曜日・休日
1	10：30	団体投映	幼児投映
2	11：30	※ 1	一般投映
3	13：30	※ 1	一般投映
4	15：00	※ 1	一般投映

※ 1 春・夏・冬休みの期間は一般投映、それ以外の期間は団体投映

(5) 利用状況

ア 公民館施設

() は室数 (平成 30 年度)

	文化センター		桜井公民館		北部公民館		西部公民館		作野公民館		安祥公民館	
	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人
ホール	179	26,111	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
多目的 ホール	—	—	(3) 2,110	39,997	(3) 2,024	47,647	—	—	—	—	—	—
大会議室 兼体育室	—	—	—	—	—	—	539	11,175	689	15,673	771	14,167
大会議室	163	15,033	—	—	727	17,261	—	—	—	—	—	—
会議室	(8) 874	34,200	(6) 3,447	69,686	(2) 945	14,028	219	4,376	(2) 1,136	22,317	(4) 1,329	25,235
和室	(2) 239	2,610	(2) 703	14,745	342	2,870	(2) 584	4,697	(2) 946	16,310	(2) 567	5,533
研修室	—	—	—	—	395	6,369	—	—	—	—	—	—
実習室	—	—	312	7,976	282	3,646	321	4,792	373	10,524	—	—
料理実習室	44	984	—	—	—	—	—	—	321	7,365	—	—
陶芸実習室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	644	5,099
講座室	156	10,709	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
音楽室	147	9,085	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
創作活動室	85	7,423	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
視聴覚室	—	—	—	—	422	7,044	—	—	—	—	—	—
展示室	(2) 206	18,131	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
談話室 楽屋	(2) 225	3,165	—	—	—	—	—	—	436	7,625	—	—
計	2,318	127,451	6,572	132,404	5,137	98,865	1,663	25,040	3,901	79,814	3,311	50,034
卓球 (人)	—		756		866		1,470		1,057		392	
パドミントン等 (人)	—		671		871		—		—		—	
遊戯室 (人)	—		—		—		—		—		—	
広場	—	—	—	—	—	—	155	4,544	221	4,563	—	—
児童センター (人)	—		46,800		56,501		—		50,244		—	
Fab Space (人)	2,254		—		—		—		—		—	
図書	人 —	冊 —	人 35,303	冊 128,910	人 50,475	冊 174,407	人 11,532	冊 41,895	人 68,830	冊 248,775	人 11,029	冊 31,059

	東部公民館		明祥公民館		二本木公民館		中部公民館		昭林公民館	
ホール (多目的)	回 —	人 —	回 1,393	人 29,538	回 —	人 —	回 —	人 —	回 325	人 19,044
大会議室 兼体育室	732	12,847	—	—	690	15,140	—	—	—	—
大会議室	—	—	—	—	—	—	679	13,073	763	16,578
会議室	(2) 645	8,256	(4) 624	22,092	(4) 1,856	26,758	(5) 1,685	33,809	(2) 1,252	15,500
和室	(2) 472	5,359	67	886	(2) 600	6,001	(2) 703	10,544	(2) 994	10,531
研修室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
教養室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
実習室	251	4,718	131	1,732	312	5,893	(2) 629	12,969	463	8,500
料理実習 室	133	2,067	—	—	—	—	—	—	—	—
陶芸実習 室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
芸能室	437	6,142	644	9,589	—	—	—	—	—	—
音楽室	—	—	—	—	—	—	—	—	(2) 1,221	12,276
文化室	—	—	180	1,657	—	—	—	—	—	—
談話室	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,670	39,389	3,039	65,494	3,458	53,792	3,696	70,395	5,018	82,429
浴室 (人)	—		—		—		—		—	
卓球 (人)	1,741		476		1,763		—		—	
バドミントン等 (人)	—		811		—		—		—	
テニスコート等 (人)	—		33,832		—		—		—	
遊戯室 (人)	8,680		—		—		—		10,411	
広場	148	4,711	296	4,327	—	—	—	—	—	—
児童センター (人)	—		38,140		37,510		63,905		—	
グラウンドゴルフ	—		1,553		—		—		—	
図書	人 13,032	冊 43,390	人 16,481	冊 63,047	人 43,642	冊 143,500	人 13,335	冊 40,433	人 —	冊 —

イ プラネタリウム (文化センター内)

区分 投映種類	平成 27 年度		平成 28 年度		平成 29 年度		平成 30 年度	
	投 映 回 数	観 覧 人 数	投 映 回 数	観 覧 人 数	投 映 回 数	観 覧 人 数	投 映 回 数	観 覧 人 数
一般投映	回 427	人 10,554	回 414	人 14,235	回 240	人 12,014	回 181	人 7,512
団体投映	71	6,301	104	7,129	68	4,721	51	3,596

3 市民会館

(1) 市民会館の概要

市民会館は文化振興の拠点として、昭和47年5月5日に市制施行20周年を記念して開館した。1,200名収容のサルビアホールと会議室棟から構成されている。

ア 敷地面積	10,448.12 m ²
イ 建築面積	3,645.82 m ²
ウ 延床面積	6,693.41 m ²
エ 構 造	鉄筋コンクリート3階建
オ 利用時間	午前9時から午後9時（ホール以外は午後10時まで延長可能。ただし1週間前までの申請が必要）
カ 休館日	毎週火曜日（祝日を除く）・年末年始
キ ホール	ワンスロープ方式 1,200席【車椅子席 6席】 間口20m、奥行14m、高さ8m、回り舞台（直径11m） オーケストラピット59m ² 、楽屋及びリハーサル室9室
ク 会議室	9室 展示室：81m ² 、第1会議室：16名、第3会議室：20名 視聴覚室：72名、講座室：63名、和室：30名 第4会議室：30名、第5会議室：18名、大会議室：180名

(2) 利用状況

（平成30年度）

	利用回数	利用人数
ホール	478回	107,016人
楽屋棟	1,214回	12,991人
会議棟	4,768回	99,698人



4 図書情報館

(1) 図書情報館事業の目標

- ア 総合的・計画的な各種図書サービスの推進
- イ 計画的な図書館資料の収集と保存、提供
- ウ 地域電子図書館の構築
- エ 子供の読書活動の推進
- オ 市民との協働による図書情報館の運営

(2) アンフォーレ（図書情報館）の施設概要

所在地 安城市御幸本町12番1号

竣工 平成28年12月20日

開館 平成29年6月1日

構造 鉄骨造5階建

敷地面積 6,931.83㎡

延床面積 9,193.43㎡（うち図書情報館6,808.41㎡）

※図書情報館は、1階の一部及び2～5階

建物面積 B1階 634.18㎡

ホール、控室兼会議室

1階 1,754.62㎡

総合案内、多目的室、証明・旅券窓口センター、カフェ
〔図書情報館〕リユース本コーナー、返却ポスト

2階 2,085.37㎡

図書情報館案内、新聞・雑誌コーナー、予約本受取コーナー、
予約本受取機、返却ポスト
〔子どものフロア〕児童図書、でんでんむしのへや、つどいの
へや、こどものへや等

3階 2,077.42㎡

〔暮らしのフロア〕一般図書、ビジネス支援センター、グルー
プ学習室、編集・録音スタジオ、健康支援室・講座室等

4階 2,010.70㎡

〔学問と芸術のフロア〕一般図書、公開書庫、個人学習室等

5階 631.14㎡

事務室、学校図書館支援室等

蔵書収容能力 45万冊

駐車場 273台（共用）

自転車置場 180台（共用）

利 用 案 内

開館時間 平日：午前9時～午後8時

土日休日：午前9時～午後6時

休館日 火曜日、図書整理日（休日を除く毎月第4金曜日）、年末年始（12月29日～1月4日）、特別整理期間（年1回5日間）

貸出 日本国内に住所のある人。図書・紙芝居・雑誌は1人あわせて10点まで、CD・DVDは別に5点まで、15日以内。

返却 1階と2階の図書返却ホストを利用。公民館図書室で借りた本も返却が可能。

（3）蔵書の構成及び冊数

ア 区分別蔵書冊数（平成31年3月31日現在／雑誌を含む）

単位：冊

分類	冊数	分類	冊数	分類	冊数
0 総記	11,925	9 文 学	126,039	児童書小計	242,487
1 哲 学	18,050	各コーナー本	191,360	郷土資料	38,780
2 歴 史	25,124	一般書小計	466,928	大活字本	3,565
3 社会科学	29,869	児 童 書	122,143	洋 書	2,500
4 自然科学	12,562	絵 本	85,490	C D	7,977
5 工学技術	7,597	洋書絵本	2,024	D V D	6,780
6 産 業	4,715	紙 芝 居	6,782	（ 雑 誌 ）	(23,305)
7 芸 術	32,693	各コーナー本	4,167	その他の小計	82,907
8 語 学	6,994	団 体 用	21,881	合 計	792,322

イ 年度別蔵書冊数及び資料購入費（消耗品費購入「雑誌」を除く）

区分 年度	蔵書冊数					市民1人 当たりの 蔵書冊数 冊	資 料 購 入 費	
	冊	一般図書 冊	児童図書 冊	郷土資料 冊	その他 冊		決 算 額 千円	市民1人 当たりの 購入費 円
平成28年度	720,675	446,678	220,973	34,914	18,110	3.85	89,998	481
平成29年度	742,112	452,416	232,876	37,375	19,445	3.93	99,219	526
平成30年度	769,017	466,928	242,487	38,780	20,822	4.06	71,566	379

（4）登録者・入館者の状況

ア 年度別登録者数（市外を含む）

単位：人

	一般	児童	合計	全市人口	登録率
平成28年度	72,797	14,921	87,718	187,192	46.9%
うち新規登録	2,335	1,988	4,323		4.9%
平成29年度	84,194	19,228	103,422	188,693	54.8%
うち新規登録	10,030	5,741	15,771		15.2%
平成30年度	91,327	20,175	111,502	189,331	58.9%
うち新規登録	5,849	2,405	8,254		7.4%

*一般・児童の区分は16歳以上・未満による。全市人口は各年度末現在

*登録率上段は全市人口に対する登録者数の割合、下段は登録者数に対する新規登録者数の割合

イ 年度別市民登録者数・実利用者数

単位：人

	一般	児童	合計	全市人口 市民実利用率	市民登録率 登録者利用率
平成 28 年度	51,699	13,776	75,020	187,192	40.1%
実利用者数	19,343	8,726	28,069	15.0%	37.4%
平成 29 年度	57,323	17,779	85,693	188,693	45.4%
実利用者数	24,760	9,859	34,619	18.3%	40.4%
平成 30 年度	71,985	18,370	90,355	189,331	47.7%
実利用者数	24,257	8,685	32,942	17.4%	36.5%

*一般・児童の区分は16歳以上・未満による。全市人口は各年度末現在

ウ 年度別図書館入館者数

単位：人

	年間入館者数	開館日数	1日平均	開館以来の累計
平成 28 年度	307,640	252 日	1,221	9,768,961
平成 29 年度	763,002	243 日	3,140	763,002
平成 30 年度	784,302	293 日	2,677	1,547,304

*地平成28年度は中央図書館、平成29年度からは図書情報館の入館者数として新たに累計

(5) 図書館事業の状況

ア 年度別個人貸出利用者数

単位：人

	一般	児童	合計	図書館	地区公民館等
平成 28 年度	297,476	84,450	381,926	165,811	216,115
平成 29 年度	409,281	109,932	519,213	257,718	261,495
平成 30 年度	445,821	118,573	564,394	311,251	253,143

*地区公民館等には、平成16年10月から保健センターで始めた「赤ちゃんえほんかしだし隊」利用者を含む。

イ 年度別個人貸出の状況

単位：冊

	一般書	児童書	雑誌	A V 資料	合計	市民一人 当たり
平成 28 年度	839,327	637,556	69,449	46,706	1,593,038	8.52
平成 29 年度	1,033,276	693,801	76,492	70,073	1,873,642	9.93
平成 30 年度	1,115,043	734,318	91,931	76,872	2,018,164	10.66

*一般書には郷土資料・大活字本・洋書を含み、児童書には絵本・紙芝居・団体用を含む。

ウ 年度別団体貸出の状況

単位：冊

	一般書	児童書	雑誌	A V 資料	合計	利用回数
平成28年度	3,031	53,235	352	159	56,777	311団体3183回
平成29年度	4,719	155,113	128	76	160,036	520団体6408回
平成30年度	6,459	153,460	172	1	160,092	596団体6850回

*一般書には郷土資料・大活字本・洋書を含み、児童書には絵本・紙芝居・団体用を含む。

※個人以外の貸出、学校図書配送事業分を含む合計。

エ 予約・リクエスト及び複写サービス

予約は、貸出中又は受取り希望館以外での所蔵、リクエストは未所蔵本に対応するサービス。複写は、著作権法に基づく所蔵資料のコピー業務。 単位：件

	予 約	うちWeb 予約	リクエスト 購入分	相互貸借 【借用】分	その他	相互貸借 【貸出】 (冊)	複写業務 (枚)
平成28年度	178,435	136,376	2,747	765	341	1,098	16,355
平成29年度	198,281	153,034	2,929	779	157	407	13,844
平成30年度	225,042	175,382	3,229	744	168	1,890	14,887

オ 設備等利用サービス

インターネット上に電子図書館を開設し、市民に貸出（閲覧）を行っている。

また、図書情報館内では、館内専用でノートパソコン、タブレット、CD/DVD視聴機を貸出しているほか、予約して使用できる個人学習室（32席）、でん席（64席）を設けている。 単位：件

	電子図書 タイトル数	電子図書 貸出数	ノートパソコン 等利用数	個人学習室 利用数	でん席 利用数
平成29年度	505	1,101	1,978	21,343	9,550
平成30年度	1,467	1,890	3,216	22,947	9,917

カ おはなし会・行事・講座等

乳幼児向けに「えほんとおわらべうたの会」、小学生向けに「にちようびのおはなし会」「ネコ・ロンデ朗読会」、夏休みには「まいにちおはなし会」を開催しているほか、全公立幼稚園・保育園に出向き「出前おはなし会」を行っている。

また、子ども向け行事として、「ぬいぐるみのおとまり会」「でんでんむかしあそびの会」「手づくりかみしばい教室」「けん玉であそぼう」などを開催している。

一般向け講座は、平成30年度は「中江有里講演会」をはじめ、古典文学・古典芸能・科学・哲学などの講演会や、落語会、コンサートなどを開催した。

キ 登録ボランティアグループの活動

19のグループがあり、でんでんむしのへや等でおはなし会などを開催している。

図書館はその活動を支援するため、会場の提供や団体貸出、スキルアップ講座を実施している。また、学校図書館ボランティア向けに、読み聞かせ研修や本の補修研修を随時受け、実施している。

ク 新美南吉の顕彰

平成29年度に実施した第2回新美南吉絵本大賞の大賞受賞作『かにのしょうばい』（竹中豊秋氏/大阪府池田市/イラストレーター）を平成30年度に絵本として発行し、安城版ブックスタートにおいて配付するとともに、図書情報館内や市内の書店等で販売を行っている。また、南吉作品を題材とした劇やコンサート、講演会などを開催し、新美南吉の顕彰に努めている。

5 歴史博物館

(1) 目 標

生涯学習の観点から、歴史に関する学習施設として、調査研究の拠点として、より開かれた文化施設となることを目指し、重点目標を次のように設定する。

ア 博物館資料を計画的に収集し、安全な保管に努める。

イ 博物館資料の調査研究を行う。

ウ 企画展・特別展を開催し、一般市民の利用に供する。

エ 歴史を正しく学び、後世へ伝えるための学習機会の提供に努める。

オ 博物館資料等に関する案内書、図録等の作成と頒布を行う。

カ 学芸員の資質向上に努める。

キ 学校・図書館・公民館等と協力し、その活動を援助する。

(2) 館 蔵 資 料

ア 博物館資料 (平成 31 年 3 月 31 日現在) 単位：点

歴 史	62,400	民 俗	16,150	そ の 他	43
考 古	6,815	美術工芸	443	計	85,851

イ 図書資料 (平成 31 年 3 月 31 日現在) 単位：冊

発掘調査報告書	13,072	総 記	1,239	技 術	443
市町村史	1,493	哲 学	522	産 業	601
図録・年報・紀要	13,819	歴 史	8,494	芸 術	2,851
民俗調査報告書	124	社会科学	2,242	言 語	91
雑誌	9,327	自然科学	515	文 学	477
計	37,835			計	17,475



(3) 施設概要

所在地 安城市安城町城堀 30 番地
 竣工 平成 2 年 8 月 31 日
 開館 平成 3 年 2 月 8 日
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造 3 階建
 敷地面積 20,260.04 m²
 (市民ギャラリー・安祥公民館敷地含む)
 建築面積 2,403.72 m²
 延床面積 4,851.69 m²
 1 階 2,115.55 m²
 2 階 1,814.08 m²
 3 階 922.06 m²



企画展「安城の文化財ーモノ語り名品展Ⅴー」

主たる部屋

《1 階》		《2 階》		《3 階》	
企画展示室	296 m ²	常設展示室	836 m ²	収蔵庫(3)	293 m ²
文献資料室	71 m ²	講座室兼視聴覚室(90 席)	105 m ²	収蔵庫(4)	220 m ²
特別収蔵庫	120 m ²	体験学習室(45 席)	82 m ²		
整理修理工工作室	152 m ²	資料室	109 m ²		
荷解場	171 m ²	収蔵庫(2)	47 m ²		
くん蒸室	25 m ²				
学芸研究室	68 m ²				

利用案内

開館時間 午前 9 時～午後 5 時
 (入館は午後 4 時 30 分まで)
 休館日 月曜日(祝日の場合は開館)
 年末年始
 常設展観覧料 個人 200 円(団体 160 円)
 中学生以下は無料



小中学校見学学習火起こし体験

(4) 利用状況（平成30年度）

月別入館者数

単位：人

月	展示観覧者						行事 参加者	文献 資料室 利用者	その他	延べ 入館者 合計	入館者	入館者 合計	開館 日数	1日 平均
	有料		無料		計						大人計			
	大人	計	大人	計	大人計 中学生 以下計	合計					入館者 中学生 以下計			
			中学生 以下											
4	142	142	1,275	1,648	1,417	1,790	741	32	804	3,367	1,859	2,292	26	88
			373								373			
5	170	170	1,891	4,302	2,061	4,472	1,919	21	766	7,178	2,746	4,555	27	169
			2,411								2,411			
6	177	177	2,271	6,587	2,448	6,764	992	15	734	8,505	2,742	5,581	26	215
			4,316								4,316			
7	1,655	1,655	669	1,462	2,324	3,117	1,362	29	816	5,324	2,924	3,955	27	146
			793								793			
8	7,381	7,381	2,594	3,591	9,975	10,972	4,001	67	898	15,938	9,120	10,481	27	388
			997								997			
9	1,887	1,887	871	1,533	2,758	3,420	1,090	15	1,516	6,041	3,438	4,376	28	156
			662								662			
10	1,555	1,555	951	1,732	2,506	3,287	2,369	22	632	6,310	3,177	3,840	27	142
			781								781			
11	499	499	452	701	951	1,200	643	15	774	2,632	1,520	1,952	26	75
			249								249			
12	789	789	603	816	1,392	1,605	760	13	556	2,934	1,860	2,150	24	90
			213								213			
1	594	594	593	839	1,187	1,433	1,163	17	711	3,324	2,038	2,588	24	108
			246								246			
2	158	158	2,703	3,526	2,861	3,684	6,075	16	868	10,643	4,779	6,136	25	245
			823								823			
3	222	222	1,982	2,269	2,204	2,491	4,879	12	706	8,088	4,127	4,740	27	176
			287								287			
計	15,229	15,229	16,855	29,006	32,084	44,235	25,994	274	9781	80,284	40,330	52,646	314	168
			12,151								12,151			

ア 展示

単位：人

4月7日 ～ 7月1日	企画展	『安城の文化財ーモノ語り名品展Vー』	75日間	9,568
7月21日 ～ 9月2日	特別展	『人形師 辻村寿三郎～新八犬伝・真田十勇士・平家物語縁起～』	38日間	12,041
9月22日 ～ 11月4日	特別展	『安城ゆかりの大名 家康を支えた三河石川一族』	40日間	3,687
11月24日 ～ 1月14日	特別展	『幕府崩壊ー幕末維新を生きた地方の証言者たちー』	39日間	2,261
2月2日 ～ 3月24日	企画展	『江戸の愉しみー安城の相撲・芝居ー』	45日間	5,215

イ 事業等参加状況

単位：人

展示 観覧者	講演会	歴博 講座	体験 講座	連続 講座等	上映 会	歴博 演芸場	文献 資料室	その他(イベ ント含む)	延べ利用者合計
44,235	1,007	328	701	447	1,601	909	274	30,782	80,284

6 埋 蔵 文 化 財 セ ン タ ー

(1) 概 要

埋蔵文化財センターは、市内の遺跡などの発掘調査をはじめ、出土した遺物の整理・収蔵・展示を行い、市民の文化財に対する意識を高め、理解を深めることを目的として、市民ギャラリーとの複合施設として設立された。

整理された土器などを公開するとともに、整理室での出土遺物の洗浄・復元など整理作業の様子も通路から見学できる。また、申し込みにより展示収蔵庫に保管している出土遺物の見学もできる。

主たる部屋

《1階》		《2階》		《3階》	
整理室(1～4)	218.51 m ²	会議室	45.66 m ²	考古資料収蔵庫	404.23 m ²
展示収蔵庫	200.80 m ²			資料室	88.65 m ²
				資料閲覧室	29.76 m ²
				写場	61.65 m ²

利用案内

開館時間	午前9時～午後5時
休 館 日	月曜日(祝日の場合は開館)、年末年始
入 場 料	無 料

(2) 利 用 状 況 (平成30年度)

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
337	1,177	2,204	1,463	1,721	970	498	434	329	350	520	362	10,365

普及啓発活動

(1) 埋蔵文化財センター

平成29年度の発掘調査のうち塚越古墳、本證寺境内、桜井城跡、天神遺跡、中狭間遺跡からの出土遺物について、写真パネル等を交えて展示した。また、調査成果を解説した無料リーフレットを作成して配布し、普及啓発に努めた。



埋蔵文化財センターでの展示

(2) 安祥文化のさとまつり (台風により1日のみの開催)

安祥文化のさとまつりの主要イベントとして、市内小中学生の歴史を題材とした自由研究及び歴史団体による研究成果発表展示「歴史のひろば」(展示室A・B)、「安城発掘のあゆみ展 瓦わらわらかわらわら—古代編—」と土器ボランティア作品展(展示室C)を実施した。

「歴史のひろば」では市内の全小中学校から62点の出品を得て、そのうち歴史大賞に3名、歴史賞に8名を選出、表彰を行った。



「歴史のひろば」での展示

7 市民ギャラリー

(1) 概要

市民ギャラリーは、作品発表・鑑賞・創作の3つの柱を基本に計画された施設で、展示室は1階に3室、3階に2室、展示面積は全室で604㎡の広さがあり、美術に関する表現の発表の場として、個人、グループ、市内、市外問わず広く一般に利用できる。埋蔵文化財センターとの複合施設として平成15年11月19日にオープンした。

展示室は、天井高を1階で4.5m、3階で4m確保し、ゆったり鑑賞できる空間を備えている。また、創作実習室では、美術に関する実技講座を中心に、作家や専門家スタッフによる各種講座を開催し、専門的な設備の整った環境での芸術創造活動を目指す。

所在地 安城市安城町城堀30番地

竣工 平成15年 8月20日

開館 平成15年11月19日

構造 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造4階建

建築面積 2,080.25㎡

延床面積 4,579.05㎡

1階 2,079.98㎡

2階 235.87㎡

3階 1,764.55㎡

4階 498.65㎡

市民ギャラリーゾーン 1,615.05㎡

埋蔵文化財センターゾーン 1,035.46㎡

事務管理ゾーン 983.96㎡

共用ゾーン 944.58㎡



主たる部屋（建築面積）

《1階》

展示室A 102.45㎡

展示室B 163.67㎡

展示室C 162.68㎡

控室（3室） 27.10㎡

展示備品倉庫 71.46㎡

《3階》

展示室D 167.73㎡

展示室E 169.48㎡

控室（2室） 20.13㎡

展示備品倉庫 77.32㎡

《4階》

収蔵庫 253.10㎡

利用案内

開館時間 午前9時～午後5時（午後9時まで延長可）

休館日 月曜日（祝日の場合は開館）、年末年始

入場料 無料

展示面積と使用料

展示室名	展示面積	1日の使用料	6日間での使用料
展示室A	84 m ²	2,200円	13,200円
展示室B	130 m ²	3,500円	21,000円
展示室C	124 m ²	3,500円	21,000円
展示室D	133 m ²	3,600円	21,600円
展示室E	133 m ²	3,600円	21,600円

※展示室Cは、固定の展示ケース（展示面積22 m²）を含む。

※1日の利用時間は、午前9時～午後5時。（午後9時まで延長することができる。）

市民ギャラリー美術品収蔵点数一覧（平成31年3月31日現在）

部 門	寄 贈	購 入	計
絵 画	651	149	800
書	263	47	310
工 芸	146	29	175
写 真	7	1	8
デ ザ イ ン	8	0	8
彫 塑	26	5	31
小 計	1,101	231	合 計 1,332

(2) 利 用 状 況（平成30年度）単位：人

月	ギャラリー展示室利用者数						会議室	創作 実習室	延べ 利用者数	利用 団体	ギャラリー 入館者
	A	B	C	D	E	合計					
4	2,088	1,685	831	831	831	6,266	36	176	6,478	6	2,665
5	4,047	4,179	3,012	2,464	2,747	16,449	83	156	16,688	5	5,074
6	7,722	7,722	7,420	7,420	7,420	37,704	5	464	38,173	2	8,436
7	5,153	5,153	4,765	3,114	3,445	21,630	17	634	22,281	8	8,599
8	4,170	3,921	6,925	4,945	4,945	24,906	61	739	25,706	9	11,314
9	2,765	3,253	1,376	2,229	2,489	12,112	75	545	12,732	11	7,346
10	2,990	2,990	2,990	2,828	2,828	14,626	67	134	14,827	3	5,106
11	4,810	4,810	4,810	4,075	4,075	22,580	41	214	22,835	4	5,894
12	1,456	1,509	316	118	704	4,103	47	221	4,371	6	3,017
1	2,664	2,664	2,336	855	855	9,374	10	419	9,803	3	3,035
2	6,165	6,175	6,093	6,121	6,121	30,675	14	450	31,139	3	6,637
3	2,915	2,996	2,118	1,977	1,977	11,983	21	308	12,312	8	6,791
合 計	46,945	47,057	42,992	36,977	38,437	212,408	477	4,460	217,345	68	73,914
									一日平均	235	
									(314日間)		

(3) 文化振興

芸術・文化の振興を図るため、市民芸術祭・芸術鑑賞会・市民ギャラリーでの企画展等を開催して、芸術文化活動への参加機会を提供し、芸術鑑賞への機運を高める。また、文化協会等文化団体との連携を密にし、事業を推進する。

(平成30年度)

事業名	内 容
第59回市民芸術祭 第51回市民芸能まつり (12月1日・12月2日)	会 場 文化センター 民謡、謡曲、舞踊、箏曲、詩吟、尺八、大正琴、 バレエ、ダンス等 43団体
文芸・技芸・趣味の集い (10月12日～10月14日) (10月20日・10月21日) (10月31日～11月 5日)	会 場 市民会館、勤労福祉会館、丈山苑、デンパーク (文芸部門) 俳句、短歌、俳画等 (技芸部門) 茶道、いけばな、盆栽、菊、帯結び等 (趣味部門) 山野草等 合計 18団体
第30回市民文芸まつり	7月 作品募集 一般・学生 俳句 5,720人 (公募) 10,767句 短歌 3,219人 3,265首 11月25日 発表大会 会場：文化センター 入賞作品の発表・表彰・講評、作品集発刊、記念講演会 入場者 443人
芸術鑑賞会事業	入場者数 11月 第26回安城市吹奏楽フェスティバル 1,196人 7・10・11・1・2月 クラシック音楽アウトリーチ 1,165人 11・1・2月 古典芸能アウトリーチ 1,100人 3月 鈴木優人&バッハ・コレギウム・ジャパン 403人
第37回市民演劇祭	2月 参加13団体(公募) 875人
市民公募文化事業	11月 赤ちゃんから大人までの楽しいクラシック 106人 11月 安城ギタークラブ結成30周年記念コンサート 211人 11月 安城市民吹奏楽団第46回定期演奏会 691人 12月 ♪コンサートに出かけよう♪VOL. 3 ～X'masミュージックパーティー～ 407人 12月 安城市少年少女合唱団第14回演奏会 404人 1月 出会い・花とダンスのコラボショー 435人 1月 安城民よう保存会創立15周年記念発表会 650人 1月 クール・アミ第1回演奏会 500人 2月 ビッグラバーズ・オーケストラ第13回定期演奏会 898人

市民ギャラリーで実施した事業

第75回安美展

会期 前期： 10月26日（金）～ 11月 4日（日）（9日間）
 後期： 11月 9日（金）～ 11月18日（日）（9日間）
 会場 市民ギャラリー全館 入場者数 前期 1,930人
 後期 2,268人
 ＊関連事業 ワークショップ 参加者数 17人

企画展

・市民ギャラリー開館15周年記念企画展

アーティスト活動20周年・セロテープ®誕生70周年記念

「瀬畑亮 セロテープアート®展2018 in 安城」

会期 6月9日（土）～ 7月7日（土）（25日間）
 会場 市民ギャラリー全館 入場者数 9,712人
 ＊関連事業 ギャラリートーク① 参加者数 50人
 ギャラリートーク② 参加者数 53人
 ギャラリートーク③－1 参加者数 50人
 ギャラリートーク③－2 参加者数 80人
 ワークショップ① 参加者数 68人
 ワークショップ② 参加者数 93人
 ギャラリーコンサート 参加者数 98人
 ギャラリーコンサート 参加者数 131人

・市民ギャラリー企画展「人々の暮らし一日々から切り取る、ひと・まち・しごと」

会期 9月28日（金）～ 10月7日（日）（9日間）
 会場 市民ギャラリー展示室D・E 入場者数 1,012人
 ＊関連事業 ワークショップ 参加者数 8人

・市民ギャラリー企画展「素材と造形美の融合」

会期 3月1日（金）～ 3月16日（土）（14日間）
 会場 市民ギャラリー展示室D・E 入場者数 927人
 ＊関連事業 ワークショップ 参加者数 17人
 ギャラリーコンサート 参加者数 120人

美術講座

・「銅版画・リトグラフ講座（午前・午後コース）」はじめ全14講座を開催

会場 市民ギャラリー創作実習室 受講者数 延べ 1,076人

指定管理者の自主事業

猪野みのり 創作人形教室展	7月11日（水） ～28日（土）17日間	展示室C	2,013人
夢もふくらむ バルーンランド	7月31日（火） ～8月12日（日）12日間	展示室 C・D・E	4,964人
動きや音を楽しむ 樋口一成 木のおもちゃ展	1月25日（金） ～2月24日（日）28日間	全館	6,902人
懐かしの“車” 写生&写真作品展	3月27日（水） ～4月7日（日）11日間	展示室D・E	580人

・講座関連事業 全16講座を開催 受講者数 555名

8 丈山苑

(1) 概 要

風雅を楽しみ詩作に遊ぶ悠々自適の精神を大切に生きた石川丈山の生誕地に、丈山が開き隠棲した詩仙堂の雰囲気再現した建物「詩泉閣」と庭園で構成された風雅の施設「丈山苑」を運営している。平成18年度より指定管理者制度を導入、株式会社ピーアンドピーが管理運営している。

所 在 地 安城市和泉町中本郷180番地1

竣 工 平成8年3月19日

開 苑 平成8年5月21日

敷 地 面 積 9,100㎡

建 築 面 積 429.11㎡

延 床 面 積 394.12㎡

利 用 案 内



開 苑 時 間 午前9時～午後5時

(入苑は午後4時30分まで)

※ただし春・夏・秋に年間10～20日間程度午後9時まで夜間開苑する。

休 苑 日 月曜日(祝日の場合は開苑)・年末年始

入 苑 料 個 人 100円

団 体 (10人以上の場合) 80円

(中学生以下は無料)

呈 茶 料 金 一 服 300円 (平成30年4月現在)



新緑茶会



5月の庭園

(2) 利用状況(平成30年度)

単位：人

月	入苑者数			開苑日数	呈茶数	和室等 利用人数
	大人	中学生以下	合計			
4	2,066	148	2,214	26	1,591	241
5	4,079	481	4,560	27	3,165	66
6	1,981	423	2,404	26	1,996	25
7	1,129	189	1,318	27	1,000	32
8	1,068	243	1,311	27	901	42
9	1,951	70	2,021	28	1,538	87
10	1,956	192	2,148	27	1,601	94
11	4,601	433	5,034	26	3,545	152
12	3,883	140	4,023	24	2,709	60
1	1,233	75	1,308	24	1,001	38
2	2,811	365	3,176	25	1,784	25
3	1,886	460	2,346	27	1,399	28
合計	28,644	3,219	31,863	314	22,230	890

行事名		参加人数	呈茶件数
イベント	4月21日(土) さくらコンサート	211	120
	5月13日(日) 新緑茶会	179	159
	6月9日(土) あじさい落語会	134	134
	6月16日(土) 煎茶のおいしい飲み方体験	51	32
	6月20日～24日 工芸芸術 染展	545	397
	7月7日(土) セタコンサート	170	107
	7月15日(日) 漢詩勉強会	33	28
	8月25日～26日 苔玉づくり体験	82	51
	8月1日～31日 夏休みクラフト体験(箱庭づくり)	297	0
	9月5日～9日 フラワーデザイン展	575	356
	9月22日(土) 観月オペラ	171	169
	10月3日～7日 書道展	327	227
	10月19日～21日 山野草展	193	150
	10月27日(土) 秋月コンサート	132	133
	11月11日(日) 安城七夕親善大使写真撮影会	50	0
	11月18日(日) 紅葉茶会	525	499
	12月12日～16日 大皿の世界展	598	429
	12月22日(土) クリスマススペシャルジャズライブ	109	107
	1月12日(土) 三河万歳	44	42
	1月13日(日) 新春茶会	191	170
	1月18日～20日 盆栽展	309	229
	2月3日(日) 石川丈山勉強会	30	14
	2月20日～24日 つるし雛とちりめん細工展	2,415	1,206
	3月9日(土) 詩吟大会	111	103
	3月13日～17日 平成記念「和の折り紙展」	997	518
	小 計	8,479	5,380
	7月21日～22日 宵開苑	37	21
	9月21日 夜間開苑	5	5
	9月23日 夜間開苑(語り)	63	36
	10月26日 夜間開苑	5	3
	10月28日 夜間開苑(語り)	37	25
	11月23日～25日 夜間開苑(満月+竹あかり)	305	147
	小 計	452	237
	合 計	8,931	5,617

9 文化財保護事業

(1) 目 標

かけがえのない文化財を永く後世に保存するとともに、これを活用して文化の創造に役立てることは現代の我々の重大な義務である。

文化財保護法の精神に基づき、文化財保護の意識高揚を図るため、次の目標を設定する。

ア 指定文化財の保護管理の充実

イ 普及・啓発活動の推進

ウ 文化財保護・保存団体の育成

(2) 指定文化財

ア 指定文化財一覧（平成31年3月31日現在）

単位：件

種 別	有 形 文 化 財									民俗文化財		記念物		計
指定区分	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡	典籍	古文書	考古資料	歴史資料	有形民俗文化財	無形民俗文化財	史跡	天然記念物	
国指定		2						1			1	3		7
県指定	1	2	2	1				1		1	1		3	12
市指定	10	37	14	9	17	6	29	13	1	14	2	47	10	209
計	11	41	16	10	17	6	29	15	1	15	4	50	13	228

* 安城北部小学校のなんじゃもんじゃ（安城北部小学校）を市指定文化財（天然記念物）に指定（2月21日）

イ 文化財の保存管理

(ア) 指定文化財保存修理等

本證寺鼓楼建具取替及び外部下見板塗装（本證寺）

方便法身尊像（誓願寺）

伝内藤重清・清長墓碑（誓願寺）

薬師如来再興縁起（神光寺）

石川丈山書跡「以文常会友」（個人）

(イ) 指定天然記念物へのマツクイムシ防除のため薬剤注入

桜井神社のクロマツ

(ウ) 無形民俗文化財保存伝承事業

三河万歳、桜井町の棒の手、桜井神社のまつり囃子

ウ 埋蔵文化財の調査・保護

史跡整備のための発掘調査 姫小川古墳、本證寺境内

個人住宅建設等に伴う発掘調査 堀内古屋敷跡、城向遺跡、寒池遺跡、岩根前遺跡

エ 普及・啓発活動

あおぞら歴史教室、土器づくり教室、安祥文化のさとまつり、出前講座等の開催

オ 本證寺境内整備事業 野寺町野寺25番、34番、35番、198番、199番の計2,854.44㎡（実測）を公有化

カ 歴史的建造物緊急調査

歴史的建造物の記録保存（野寺町神谷家住宅、花木町杉山家住宅、花木町丸山家住宅）

キ 本證寺内堀環境調査事業

本證寺内堀のハスを再生するため、自主グループである「本證寺ハスの会」を中心に、外来生物駆除や堀周辺の樹木剪定などの環境整備を実施

10 史料整理活用事業

平成23年度から文化財・博物館活動の下支えとなる文書史料・民具資料の調査・収集・整理・保存を担当する事業として発足し、市内に存在する資料の調査や、寄贈資料・収蔵未整理資料の目録作成、収蔵品検品（収蔵品の保存状況把握）等をおこなった。

(1) 調査・収集資料（歴史・民俗分野）（平成31年3月31日現在）

ア 寄贈資料累計	歴史資料	62,400点	民俗資料	16,150点
イ 資料群数	寄贈資料群	20件	調査（借用）資料群	0件
	購入資料	7件22点		

※調査（借用）資料群は、寄贈資料群に含まれる。

(2) 教育普及活動

- ア 和泉町史編さん会など市内地区誌史編さんへのアドバイス
- イ 古文書研究団体への利用古文書の提供
- ウ 他自治体等に対する市史編さんのアドバイス（知立市・高浜市）
- エ やろまいかみんなの平和展での資料出品（歴史・民具）及び企画
- オ 愛知県史編さん室の資料調査対応

11 スポーツ

(1) スポーツ振興の基本方針

- ア 「する」 スポーツの振興
- イ 「みる」 スポーツの振興
- ウ 「おしえる」 スポーツの振興
- エ 「ささえる」 スポーツの振興
- オ スポーツ施設環境の整備
- カ スポーツ団体等の育成・支援
- キ オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興

(2) 「する」 スポーツの振興

- ア 生涯にわたりスポーツに親しめる環境の充実

事業名	趣旨・内容	期日	備考
地域スポーツ振興事業	各種スポーツ事業を地域で促進して、地域の自主グループ等育成と新たなスポーツ実施者拡大を図るためスポーツ推進委員に事業の企画運営を委託する。	通 年	29小中学校区 スポーツ推進委員委託事業
	平成30年度実績 参加人数 7,471人（事業 24大会、17スクール、29交流会） 楯交付 10事業		
	平成29年度実績 参加人数 8,894人（事業 28大会、18スクール、22交流会） 楯交付 12事業		
	課題・問題点		・だれもが参加しやすい行事の創意・工夫をする。 ・熱中症対策を講じる。
第51回安城シティマラソン	年齢、競技レベルに応じた部門を設定して、より多くの参加を得て、市民の健康増進と競技力の向上を図る。	12/9	11部門 実行委員会
	平成30年度実績 申込者数 3,275人		
	平成29年度実績 申込者数 3,382人		
	課題・問題点		・安全なコースの設定、検討を行なう。 ・競技以外のところでの楽しみ方を検討する。
第34回安城市民デンパーク駅伝大会	駅伝を通じてスポーツ実施機会の場の提供と、市民の健康維持・増進に努める。また、チームワークの育成を推進する。	2/10	8部門 実行委員会
	平成30年度実績 参加申込数 276チーム、1,645人		
	平成29年度実績 参加申込数 267チーム、1,614人		
	課題・問題点		・安全確保のために中継所のレイアウト、駐車場確保の検討が必要 ・南側コースでの応援の工夫をする。
安城市民地域スポーツ交流会	中学校区を中心にスポーツ交流会を開催して、スポーツを通した「地域・仲間・健康」づくりの推進と、新たなスポーツ実施者の拡大をスポーツ推進委員と地域のクラブや子ども会等の関係者と連携して実施する。	通 年	中学校区で開催 スポーツ推進委員委託事業
	平成30年度実績 実施種目 卓球、バドミントン、ソフトバレー 他 参加人数 3,164人 中央交流会 82名		
	平成29年度実績 実施種目 卓球、バドミントン、ソフトバレー 他 参加人数 3,460人 中央交流会 65名		
	課題・問題点		・地区の連携を図れる広域の交流会（中学校区以上）を実施する。 ・参加者拡大のため、ニーズに合わせたPRや情報収集に努める。

事業名	趣旨・内容	期日	備考
おはよう！ふれあいラジオ体操会	ラジオ体操を通して市民が身体を動かす楽しさやふれあいの場を作るとともに、運動をするきっかけや健康づくりなど、町内会・子ども会・スポーツ推進委員会を中心に開催する。	7/21 ～ 8/31	子ども会・町内会への呼びかけをしている。
	平成30年度実績	・実技研修会参加人数 31人 ・チャレンジ宣言会場数193会場 ・実施日数 42日、各会場の最大参加数 8,614人/日 ・実施延べ日数 1,082日、参加延べ人数 42,737人	
	平成29年度実績	・実技研修会参加人数 48人 ・チャレンジ宣言会場数192会場 ・実施日数 42日、各会場の最大参加数 9,685人/日 ・実施延べ日数 1,089日、参加延べ人数 47,841人	
	課題・問題点	・地域を一つのグループとして申し込みをしてもらい、誰もが参加できることを理解してもらう。 ・熱中症対応を考慮しておく。	
歩け・ランニング運動	各会場でコースを設定して約4Kmの歩け、約5Kmのランニングを行い、日常生活の中で、いつでもどこでもできる健康づくり運動の推進をする。	4月～ 10月	歩け15会場 ランニング6会場
	平成30年度実績	参加人数 延べ 7,808人（皆出席者 218人）	
	平成29年度実績	参加人数 延べ 7,183人（皆出席者 239人）	
	課題・問題点	・参加者、指導員の固定化や高齢化が進んでいる。 ・少しずつ新しい方が参加している。継続して参加してもらえるように検討する。	
	4月の八ツ面山歩けから11月の秋のウォーキングなど5つの歩けイベントを企画して、市民に健康づくりと自然を楽しんでもらうこと、また新たな参加者の加入と21会場相互の親睦を図ることを目的に実施している。バスを利用し、市の野外センター周辺を散策し、自然の中を歩くことの楽しさを伝えることができた。	4/8 5/6 5/27 6/10 9/23 11/11	八ツ面山歩け デンパーク歩け 茶臼山ウォーキング しょうぶ歩け 作手ウォーキング 秋のウォーキング
	平成30年度実績	<参加人数> 八ツ面山35人、デンパーク69人、茶臼山ウォーキング39人 しょうぶ54人、作手ウォーキング45人、秋のウォーキング45人	
	平成29年度実績	<参加人数> 八ツ面山47人、カキツバタ94人、茶臼山ウォーキング47人 しょうぶ49人、デンパーク42人、作手ウォーキング45人、 秋のウォーキング雨天中止	
	課題・問題点	・魅力あるコース設定と地域行事などとの連携を検討する。 ・新規参加する人を増やすためのPR方法など。	
第46回安城市早朝野球大会 (委託事業)	早朝の体育施設の有効活用と、出勤前に野球を楽しむ早朝野球連絡会の育成と、チーム間相互の交流、親睦を推進する。	7/3 ～ 7/10	早朝野球連絡会 委託事業
	平成30年度実績	参加 5チーム、86人	
	平成29年度実績	参加 4チーム、74人	
	課題・問題点	・参加チーム数減少対策のため、企業等へのPR活動が課題。	

事業名	趣旨・内容	期日	備考
野外センター開放事業	大自然の中で家族や一般グループの親睦を深める場の提供及びキャンプ指導を行う。	6月～9月	一般グループ・家族単位
	平成30年度実績	作手 開放日数 43日、利用人数 延べ 1,834人 茶臼 開放日数 10日、利用人数 延べ 350人 ファミリーキャンプ53人(8/18～19)	
	平成29年度実績	作手 開放日数 45日、利用人数 延べ 1,543人 茶臼 開放日数 23日、利用人数 延べ 597人 ファミリーキャンプ61人(8/19～20)	
	課題・問題点	・作手、茶臼の一般利用者を増やすためのPR活動を工夫する。	
体育館スポーツスクール(体協委託事業)	初心者を対象に少年、女性、一般、親子の部のスクールを1～3期に分けて開催し、スポーツに親しむ機会の場を提供するとともに、自主グループ化を推進する。	通 年	延べ32講座
	平成30年度実績	参加申込み人数 延べ989人	
	平成29年度実績	参加申込み人数 延べ702人	
	課題・問題点	・新しい種目を取り入れるなどして、内容を見直すこと。	
スポーツセンター健康推進事業	スポーツセンター利用者の健康増進を図るための講座を開催し、トレーニング場、ランニングコース、プールの活用を図る。	通 年	高齢者・親子・子ども・家族・一般市民対象
	平成30年度実績	・体力測定会(一般2回、高齢者2回)・スポーツ体験会(3回) ・健康増進講座(11回:トレーニング)・水泳タイム測定会(4回) ・健康増進講座(11回:プール)	
	平成29年度実績	・体力測定会(一般2回、高齢者2回)・スポーツ体験会(2回) ・健康増進講座(14回:トレーニング)・水泳タイム測定会(4回) ・健康増進講座(10回:プール)	
	課題・問題点	集客の少ない事業に関して、工夫もしくは企画の変更を検討する。	
スポーツセンタープール教室事業	年間を通じてプールを活用した教室を開催する。	10回	子ども・一般市民対象
	平成30年度実績	参加申込人数 延べ209人	
	平成29年度実績	参加申込人数 延べ182人	
	課題・問題点	平日の夕方は一般利用者が多く子供の教室は夏休み限定として実施した。定員を超える事業などもあり、今後参加できなかった方へのフォローも必要となる。	
スポーツ行事支援	各種団体が主体となる西三河地域以上の大会事業に対しての補助を行う。	通 年	スポーツ団体対象
	平成30年度実績	申請団体 3団体(ソフトボール、バスケットボール2大会、卓球)	
	平成29年度実績	申請団体 1団体(グラウンドゴルフ)	
	課題・問題点	・事前協議書の内容を十分に審査すること。	

イ 競技スポーツの振興

事業名	趣旨・内容	期日	備考
スポーツ選手育成事業 (体協委託事業)	体育協会加盟団体のジュニア選手（小・中・高校生対象）の指導と育成を体育協会に委託する。	通 年	事業
	平成30年度実績	14競技会及び指導会	
	平成29年度実績	16競技会及び指導会	
	課題・問題点	・競技会に指導会を重ねて、ジュニアの競技力向上に向け、内容を検討している。	
市体育表彰制度 (H22～市制度に変更)	体育協会及び加盟団体役員として功績のあった者に体育栄誉者・体育功労者表彰を、全国大会等で優秀な成績を収めた選手・団体に特別優秀選手・優秀選手表彰を、体育指導者と後援者に感謝状を授与する。 平成21年度に体育協会関係者以外の広い分野から被表彰対象者を選考するため、安城市体育表彰選考要綱を新たに制定した。	10/12	安城選手権大会 総合開会式で表彰する。 安城市体育表彰選考要綱による。
	平成30年度実績	体育栄誉者2人、体育功労者2人、特別優秀選手171人、優秀団体16団体	
	平成29年度実績	体育栄誉者1人、体育功労者5人、特別優秀選手1人、優秀選手81人、優秀団体13団体	
	課題・問題点	・表彰対象の選手及び団体は、体育協会と全国大会出場激励金交付申請で把握が可能であるが、それ以外の選手・団体の情報を得る媒体が少ない。	
全国大会等激励金制度	国際大会、全国大会に出場する選手・団体に激励金を交付して、大会参加の支援を行う。	通 年	全国大会等激励金交付要綱による。
	平成30年度実績	国際大会6人、全国大会個人249人・14団体	
	平成29年度実績	国際大会13人、全国大会個人251人・15団体	
	課題・問題点	・さまざまな大会を、同じ基準で審査することが難しくなり、27年度に要綱を改正した。	
第39回安城選手権大会 (体協委託事業)	上級競技者の競技会として、安城市のスポーツレベルの向上を目的に実施する。また、秋季大会の総合開会式を大会前日に開会し、秋季大会全体の士気高揚を図る。	8/5 10/6～ 10/28 2/17 3/3	夏季大会(水泳) 秋季大会(18競技) 冬季スキー大会(一般) 冬季スキー大会(少年)
	平成30年度実績	参加人数 夏季550人、秋季3,611人 冬季 87人(一般51人、少年36人)	
	平成29年度実績	参加人数 夏季648人、秋季3,717人 冬季 100人(一般59人、少年41人)	
	課題・問題点	・水泳、陸上参加者の一般参加者の促進を図る。 ・冬季の参加者が減少傾向のため促進を図る必要がある。	
第13回市町村対抗駅伝競走大会	愛知万博開催を記念し県内市町村が健脚を競い合うと同時に、友好を深める。	12/1	愛・地球博記念公園にて

(体協委託事業)	趣 旨 ・ 内 容		期 日	備 考
	平成30年度実績	第10位 1時間34分29秒 (第1位 1時間31分17秒)		
	平成29年度実績	第18位 1時間37分31秒 (第1位 1時間31分57秒)		
	課題・問題点	・選手選抜方法を検討する。 ・合同練習会の調整が難しいが、目標をたてて、気持ちを一つにすることが大切である。		

(3) 「みる」スポーツの振興

事 業 名	趣 旨 ・ 内 容		期 日	備 考
スポーツ観戦推進事業 (体協委託事業)	トップレベル選手の競技、模範試合の観戦及び実技指導会を開催する。		1/21	ボッチャ交流会
	平成30年度実績 (ボッチャ)	参加人数・112人 (観覧者含む) *模範試合・競技の説明会、実技ほか 指導者：梅村祐樹さんほかデンソーハートフルの皆さん		
	平成29年度実績 (サッカー)	参加人数・450人 (観覧者含む) *模範試合・指導会ほか 指導者：FCマルヤス岡崎		
	課題・問題点	・体育協会委託事業として実施している。企画、集客など開催内容について十分な検討が必要である。(小中学校との連携など)		
ホームチームサポーター事業	平成30年度実績 (3チーム支援) ・デンソーブライトペガサス ・アイシン AW ウィングス ・GTRニッセイ	安城市にある企業チームと連携し、みるスポーツの推進とジュニアの育成を図ります。 ・日本リーグの開催 ソフトボール 1回 観戦者3,157人 バスケット 2回 観戦者3,347人 ・応援バスツアー開催 3回 ・広報掲載 3回、折込 3回 ・クリニック開催 3回 ・その他啓発イベント 2回		

(4) 「おしえる」 スポーツの振興

事業名	趣旨・内容	期日	備考
スポーツ指導者講習会 (体協委託事業)	スポーツ指導者養成講習会 (H26年度から実施) ① スポーツ医学 ② AED 使用法 ③ 総合型地域スポーツクラブ論 ④ スポーツ栄養学 ⑤ ジュニアスポーツ指導者 ⑦ スポーツ心理学 ⑧ 地域スポーツ指導者論 ⑨ ラジオ体操実技指導会 ● 公開講座：中京大学名誉教授 湯浅景元氏	7/11 ~ 11/4 2/23	9回 公開講座1回 参加者：90人
	平成30年度実績	参加延べ人数276人 (応募人数51人、認定者30人)	
	平成29年度実績	参加延べ人数204人 (応募人数43人、認定者31人)	
	課題・問題点	・ 中学・高校部活動における指導についての内容などの講座の検討。 ・ 参加者がより理解しやすい講座内容の検討を講師と行う。 ・ 公認スポーツ指導者として認定し登録した指導者をHPに掲載した。また、講師の活用の方法を検討することが必要。 ・ ラジオ体操実技講習会は盛況であった。継続開催していく。	

(5) 「ささえる」 スポーツの振興

事業名	趣旨・内容	期日	備考
スポーツ推進委員事業	スポーツを通して地域の活性化やつながりを図り、スポーツ行事等の企画運営を行うことでスポーツの振興を進める。	通 年	スポーツ推進委員 57名を委嘱
	平成30年度実績	総会1回、役員会8回、委員会3回、4部会19回各開催	
	平成29年度実績	総会1回、役員会4回、委員会3回、4部会12回各開催	
	課題・問題点	・ 部会同士の連携を強化し、行事や運営に反映させる。 ・ 中央交流会の内容を充実させていく。	
第51回安城シティマラソン	市内外より3,275人のランナーが出場し、役員・ボランティア483人が走路員・豚汁サービス・給水サービス・救助員・テント等の後片付けなどで大会運営を支え、市内企業、事業所からは飛び賞等の賞品提供や大会周知の広報車の協賛を得て実施した。	12/9	市内企業への協賛を働きかけ、運営費の援助や協賛品、役員の派遣など今後も検討する。
第34回安城市民デンパーク駅伝大会	239人の競技役員・ボランティアにより、監察員、給水サービス、救助員等で大会運営を支えていただき、安城、安城南、安城中央ライオンズクラブからは、清掃、ドリンクサービスなどの協力を得て実施した。	2/10	中継所の混雑を少しでも解消するため、レイアウトを変更した。

(6) スポーツ施設環境の整備

項 目	内 容	備 考
中央スポーツ施設	屋外体育施設管理事業 野球場防球ネット改修工事 陸上競技場夜間照明改修工事 体育館管理事業 体育館転倒防止金具取付修繕 レジャープール施設管理事業 レジャープール非構造部材等耐震化及び保全改修工事 スポーツセンター施設管理事業 貯湯槽機器修繕	経年劣化、使用劣化による改修
学校スポーツ施設	学校施設スポーツ開放事業 小中学校体育館備品修繕・夜間照明コイン点灯版点検等 (卓球台、バレーボール・バドミントン支柱の修繕など)	県立学校体育館の開放 (東高校1校)
公園スポーツ施設	地域公園施設の有効活用 池浦西公園(サッカー等) H20.4.1～ 桜井中央公園(ソフトボール、サッカー等) H21.4.1～	公園緑地課との連携

事 業 名	趣 旨 ・ 内 容	期 日	備 考
レジャープール施設管理事業	平成28年度から令和2年度までの5年間の継続事業 施設の効率的、効果的な管理運営を図るため、平成18年度から指定管理者運営制度を導入した。	通 年	

(7) スポーツ団体等の育成・支援

事業名	趣旨・内容	期日	備考
学校施設開放事業	学校施設（運動場・体育館）を学校教育活動に支障のない範囲で、地域スポーツ活動の場として広く市民のスポーツ活動に開放する。 中学校については平成30年度から事務をスポーツ課で行っている。小学校については令和2年度からスポーツ課に事務を移行する。	通年	小学校21校 中学校8校 県立学校5校
	平成30年度実績	延べ開放回数13,390回、延べ利用人数260,597人	
	平成29年度実績	延べ開放回数13,166回、延べ利用人数273,535人	
	課題・問題点	・事務の移行に伴い、利用者への説明会を開催する。 ・登録団体の利用マナーを向上するために、委員会や手引き等で指導する。 ・事務移行に伴う取扱マニュアルを作成する。	
体育協会及び加盟団体の育成	体育協会加盟団体の運営指導及び事業支援		通年
	平成30年度実績	・21スポーツ団体（一般8,522人、小中3,379人） ・1普及団体（スポーツ少年団：剣道、サッカー、空手等） ・2学校体育団体（中小体連安城支所、高体連安城支部）	
	平成29年度実績	・21スポーツ団体（一般9,220人、小中3,450人） ・1普及団体（スポーツ少年団：剣道、サッカー、空手等） ・2学校体育団体（中小体連安城支所、高体連安城支部）	
	課題・問題点	・一般財団法人安城市スポーツ協会が設立（H31.4.1）。今後は公益財団法人格取得に向け検討していく。 ・屋外施設管理委託業務のさらなる向上を目指し、機械等操作技術取得と体制の充実を経緯等していく。	
総合型地域スポーツクラブ育成事業	総合型地域スポーツクラブが地域で果たす役割、重要性を地域の関係役職者等で話す機会を設け、事業を実施するなどして、南部・祥南小学校地域の活動を引き続き支援していく。	通年	安祥中地区スポーツ推進委員会を中心に取組む
	平成30年度実績	・事業企画と今後の進め方を話し合う機会を設けた。（12回） ・卓球・グラウンドゴルフのスクールの実施、交流会を開催することができた。 ・クラブ設立に向けた規約を作成。	通年 スポーツ推進委員・町内会役員等を中心にクラブの活動を進めていく必要がある。
	平成29年度実績	・事業企画と今後の進め方を話し合う機会を設けた。（10回） ・卓球・グラウンドゴルフのスクールを実施することができた。	通年 スポーツ推進委員・町内会役員等を中心にクラブ設立のための手続きを進めていく必要がある。
	課題・問題点	・活動を大きくすることが目標ではなく、地域住民の参加や理解を促していくことが重要である。 ・令和元年5月にクラブ設立総会を予定している。	

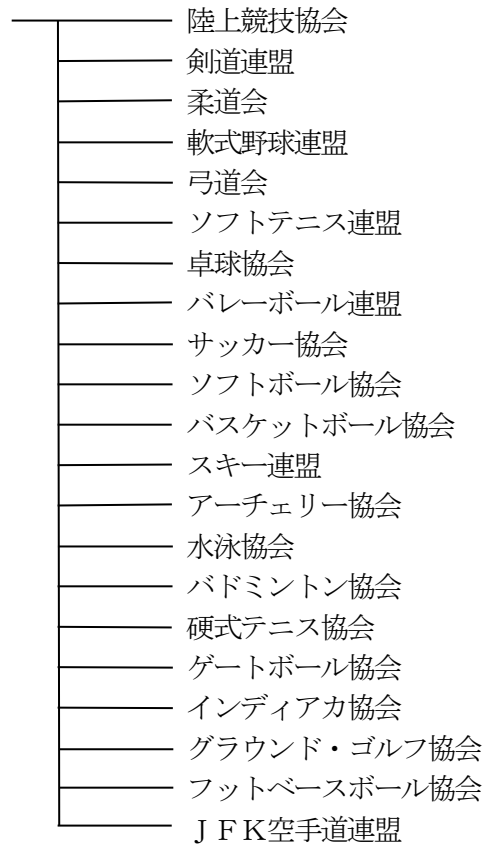
(8)オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツの振興

事業名	趣旨・内容	期日	備考
東京オリンピック・パラリンピック愛知県強化指定選手支援事業ほか	東京オリンピック・パラリンピック愛知県強化指定選手に対して、競技力向上を支援することを目的に、奨励金の交付を行う。また、事前合宿誘致や、関連するイベントの開催をする。 聖火リレー・聖火イベントなど引き続き誘致活動をするとともに、企画内容の検討をする。	通 年	奨励金の支給、事前合宿誘致、オリパラ関連イベント、聖火リレー誘致ほか
	平成30年度実績		・強化指定選手 6人（オリンピック5人（セーリング・バスケット・スポーツクライミング・レスリング）、パラリンピック1人（ボッチャ）） ・カナダ女子ナショナルチーム世界選手権出場事前合宿 H30.7.25～8.1 まで 選手スタッフ27人 ・「東京2020フラッグツアー」開催 H30.11.8 安城市体育館ロビーにて見学者120人 ・聖火リレー誘致、ホストタウンの申請（継続審査） ・パブリックビューイングの開催（ウインターカップ） H30.12.28 アンフォーレにて 観戦者80人
	平成29年度実績		強化指定選手 2人（オリンピック1人（セーリング）、パラリンピック1人（ボッチャ））

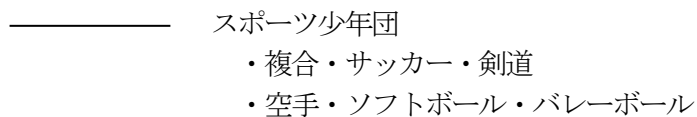
別紙 1

NPO法人安城市体育協会の組織（平成30年度）

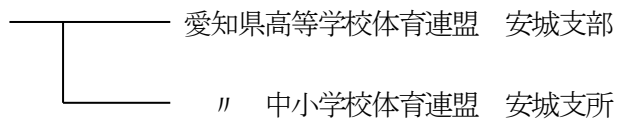
(1) スポーツ団体
21団体



(2) 普及団体
1団体



(3) 学校体育団体
2団体



(9) 体育施設

名 称	開設年月日	所 在 地	規 模 及 び 施 設 内 容
安 城 市 体 育 館	昭和 54 年 1 月 21 日	新田町新定山 41-8	敷地面積 11,929 m ² 建築面積 5,285 m ² 建築延面積 10,067 m ² 構 造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨 4 階建 体育場 50m×38m (1,980 m ²) 天井高 14m 固定観客席 982 席 (車椅子用 6 席含) 利用種目 バレーボール、バスケットボール 各 3 面 バドミントン 12 面 その他 幼児体育室 66 m ² 卓 球 場 493 m ² 卓球台 16 台 剣 道 場 493 m ² 公 式 2 面 柔 道 場 493 m ² 公 式 2 面 弓 道 場 454 m ² 和 弓 5 人立 アーチェリー 10 人立 ランニングコース 一周 200m 会議場 第 1～第 4、大会議室 計 5 室
安 城 市 陸 上 競 技 場	昭和 41 年 12 月 16 日	新田町池田上 1	敷地面積 20,000 m ² (全天候第 4 種公認) 400m トラック 8 コース 145m 直走路 10 コース フィールドはサッカー兼用 夜間照明全面 スタンド メインスタンド鉄筋コンクリート 造 2 階建 996 m ² 840 人程度収容 サブスタンド屋根付 637 m ² 860 人程度収容 芝スタンド 2,286 m ² 3,000 人程度収容
安 城 市 野 球 場	昭和 44 年 3 月 31 日	新田町池田上 1	敷地面積 20,000 m ² 軟式野球 3 面 (ソフトボール 3 面) 夜間照明 3 面 A 本部席スタンド サブスタンド 鉄筋コンクリート造 2 階建 875 m ² 602 人程度収容 B 本部席スタンド 180 人程度収容
安城市テニスコート	平成 8 年 3 月 31 日	新田町新定 35	敷地面積 15,000 m ² 砂入り人工芝コート 10 面 ソフトテニス、硬式テニス兼用 夜間照明 10 面 本部棟 36 m ² 選手控席 500 人程度
相 撲 場	昭和 55 年 10 月 7 日	新田町池田上 1	昭和 55 年 4 月大相撲安城場所が開催され、 その記念として屋外に土俵が寄付されました。 このため同年 9 月上屋を建設し、市民の 相撲場として完成し利用されている。

名 称	開設年月日	所 在 地	規 模 及 び 施 設 内 容
和 泉 公 園 運 動 広 場	昭和 60 年 7 月 20 日	和泉町大海古 1	敷地面積 11,014 m ² 軟式野球 1 面 ソフトボール 2 面 サッカー 1 面 夜間照明
安城市多目的 グラウンド	平成 10 年 1 月 18 日	池浦町池上 111-1	敷地面積 8,140 m ² サッカー1 面 (100m×64m) ゲートボール 12 面 グラウンド ゴルフ 2 コース 夜間照明
安城市レジャープール (平成 18 年度から 指定管理者による 運営管理)	平成 11 年 7 月 24 日	和泉町大下 23-1	敷地面積 13,982 m ² 延床面積 5,634 m ² 建築面積 4,556 m ² 構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建 流水プール (内: 124m×3.7m×0.8m) (外: 82m×3.0m×0.8m) 造波プール (水深=0m~1.2m) ウォータースライダー 2 基 (8.0m×62m、4.5m×33m) 25mプール 6 コース (水深=1.1m~1.3m) 幼児プール 1 コース (水深=0.6m) 採 暖 室 56 m ² (2 ヶ所) トレーニングルーム 217 m ² ミーティングルーム 26 m ² ロッカー数 948 個 (プール) 60 個 (トレーニング) 駐 車 場 250 台 駐 輪 場 180 台
安城市スポーツセンター	平成 13 年 4 月 1 日	新田町新定 41	延床面積 8,484 m ² 建築面積 6,120 m ² 構 造 鉄筋コンクリート造 3 階建 アリーナ 43.2m×37.1m (1,615 m ²) 利用種目 バスケットボール、バレーボール各 2 面 バドミントン 8 面 プ ー ル 25mプール 短水路公認 9 コース(水深=0.3m~1.4m) 幼児プール 82 m ² (水深=0.6m) ジャグジー 11 m ² トレーニングルーム 390 m ² エアロビクスルーム 123 m ² 幼児体育室 24 m ² 会議室 2 室 研修室 1 室
安城市ソフトボール場	平成 13 年 7 月 28 日	新田町新定 47	A グラウンド面積 7,130 m ² 夜間照明設備 内野席スタンド 1,054 人 外野芝生スタンド 1,446 人程度 B グラウンド面積 7,130 m ² バックネット裏スタンド 140 人 内外野スタンド 2,220 人程度
安城市西部 グラウンドゴルフ場	平成 27 年 4 月 13 日	福釜町釜ヶ渕 120	敷地面積 7,158 m ² グラウンド ゴルフ 8 コース

(10) 利用状況

施 設 名		平成29年度 (人)	平成30年度 (人)
体 育 館	体育場 (アリーナ)	12,960	94,897
	ランニングコース	62	754
	幼児体育室	0	
	卓 球 場	8,311	49,617
	剣 道 場	1,826	16,394
	柔 道 場	2,641	25,816
	弓 道 場	997	5,693
	会 議 室	884	4,802
	大 会 議 室	2,044	15,947
	小 計	29,725	213,920
レ ジ ャ ー プ ー ル	プール 個人	162,568	135,346
	プール 専用	29,578	10,593
	トレーニング	37,699	15,916
	小 計	229,845	161,855
ス ポ ー ツ セ ン タ ー	Sアリーナ	58,193	49,122
	会議室・研修室	2,389	2,501
	プール個人	43,649	46,080
	プール専用	27,124	26,346
	エアロビクスルーム	14,716	11,713
	トレーニングルーム	65,652	69,298
	小 計	211,723	205,060
屋 外 施 設	陸上競技場	61,517	49,618
	野 球 場	38,841	28,926
	テニスコート	93,099	97,493
	多目的グラウンド	47,913	42,307
	ソフトボール場	16,014	22,569
	和 泉 公 園	22,831	29,136
	西部グラウンドゴルフ場	4,810	5,109
	小 計	285,025	275,158
学 校 施 設 開 放	小 学 校	196,530	184,589
	中 学 校	67,833	70,226
	県 立 学 校	9,172	5,782
	小 計	273,535	260,597
セ ン タ ー 野 外	茶臼山高原野外センター	317	136
	作手高原野外センター	751	889
	小 計	1,068	1,025
合 計		1,030,921	1,117,615

付 録

1 歴代の委員

氏 名	在 任 期 間	委員長・教育長在任期間
石 原 勝 一	S 27. 11. 1 ～ S 38. 9. 30	委員長 S 27. 11. 1～ S 38. 9. 30
林 政 一	27. 11. 1 ～ 31. 9. 30	
畔 柳 一 雄	27. 11. 1 ～ 31. 9. 30	
阿 部 時 信	27. 11. 1 ～ 30. 4. 29	
中 根 知恵子	27. 11. 1 ～ 31. 9. 30	
長 坂 忠 一	30. 4. 1 ～ 31. 9. 30	
沓 名 彦一郎	30. 4. 1 ～ 31. 9. 30	
内 藤 理 一	30. 5. 9 ～ 30. 9. 30	
加 藤 喜 衛	31. 10. 1 ～ 35. 9. 30	
神 谷 芳 根	31. 10. 1 ～ 35. 9. 30	
八 木 つ や	31. 10. 1 ～ 36. 9. 30	
神 谷 史 蔵	31. 10. 1 ～ 33. 9. 30	(教育長) 31. 10. 1～ 33. 9. 30
富 田 郁太郎	33. 10. 1 ～ 39. 6. 30	(教育長) 33. 10. 1～ 39. 6. 30
都 築 操	35. 10. 7 ～ 39. 10. 6	
社 本 幹 雄	35. 10. 7 ～ 43. 10. 6	委員長 38. 10. 1～ 43. 10. 6
鳥 居 修 爾	36. 10. 1 ～ 40. 9. 30	
築 山 欽 治	38. 10. 1 ～ 42. 9. 30	
石 原 教太郎	39. 7. 1 ～ 41. 9. 30	(教育長) 39. 7. 1～ 41. 9. 30
岩 月 脩	39. 10. 7 ～ 43. 10. 6	
杉 浦 喜久治	40. 10. 1 ～ 41. 1. 14	
神 谷 ひさ子	41. 3. 26 ～ 42. 1. 12	
石 川 芳 則	41. 10. 2 ～ 48. 3. 31	(教育長) 41. 10. 1～ 48. 3. 31
水 越 正 男	42. 4. 4 ～ 48. 9. 30	
杉 本 庄 平	42. 10. 1 ～ 54. 9. 30	委員長 48. 6. 12～ 53. 10. 6
神 谷 茂	43. 10. 7 ～ 51. 10. 6	委員長 43. 10. 7～ 48. 6. 12
杉 山 新 次	43. 10. 7 ～ 51. 10. 6	
杉 浦 秋 雄	48. 4. 1 ～ 53. 9. 30	(教育長) 48. 4. 1～ 53. 9. 30
林 庸 治	48. 10. 1 ～ H元. 8. 6	53. 10. 7～ 56. 10. 6 63. 10. 7～H元. 8. 6
神 谷 義 郎	51. 10. 7 ～ 63. 10. 6	56. 10. 7～ 58. 10. 6 62. 10. 7～ 63. 10. 6
加 藤 正	51. 10. 7 ～ 55. 10. 6	
木 村 政 夫	53. 10. 1 ～ 63. 9. 30	(教育長) 53. 10. 1～ 63. 9. 30
畔 柳 芳 夫	S 54. 10. 1 ～ H 3. 9. 30	58. 10. 7～ 60. 10. 6 H元. 10. 7～H 2. 10. 6
神 谷 四 郎	55. 10. 7 ～ 8. 10. 6	S 60. 10. 7～ S 62. 10. 6 H 2. 10. 7～H 6. 10. 6
岡 田 仁	63. 10. 1 ～ 9. 3. 31	(教育長) S 63. 10. 1～ 9. 3. 1
神 谷 宏	63. 10. 7 ～ 8. 10. 6	委員長 H 6. 10. 7～ 7. 10. 6

氏 名	在 任 期 間	委員長・教育長在任期間
横 田 俊 二	H元. 10. 1 ～ 9. 9. 30	委員長 7. 10. 7～ 9. 9. 30
兵 藤 睦 子	3. 10. 1 ～ 15. 9. 30	委員長 9. 10. 2～ 11. 9. 30
野 村 聰	8. 10. 7 ～ 16. 10. 6	委員長 11. 10. 1～ 13. 9. 30
杉 浦 實	8. 10. 7 ～ 18. 9. 30	委員長 13. 10. 1～ 14. 9. 30 16. 10. 1～ 17. 9. 30
鳥 居 靖 之	9. 4. 1 ～ 17. 3. 31	(教育長) 9. 4. 2～ 17. 3. 31
神 谷 忠 雄	9. 10. 1 ～ 17. 9. 30	委員長 14. 10. 1～ 16. 9. 30
杉 浦 辰 子	15. 10. 1 ～ 23. 9. 30	委員長 17. 10. 1～ 18. 9. 30 22. 10. 1～ 23. 9. 30
鳥 居 勇 夫	16. 10. 7 ～ 24. 10. 6	委員長 18. 10. 1～ 20. 9. 30 23. 10. 1～ 24. 10. 6
本 田 吉 則	17. 4. 1 ～ 26. 3. 31	(教育長) 17. 4. 2～ 26. 3. 31
岩 瀬 せつ子	17. 10. 1 ～ 21. 9. 30	委員長 20. 10. 1～ 21. 9. 30
大 見 宏	18. 10. 1 ～ 28. 10. 6	委員長 21. 10. 1～ 22. 9. 30 24. 10. 7～ 25. 10. 6 27. 10. 7～ 28. 10. 6
榊 原 ちさと	21. 10. 1 ～ 25. 9. 30	
船 尾 恭 代	23. 10. 1 ～ 現 在	委員長 25. 10. 7～ 26. 10. 6 28. 10. 7～ 29. 10. 6
都 築 雅 人	24. 10. 7 ～ 28. 10. 6	委員長 26. 10. 7～ 27. 10. 6
鳥 居 恵 子	25. 10. 1 ～ 29. 9. 30	
杉 山 春 記	26. 4. 1 ～ 現 在	(教育長) 26. 4. 1～ 現在
近 藤 倉 生	28. 10. 7 ～ 現 在	
加 藤 滋 伸	28. 10. 7 ～ 現 在	委員長 29. 10. 7～ 30. 3. 31
伊 奈 希	29. 10. 1 ～ 現 在	

(旧桜井町)

氏 名	在 任 期 間	委員長兼教育長在任期間
平 岩 三太郎	S 27. 11. 1 ～ S 32. 3. 31	S 31. 9. 1～ S 32. 3. 31
林 庸 治	27. 11. 1 ～ 31. 8. 31	27. 11. 1～ 30. 4. 30
浜 田 師 良	27. 11. 1 ～ 40. 3. 31	32. 4. 1～ 40. 3. 31
石 川 新 平	27. 11. 1～ 31. 8. 31	
大 屋 七郎三	27. 11. 1 ～ 31. 8. 31	
加 藤 龍 静	27. 11. 1 ～ 31. 8. 31	
杉 浦 浅 市	28. 4. 1 ～ 31. 8. 31	30. 5. 1～ 31. 8. 31
岡 田 善 十	30. 9. 1 ～ 38. 4. 30	
稲 垣 又 作	31. 10. 1 ～ 32. 3. 31	
富 田 義	33. 10. 1 ～ 38. 4. 30	
水 越 正 男	33. 10. 1 ～ 42. 3. 31	40. 4. 1～ 42. 3. 31
加 藤 俊 治	34. 4. 1 ～ 38. 4. 30	
都 築 義 幸	35. 4. 1 ～ 38. 4. 30	
大 島 徳 松	38. 5. 1 ～ 42. 3. 31	
平 岩 信 三	39. 10. 1 ～ 42. 3. 31	

2 教育委員会の沿革

西 暦	年号	主 な で き ご と
1952	昭和27	・市町村教育委員会が11月1日に発足 ・第5回市民体育大会開催 ・安城幼稚園開園（公立で初めて）
1953	28	・青年大学開設
1954	29	・山崎延吉翁死去 ・錦町小学校開校
1955	30	・旧依佐美村の3町と合併 ・旧明治村の6町と合併
1958	33	・第13回国民体育大会ソフトボール競技で倉敷紡績と安城学園チーム優勝「ソフトボール安城」の名を高める
1959	34	・安城西中学校開校（初めての鉄筋校舎）
1960	35	・岡崎市の一部を合併 ・桜井小学校開校 ・市営錦町プールオープン ・第1回市民芸術祭開催（安城文化協会）
1961	36	・安祥城跡など14件を市文化財に指定 ・志貴小学校開校 ・全小学校が完全給食となる
1964	39	・オリンピック聖火リレー安城通過 ・科学賞作品展開始
1965	40	・明和小学校新校舎完成 ・南部給食調理場開設（東端町）
1966	41	・新市役所庁舎（現在の本庁舎）完成 ・安城北部幼稚園開園 ・陸上競技場オープン ・名大農学部移転（跡地は現在の総合運動公園）
1967	42	・旧桜井町全町合併 ・図書館、青年の家開館 ・移動図書館「みのり号」スタート
1968	43	・北部給食調理場開設（新田町） ・第1回新春矢作川マラソン大会開催（現在の安城シティマラソン）
1969	44	・作野小学校開校 ・野球場オープン ・さくの幼稚園開園 ・奨学金支給制度開始
1970	45	・野球場Aコートに夜間照明施設設置 ・安城市史刊行
1971	46	・祥南小学校開校 ・丈山小学校開校（泉、城ヶ入小合併） ・中部給食調理場開設（福釜町）

西 暦	年号	主 な で き ご と
1 9 7 2	4 7	・作手高原野外センターオープン（南設楽郡作手村・現新城市） ・市民会館開館 ・幼稚園給食実施 ・市民憲章制定 ・安城公園内に「文学の散歩道」設置
1 9 7 3	4 8	・二本木小学校開校 ・婦人会館開館
1 9 7 4	4 9	・中部小学校区内に初の交通少年団が誕生 ・栄養士県費負担職員となる ・勤労青少年体育センターオープン ・図書館増築
1 9 7 5	5 0	・東山中学校開校 ・米飯給食開始 ・学校施設開放開始
1 9 7 6	5 1	・県立安城東高等学校開校
1 9 7 7	5 2	・南部給食調理場移転開設（和泉町） ・保育園給食全園開始 ・婦人会館増築
1 9 7 8	5 3	・市営秋葉プールオープン（秋葉公園内） ・子ども運動広場設置開始 ・県立養護学校開校
1 9 7 9	5 4	・里町小学校開校 ・体育館オープン ・東栄幼稚園開園 ・安祥閣オープン ・青少年愛護センターオープン ・国際児童年を記念して子どもまつり開催 ・県立安城高等学校赤松町に移転新設
1 9 8 0	5 5	・桜町小学校開校 ・教育研究所開設 ・桜井公民館開館 ・相撲場オープン ・農村環境改善センターオープン ・第1回安城選手権大会開催
1 9 8 1	5 6	・桜林小学校開校 ・安祥中学校開校 ・文化センター（中央公民館・プラネタリウム併設）オープン
1 9 8 2	5 7	・新田小学校開校 ・米国ハンチントンビーチ市と姉妹都市提携 ・市民大学開校 ・青少年健全育成の都市宣言「青少年をすこやかにはぐくむ都市」 ・市制30周年記念安城子どもまつり開催 ・丈山小学校フラワー・ブラボー・コンクール文部大臣奨励賞受賞

西 暦	年号	主 な で き ご と
1 9 8 3	5 8	・篠目中学校開校 ・茶臼山高原野外センターオープン（長野県根羽村） ・姉妹都市中学生交換派遣事業（ハンチントンビーチ市）開始 ・北部公民館開館 ・青少年の家改築（旧青年の家） ・全国高校総合体育大会開催（バスケットボール） ・県立安城南高等学校開校 ・東部小学校第11回マーチングバンド全国大会バンドフロント賞受賞
1 9 8 4	5 9	・国民体育大会第5回東海大会バスケットボール競技会開催
1 9 8 5	6 0	・市役所北庁舎完成 ・西部公民館開館 ・陸上競技場メインスタンド改修（第2種公認陸上競技場となる） ・和泉公園運動広場オープン ・中央図書館開館（コンピューターシステム導入）
1 9 8 6	6 1	・今池小学校開校 ・科学賞作品展を「かがくのひろば」に名称変更 ・日中友好交歓体操競技安城大会開催 ・国際親善ジュニアサッカー大会開催
1 9 8 7	6 2	・北部学校給食共同調理場移転開設（池浦町） ・総合運動公園野球場スタンドオープン ・市制35周年記念第20回バスケットボール日本リーグ安城大会開催 ・市制35周年記念日本女子ソフトボールリーグ1部安城大会開催 ・市制35周年記念安城子どもまつり開催 ・中央公民館優良公民館文部大臣表彰
1 9 8 8	6 3	・新幹線三河安城駅開業 ・作野公民館開館 ・国民体育大会第9回東海大会バスケットボール競技会開催 ・第17回日本男子・女子ソフトボール選手権大会開催 ・豪州アルトナ市と姉妹都市提携 ・安城南部小学校第16回マーチングバンド・バトントワーリング「優秀賞」受賞 ・北部学校給食共同調理場優良施設文部大臣表彰
1 9 8 9	平成 元	・姉妹都市中学生交換派遣事業（アルトナ市）開始 ・第49回国民体育大会安城市準備委員会設立 ・丈山小学校緑化推進運動内閣総理大臣表彰
1 9 9 0	2	・安祥公民館開館 ・第19回男子・女子ソフトボール選手権大会開催 ・中央図書館と地区公民館の図書業務オンラインシステム導入
1 9 9 1	3	・東部公民館開館 ・南部公民館開館 ・歴史博物館開館 ・英語指導助手（AET）招へい事業開始 ・第49回国民体育大会安城市実行委員会設立 ・日韓ジュニア交流競技会バスケットボール女子開催 ・第20回全日本総合男子・女子ソフトボール選手権大会開催
1 9 9 2	4	・桜井公民館改築 ・青年大学をユースカレッジに名称変更 ・市制40周年記念安城子どもまつり開催 ・桜井小学校全日本健康推進学校全国優秀校「すこやか大賞」受賞 ・志貴小学校学校給食優良学校文部大臣表彰

西 暦	年号	主 な で き ご と
1 9 9 3	5	・二本木公民館開館 ・第49回国民体育大会バスケットボール競技・ソフトボール競技リハーサル大会開催 ・桜井公民館優良公民館文部大臣表彰
1 9 9 4	6	・教育センターオープン ・茶臼山高原野外センター浴室棟オープン ・第49回国民体育大会「わかしゃち国体」バスケットボール競技少年女子 ・ソフトボール競技少年女子開催 ・豪ホブソンズ・ベイ市と姉妹都市提携
1 9 9 5	7	・中部公民館開館 ・二本木小学校第8回全日本マーチングフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞 ・安城西中学校中日教育賞受賞
1 9 9 6	8	・昭林公民館開館 ・総合運動公園テニスコートオープン ・丈山苑開苑 ・シルバーカレッジ開校 ・二本木小学校第9回全日本マーチングフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞 ・作野小学校全国保健体育優良校表彰 ・東山中学校日本学生科学賞「内閣総理大臣賞」受賞
1 9 9 7	9	・市制45周年記念安城子どもまつり開催 ・安城北中学校第10回毎日カップ中学校体力づくりコンテスト優良校表彰 ・作野小学校第25回マーチングバンド・バトントワーリング「優秀賞」受賞 ・今池小学校第28回博報賞「国際理解教育部門団体」受賞 ・安祥閣、農村環境改善センターの事務が教育委員会に委任される
1 9 9 8	1 0	・総合運動公園多目的グラウンドオープン ・生涯学習推進計画策定 ・こども110番の家設置開始 ・東山中学校第40回創意工夫育成功労学校表彰「科学技術庁長官賞」受賞 ・北部公民館優良公民館文部大臣表彰
1 9 9 9	1 1	・レジャープール（マーメイドパレス）オープン ・学校通訳開始（ポルトガル語） ・情報教育支援員派遣開始 ・安城南部小学校第12回全日本マーチングフェスティバル「優秀賞」受賞 ・二本木小学校第12回全日本マーチングフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞
2 0 0 0	1 2	・市営秋葉プール廃止 ・南部小学校第19回全日本小学校バンドフェスティバル「グッドサウンド賞」受賞
2 0 0 1	1 3	・北部公民館かきたホールオープン ・スポーツセンター、ソフトボール場オープン ・安城東部小学校NHK全国短歌大会ジュニアの部「学校奨励賞」受賞 ・安城西中学校農林漁業関係者の協力を得て進める学校・地域の体験学習「農林水産大臣賞」受賞
2 0 0 2	1 4	・三河安城小学校開校・太陽光発電設備設置（初めてのオープンスペース） ・市制50周年記念安城市民博覧会開催（ふれあいゾーンで子どもまつりを開催） ・南部公民館優良公民館文部大臣表彰

西 暦	年号	主 な で き ご と
2003	15	・校舎改築（桜町小） ・校舎増改築（安城西中） ・市民ギャラリー・埋蔵文化財センターオープン ・中学校に校内LAN及びコンピューター教室設置 ・小学校1年生で少人数学級開始 ・第2次生涯学習推進計画策定 ・新編安城市史刊行開始 ・中央図書館でインターネット蔵書検索及び予約サービス開始
2004	16	・大規模改修・太陽光発電設備設置（桜町小） ・小学校コンピューター教室設置開始 ・小学校2年生で少人数学級開始
2005	17	・小学校門扉設置開始 ・中学校1年生で少人数学級開始 ・学校間ネットワーク運用開始 ・スポーツ振興計画策定 ・図書館推進計画策定 ・市民会館の事務が教育委員会に委任される ・丈山小学校フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）秋花壇「農林水産大臣賞」受賞 ・里町小学校全国健康推進学校表彰最優秀賞 ・明祥中学校第6回環境美化教育委員会「最優秀校（環境大臣賞）」受賞
2006	18	・梨の里小学校開校・太陽光発電設備設置 ・小中学校全教職員へパソコン貸与完了 ・スクールヘルパー事業開始 ・地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業（スクールガード）開始 ・特別支援教育相談・就学指導相談開始 ・肢体不自由学級新設（三河安城小） ・かがくのひろば環境賞新設 ・英語指導助手（ALT）を全て業者委託化 ・第1回安祥文化のさとまつり開催 ・子ども読書活動推進計画策定 ・レジャープール（マーメイドパレス）・安祥閣・丈山苑の運営管理を指定管理者に委託
2007	19	・小学校フェンス設置開始 ・小学校校内LAN設置開始 ・南部調理場移転開設（初めてドライシステム採用）（和泉町） ・小学校における英語活動等国际理解推進事業実施（新田小） ・全国学力・学習状況調査参加開始 ・生涯学習情報誌あんでな発刊 ・第20回教育展をデンパークで開催 ・市制55周年記念安城子どもまつり開催 ・市民体育大会を市民地域スポーツ交流会に変更 ・図書館の貸出券を更新し「リライトカード」方式を導入 ・丈山小学校フラワー・ブラボー・コンクール（FBC）春花壇「国土交通大臣賞」受賞

西 暦	年号	主 な で き ご と
2008	20	・桜井小学校移転開校・太陽光発電設備設置 ・小学校100周年記念事業（安城中部小、安城南部小、安城西部小、安城東部小、安城北部小、明和小） ・特別支援教育補助員導入開始 ・少人数学級編制に係る市費負担教員の任用等に関する条例制定 ・学校通訳にタガログ語追加 ・デンマークコリング市と姉妹都市提携 ・中部調理場を幼児食専用調理場とする ・市民会館改修E S C O事業実施 ・体育協会N P O法人（特定非営利活動法人）法人格取得 ・総合型地域スポーツクラブ「A n j oほく部みんスポクラブ」発足 ・新編安城市史刊行終了 ・幼稚園の事務を保健福祉子ども課（現：子育て健康部保育課）へ補助執行 ・作野小学校第36回マーチング・バトントワーリング全国大会金賞受賞
2009	21	・中部調理場改築（ドライシステム）（福釜町） ・校舎増改築・太陽光発電設備設置（安城南中） ・格技棟・技術科棟改築（安城西中）（初めての2階建） ・小学校校内LAN設置完了 ・放課後子ども教室開始（梨の里小） ・北部コミュニティ会議発足 ・新図書館基本計画策定 ・図書館の全蔵書にI C タグを貼付し貸出返却を自動化 ・第37回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会金賞受賞（安城北部小、作野小） ・作野小学校愛知県教育文化奨励賞受賞（マーチングバンド） ・二本木小学校読書活動優秀実践校文部科学大臣表彰
2010	22	・校舎増築・校地拡張・太陽光発電設備設置（里町小） ・校舎増築・太陽光発電設備設置（安城西中、篠目中） ・格技棟・技術科棟改築（安城南中） ・格技棟改築（安城北中、明祥中） ・北部調理場改修（コンテナヤードの増築及び厨房設備入替工事等） ・陸上競技場改修 ・第2次子ども読書活動推進計画策定 ・桜井中愛知県健康推進学校特別優秀校 ・作野小学校第38回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会金賞受賞
2011	23	・校舎増築・太陽光発電設備設置（作野小） ・校舎トイレ改修開始（安城西部小） ・太陽光発電設備設置（安城中部小、安城南部小、安城西部小、安城東部小、安城北部小、錦町小、高棚小、明和小、祥南小、丈山小、桜林小、新田小） ・校舎ガラス飛散防止フィルム設置（小学校（23年、24年）） ・小学校フェンス設置完了 ・中学校校務支援ソフト導入 ・小学校3年生で少人数学級開始 ・レジャープール（マーメイドパレス）改修 ・作野小学校第39回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会金賞受賞 ・作野小学校第30回全日本小学校バンドフェスティバル金賞受賞

西 暦	年号	主 な で き ご と
2 0 1 2	2 4	・校舎中規模改修（1/2期：安城西部小） ・校舎トイレ改修（安城東部小・1/2期：東山中） ・太陽光発電設備設置（志貴小、二本木小、今池小） ・校舎ガラス飛散防止フィルム設置（小学校（23年、24年）、中学校） ・普通教室・特別支援教室扇風機設置（全小中学校） ・明和小学校に特別支援学級を設置し、全校に特別支援学級の設置を完了 ・市制60周年記念「夏期巡回ラジオ体操会」開催 ・市制60周年記念「安城市民デンパーク駅伝大会」開催 ・市制60周年記念「安城こどもまつり」開催 ・市制60周年記念「新美南吉絵本大賞」全国公募 ・第21回教育展をデンパークで開催 ・作野小学校第40回マーチングバンド・カラーガード全国大会金賞受賞 ・作野小学校第31回全日本小学校バンドフェスティバル銅賞受賞 ・中央図書館読み聞かせボランティア「紙芝居の会」文部科学大臣表彰
2 0 1 3	2 5	・校舎中規模改修（1/2期：安城東部小・2/2期：安城西部小） ・校舎トイレ改修（高棚小、明和小、志貴小、作野小・1/2期：安城中部小、安城南中・2/2期：東山中） ・太陽光発電設備設置（安城北中、明祥中、桜井中、東山中、安祥中） ・屋内運動場非構造部材耐震化工事調査（全小中学校） ・小中学校施設耐震化完了 ・各中学校校区に学校司書配置 ・第50回安城市小中学生科学賞「かがくのひろば」開催 ・総合運動公園テニスコート人工芝・夜間照明改修 ・総合運動公園陸上競技場夜間照明改修 ・新美南吉生誕百年記念教育講演会（市民会館サルビアホール） ・新美南吉生誕百年関連事業開催 ・新美南吉絵本大賞作品「二ひきのかえる」絵本出版 ・安城版ブックスタート事業開始 ・梨の里小学校全国学校体育研究最優秀校（文部科学大臣賞）受賞 ・作野小学校愛知県教育文化奨励賞受賞（マーチングバンド） ・作野小学校第41回マーチングバンド・カラーガード全国大会金賞受賞 ・ででむし詩碑、安城高校から桜町小学校へ移設
2 0 1 4	2 6	・校舎中規模改修（2/2期：安城東部小） ・校舎トイレ改修（安城西中・1/2期：錦町小、丈山小、安城北中 2/2期：安城中部小、安城南中） ・屋内運動場非構造部材耐震化（安城西部小、錦町小、桜井小、三河安城小、梨の里小） ・屋内運動場トイレ改修（安城西部小、錦町小） ・音楽室空調設備設置（全小中学校） ・普通教室に液晶テレビ設置（全小学校） ・野球グラウンド改修 ・グランドゴルフ場整備 ・中央図書館子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰

西 暦	年号	主 な で き ご と
2 0 1 5	2 7	・教育委員会事務室を教育センターへ移転 ・校舎中規模改修（1/2期：東山中） ・校舎トイレ改修（1/2期：安城南部小、里町小、明祥中、安祥中 2/2期：錦町小、丈山小・2/3期：安城北中） ・屋内運動場非構造部材耐震化（安城西部小、安城北部小、錦町小、桜井小、 三河安城小、梨の里小 以外の小学校15校、全中学校） ・屋内運動場トイレ改修（安城南部小、安城東部小、志貴小、丈山小、里町小、 新田小、安城北中、安城西中、明祥中、安祥中） ・体育館改築（安城北部小） ・タブレットパソコン設置（安城中部小、安城南部小、安城西部小、安城東部小、 高棚小、明和小、祥南小、丈山小、二本木小、新田小、三河安城小、安城西中） ・学校給食協会を一般財団法人に法人化 ・市民会館大規模改修 ・市民会館の運営管理を指定管理者に委託 ・陸上競技場改修 ・図書情報館 I C T 化基本構想策定
2 0 1 6	2 8	・校舎中規模改修（2/2期：東山中） ・校舎増築（賃貸借 丈山小6教室） ・校舎トイレ改修（桜町小・1/2期：桜井中・2/2期：安城南部小、里町小、 明祥中、安祥中・3/3期：安城北中） ・屋内運動場トイレ改修（安城中部小、作野小、桜町小、安城南中、桜井中、 篠目中） ・タブレットパソコン設置（安城北部小、錦町小、志貴小、桜井小、作野小、 里町小、桜町小、桜林小、今池小、梨の里小、安城南中、安城北中、明祥中、 桜井中、東山中、安祥中、篠目中） ・小学校4年生で少人数学級開始 ・スクールアシスタント制度開始 ・教育センター空調熱源機器更新 ・茶臼山高原野外センター改修 ・市ソフトボール場A球場改修 ・和泉公園運動広場防球ネット改修 ・歴史博物館ほか3施設（市民ギャラリー・埋蔵文化財センター・安祥城址公園） の運営管理の一部を指定管理者に委託 ・明祥プラザオープン ・図書情報館と小中学校とを接続する学校図書館ネットワークを構築（全小中学校） ・図書館事務を市民生活部へ補助執行

西 暦	年号	主 な で き ご と
2017	29	・校舎中規模改修（1/2期：高棚小） ・校舎増築（丈山小職員室） ・校舎トイレ改修（三河安城小、梨の里小・1/2期：安城北部小、祥南小、桜林小、新田小、今池小、篠目中） ・屋内運動場トイレ改修（高棚小、明和小、祥南小、桜林小、今池小） ・第2音楽室空調機設置（安城南中、安城北中、安城西中、桜井中、東山中、安祥中、篠目中） ・コンピューター教室用パソコン更新（明祥中、桜井中、東山中、安祥中） ・教育センター研修ホール調光盤改造 ・第3子以降給食費無料化を開始 ・日本語初期指導教室設置（祥南小、二本木小） ・通級指導教室を里町小学校に増設 ・図書館教育アドバイザーを設置 ・一般財団法人学校給食協会を公益財団法人に変更 ・文化センター及びプラネタリウム大規模改修 ・市体育館大規模改修 ・スポーツセンター改修計画策定 ・アンフォーレ（図書情報館）オープン【中央図書館閉館】 ・アンフォーレ課による学校図書配送業務開始
2018	30	・学校教育プラン2028策定 ・校舎中規模改修（1/3期：安城北中 2/2期：高棚小） ・校舎増築（桜井小6教室） ・校舎トイレ改修（桜井小、二本木小・2/2期：安城北部小、祥南小、桜林小、新田小、今池小、桜井中、篠目中） ・第2音楽室空調機設置（安城中部小、錦町小、桜井小、二本木小、桜町小） ・屋内運動場等下足箱更新（県費補助）（安城南部小、安城東部小、錦町小、高棚小、志貴小、桜井小、丈山小、二本木小、桜林小、安城南中、安城北中、明祥中、安城西中、桜井中、東山中） ・地震対策としてブロック塀等を改修 プールブロック塀（安城東部小、明和小、安城北中、東山中） 正門石積（明和小） ・下水道接続（安城東部小） ・小学校1・2年普通教室、特別支援学級への空調機設置に着手 ・教職員用パソコン（校務系）一斉更新（小中学校） ・寄附により時計台設置（安城南部小）、無線アクセスポイントを各校1台増設（全小学校）、液晶テレビ設置（全中学校）、授業用プログラミング教材購入（全小中学校） ・教育センター揚水ポンプ更新 ・サルビア学園の給食を自校調理方式からセンター給食方式に変更 ・小中学校の自然教室実施期間を1日短縮（短縮により県条例上「自然教室」から「野外旅行」へ） ・自然教室（野外旅行）野外センターへ看護師帯同開始 ・茶臼山高原野外センターへ運転手兼臨時職員帯同開始 ・文化センターリニューアルオープン ・困難を抱える若者相談開始（青少年の家） ・市体育館リニューアルオープン ・レジャープール改修 ・ソフトボール場A球場リニューアルオープン ・野球場防球ネット改修 ・陸上競技場夜間照明改修 ・第2回新美南吉絵本大賞作品「かにのしょうばい」絵本出版

西 暦	年号	主 な で き ご と
2019 (予定含む)	令和 元	・校舎中規模改修（1/2期：丈山小・2/3期：安城北中） ・安城西部小学校の校舎内児童クラブを普通教室に改修 ・桜井中学校の視聴覚室及び準備室を普通教室（2室）に改修 ・普通教室・特別教室ほかに空調機を設置（全小中学校） - 小学校1・2年普通教室、特別支援学級（6月末までに設置） - 小学校3～6年普通教室、特別教室、特別活動室、配膳室（年度内設置） - 中学校普通教室、特別支援学級、特別教室、特別活動室、配膳室（年度内設置） ・屋内運動場外部保全（新田小、今池小、桜井中、篠目中） ・格技棟外部保全及び内壁改修（桜井中） ・技術科棟外部保全（東山中） ・地震対策としてブロック塀等を改修：正門石積（安祥中） ・学校施設長寿命化計画策定（全小中学校） ・学校用高速カラープリンター設置（教育センター） ・教育情報システムのクラウド移行による仮想化基盤構築開始（全小中学校） ・コンピューター教室用パソコン更新（全小学校、安城南中、安城北中、安城西中、篠目中） ・若者支援地域協議会、青少年愛護センター若者相談窓口を設置（青少年の家） ・レジャープールリニューアルオープン及び開館20周年イベントを開催 ・スポーツセンター改修 ・ソフトボール場B球場防球ネット改修 ・陸上競技場改修設計 ・秋葉公園テニスコート管理業務を環境都市推進課からスポーツ課へ移管 ・秋葉公園テニスコート照明設備改修 ・歴史博物館保全改修 ・幼稚園2園を廃止し、同施設において幼保連携型認定こども園を新設

3 教育関係施設・休館日一覧

施 設 名	所 在 地	郵便番号	電話番号	F A X	開館時間	休館日
教育委員会事務局 総務課	横山町下毛賀知 1 3 番地 1 (教育センター内)	446-0045	71-2253	77-0001		
北部調理場	池浦町曲尺手 6 5 番地	446-0066	76-4700	77-1850		
中部調理場	福釜町笠松 1 番地	446-0052	71-1051	74-6784		
南部調理場	和泉町南梶 2 5 番地	444-1221	92-3669	92-5918		
・学校教育課	横山町下毛賀知 1 3 番地 1	446-0045	71-2254	77-0001		
教育センター	同上	同上	75-1010	75-0201	AM 8:30~PM 7	
・生涯学習課	桜町 1 7 番 1 1 号 (文化センター内)	446-0041	76-1515	77-6065		
青少年の家	新田町池田上 1 番地	446-0061	76-3432	76-1131	AM 9~PM 10	○
市民会館	桜町 1 8 番 2 8 号	446-0041	75-1151	75-1152	AM 9~PM 9 (ホール以外は PM10まで延長可)	△
安祥閣	安城町馬池 9 7 番地 1	446-0026	74-3333	74-3333	AM 9~PM 5	□
文化センター	桜町 1 7 番 1 1 号	446-0041	76-1515	77-6065	AM 9~PM 9	○
桜井公民館	桜井町大役田 1 番地 1	444-1154	99-3313	99-5463	同上	
北部公民館	里町 4 丁目 1 2 番地 4	446-0001	98-3751	98-8751	同上	
西部公民館	福釜町釜ヶ淵 2 0 番地 1	446-0052	76-9393	77-6063	同上	
作野公民館	篠目町古林畔 2 6 番地	446-0073	74-3977	77-6061	同上	
安祥公民館	安城町城堀 3 0 番地	446-0026	77-5070	77-6062	同上	
東部公民館	大岡町源覚 1 6 番地	446-0017	77-7881	77-7883	同上	
明祥公民館	和泉町大下 3 8 番地 1	444-1221	92-3521	92-5774	同上	
二本木公民館	三河安城本町 1 丁目 1 3 番地 9	446-0059	77-8611	77-8974	同上	
中部公民館	新田町小山西 8 3 番地	446-0061	74-8570	74-8567	同上	
昭林公民館	安城町広美 1 0 番地 1	446-0026	77-6688	72-0120	同上	
・スポーツ課	(体育館内)					
体育館	新田町新定山 4 1 番地 8	446-0061	75-3535	77-9293	AM 9~PM 9	○
レジャープール (マーメイドパレス)	和泉町大下 2 3 番地 1	444-1221	92-7351	92-7352	トレーニングルーム AM 10~PM 9 プール PM 1~PM 8(平日) AM 10~PM 8 (土・日・祝日・夏休み期間) ※6月~9月は PM 9まで	▽ (7月21日から 8月31日の月曜 日は閉館)
スポーツセンター	新田町新定 4 1 番地	446-0061	75-3545	75-3999	AM9~PM9 プール (平日 PM 1~PM 9) (土・日・祝日・夏休み AM 10~PM 9)	○
・図書情報館	御幸本町 1 2 番 1 号	446-0032	76-6111	77-6066	AM 9~PM 8 (土・日・祝日は AM 9~PM6)	※
・文化振興課	(歴史博物館内)					
歴史博物館	安城町城堀 3 0 番地	446-0026	77-6655	77-6600	AM 9~PM 5	▽
市民ギャラリー	同上	同上	77-6853	77-4491	同上	▽
埋蔵文化財センター	同上	同上	77-4490	同上	同上	▽
丈山苑	和泉町中本郷 1 8 0 番地 1	444-1221	92-7780	92-7780	同上	▽
作手高原野外センター	新城市作手白鳥字本宮辻1番地4	441-1413	0536 37-2107	同左	5月~9月	} 年末 年始
茶白山高原野外センター	長野県下伊那郡根羽村3370番地42	395-0701	0265 49-2627	同左	5月~9月	
公益財団法人安城市学校給食協会	桜町 1 8 番 2 号	446-0041	75-2322	80-1696		

休館日 ※ 火曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/29~1/4)

図書整理日(毎月第4金曜日、ただし祝日にあたる場合は開館)、特別図書整理日(秋期に5日以内)

○ 月曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/29~1/3)

□ 月曜日(国民の祝日のときは翌日)、年末年始(12/28~1/4)

△ 火曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/29~1/3)

▽ 月曜日(国民の祝日のときは開館)、年末年始(12/28~1/4)

施 設 名	所 在 地	郵便番号	電話番号	F A X
(小学校・21校) 安城中部 小 学 校	安城市大東町 1 2 番 8 号	446-0065	75-2721	75-2722
安城南部 "	" 安城町城堀 4 8 番地	446-0026	76-2332	76-2639
安城西部 "	" 福釜町猿町 1 2 8 番地	446-0052	76-2303	76-2617
安城東部 "	" 大岡町前畑 7 2 番地 1	446-0017	76-2334	76-2478
安城北部 "	" 今本町 8 丁目 9 番地 9	446-0008	98-0825	98-0826
錦 町 "	" 錦町 9 番 3 9 号	446-0035	75-2725	75-2726
高 棚 "	" 高棚町蛭田 4 4 番地	446-0053	92-0593	92-3676
明 和 "	" 東端町明和 6 6 番地	444-1213	41-1244	41-1274
志 貴 "	" 柿碓町御用地 4 5 番地	446-0003	97-8202	97-8684
桜 井 "	" 小川町清水道 6 番地 1	444-1162	99-2201	99-2202
作 野 "	" 篠目町 4 丁目 2 2 番地 1	446-0073	76-6056	76-6044
祥 南 "	" 安城町庚申 1 1 番地	446-0026	76-8773	76-7409
丈 山 "	" 和泉町南本郷 1 番地	444-1221	92-0024	92-3689
二 本 木 "	" 緑町 1 丁目 2 3 番地 1	446-0055	76-4449	76-4407
里 町 "	" 里町足取 1 番地 5	446-0001	98-5900	98-5901
桜 町 "	" 桜町 1 5 番 5 号	446-0041	75-3003	75-3004
桜 林 "	" 桜井町中狭間 3 5 番地 1	444-1154	99-3777	99-3778
新 田 "	" 新田町新栄 1 0 0 番地	446-0061	76-1488	76-1489
今 池 "	" 今池町 2 丁目 1 番 5 2 号	446-0071	98-3033	98-3025
三河安城 "	" 箕輪町昭和 4 7 番地	446-0051	71-3250	72-2776
梨 の 里 "	" 篠目町溝川 3 8 番地	446-0073	71-3345	74-5251
(中学校・8校) 安 城 南 中 学 校	" 城南町 2 丁目 7 番地 2	446-0043	75-3531	75-3592
安 城 北 "	" 新田町小山西 1 8 番地	446-0061	75-3525	75-3590
明 祥 "	" 東端町住吉 1 番地 1 2	444-1213	92-0019	92-3777
安 城 西 "	" 福釜町中根 4 3 番地	446-0052	76-2320	76-2420
桜 井 "	" 小川町の場丘 1 番地 1	444-1162	99-0028	99-0097
東 山 "	" 里町東山 1 番地	446-0001	98-1531	98-4686
安 祥 "	" 安城町天草 2 3 番地	446-0026	76-7811	76-7812
篠 目 "	" 篠目町竜田 1 5 1 番地	446-0073	76-1777	76-1778
(幼稚園・2園) 安城北部幼稚園	" 大東町 2 5 番 4 0 号	446-0065	76-3366	76-3466
東 栄 "	" 東栄町 3 丁目 8 0 9 番地 9	446-0007	98-5850	98-5898

令和元年 8 月発行 1 3 0 部

令和元年度

安 城 市 の 教 育

編集・発行 安城市教育委員会
〒446-0045
安城市横山町下毛賀知13番地1
電話（0566）71-2253
FAX（0566）77-0001
